

Integrated Report 2025

エフテック 統合報告書



Introduction

足廻り機能領域の専門メーカーとして 世界No.1を目指します。

自動車の要として、確かな走りと乗る人の命を支えていく。

私たちが世界のメーカーに供給を行う「足廻り機能部品」は、

操縦安定性や安全性能を支える重要な役割を担っています。

そしてグローバルで持続可能性への要求が高まるいま、

高品質・高性能な「モノづくり」にとどまらず、

環境・人権・経済の未来を支える価値創造が求められています。

エフテックグループは創業以来のチャレンジ精神と共に、

この地球に暮らす全ての人びとの幸福に貢献する企業集団として

社会的責任を果たしていきます。

INDEX

[イントロダクション](#)[価値創造ストーリー](#)[価値創造戦略](#)[ガバナンス](#)[企業情報・データ](#)

CONTENTS

Introduction イントロダクション

- 03 F-TECH Philosophy
- 04 Corporate Slogan
- 05 EV化にも対応する
足廻り機能領域の専門メーカー
- 07 価値創造を支えるエフテックグループ
の軌跡
- 08 海外で躍進する
エフテックグループ概要
- 09 エフテックグループの強み
- 11 Top Message
「Better than Ever」を原動力に、
「昨日を超える」に全社で挑む。



Value Creation Story 価値創造ストーリー

- 15 価値創造プロセス
- 17 マテリアリティ特定と
サステナビリティロードマップ
- 18 マテリアリティへの取り組み
- 19 第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要
- 20 CFO MESSAGE
- 21 稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況
- 22 稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況
- 23 稼ぐ力の強化 — インド事業の状況
- 24 稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化
- 25 新技術の確立
- 26 戦略的な成長ビジネス機会の追求
- 27 パフォーマンスで選ばれるエフテック



Value Creation Strategy 価値創造戦略

- 29 人材戦略
- 30 人的資本強化の取り組み
- 32 労働・安全衛生の取り組み
- 33 働きやすい職場環境づくり
- 35 チームで築く働きがい
- 37 地域社会との関わり
- 38 グローバルでの活動
- 39 TCFD提言に基づく情報開示
- 44 2030年グローバル環境目標 推進実績
- 45 15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画
および実施状況について
- 46 2025年度 環境・エネルギー計画について
- 47 マテリアルフロー
- 48 2024年度 エフテック環境会計
- 49 サステナブルなサプライチェーンの実現を
目指して
- 50 2024年度 地域環境会議の開催
- 51 久喜事業所:環境変化に負けない実力
& サステナビリティがもたらす人間力
- 53 エフテックグループ グローバルでの取り組み



Governance ガバナンス

- 58 コーポレートガバナンス体制
- 60 サステナビリティ推進体制
- 61 役員紹介
- 64 社外取締役および
常勤監査役のメッセージ

Information and Data 企業情報・データ

- 65 サステナビリティ関連の
KPI進捗状況
- 66 ESGデータ集
- 67 各データの推移
- 69 連結貸借対照表
および連結損益計算書
- 70 エフテックグループ
グローバルネットワーク

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

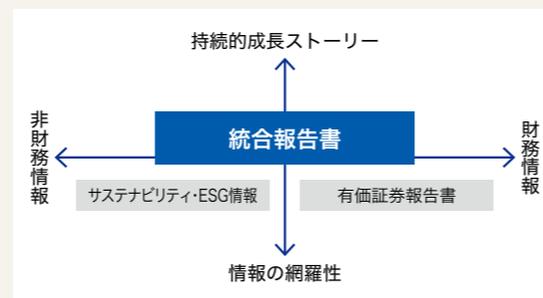
企業情報・データ

編集方針

本レポートは、エフテックグループにおけるさまざまな取り組みと、それがもたらす価値についてお伝えし、多様なステークホルダーの皆様とコミュニケーションを図ることを目的として発行しています。また、掲載情報は、特にお伝えしたい内容を抽出し掲載しているため、取り組み全体については当社WEBサイト内の各ページをご覧ください。なお、編集にあたっては「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省による「価値協創ガイドンス」などを参照しています。



情報開示体系



報告対象期間

対象期間: 2024年度(2024年4月1日~2025年3月31日)
※2025年4月以降の活動内容などを含む。

対象組織: 株式会社エフテックおよび連結子会社
会計基準: 当社は日本基準に準拠しております。

注意事項

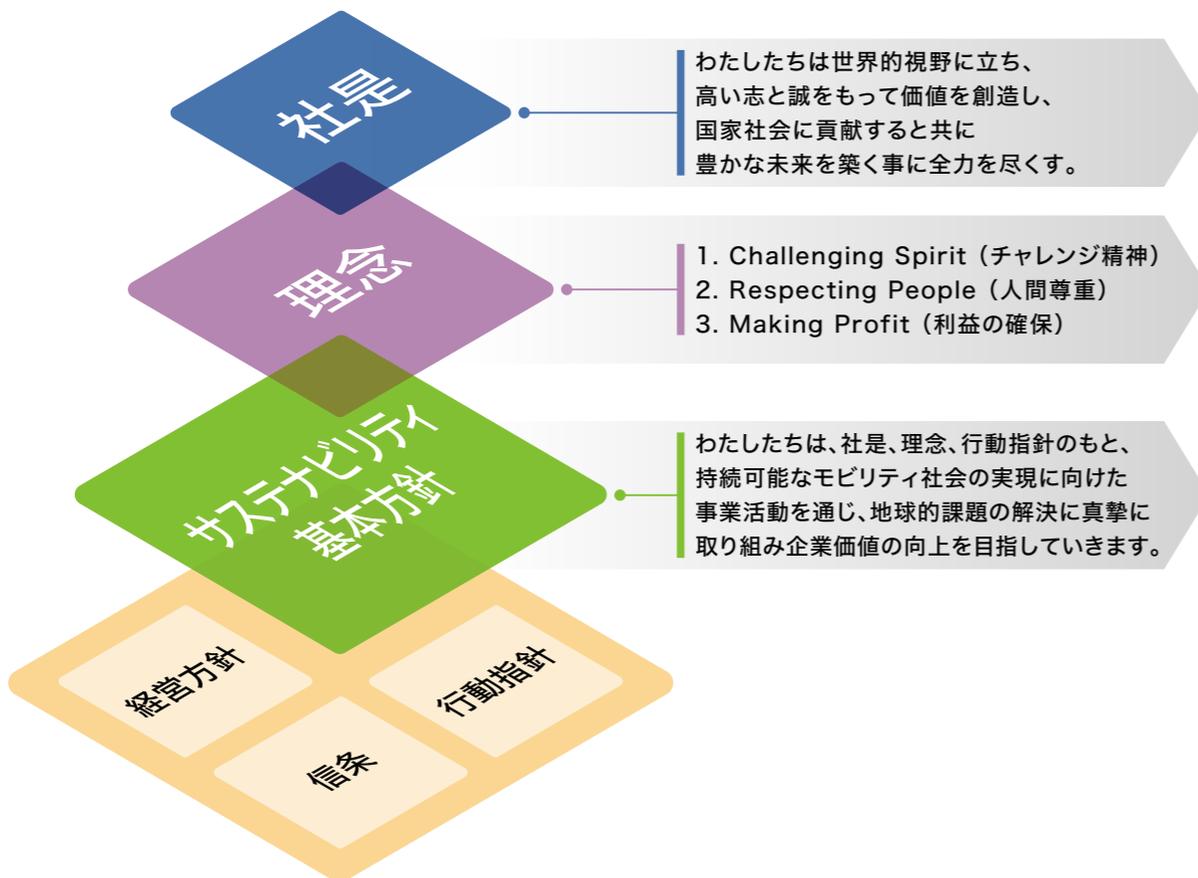
本書の作成に際しては、「マテリアリティの特定」において「GRIスタンダード」を基準にし、環境への配慮や気候変動リスクについてはTCFD提言を、社会的責任については「ISO26000」などを参考にしました。また、本報告書中でエフテックグループについての表記は、エフテックグループあるいは当社グループとし、株式会社エフテックについての表記は、エフテックあるいは当社としました。



F-TECH Philosophy

エフテックファミリーの在り方や行動、意思決定の基本となる、社是、理念、サステナビリティ基本方針を総称して「エフテック フィロソフィー」としています。

エフテック フィロソフィー



わたしたちの行動指針

● 法令の遵守

わたしたちは、あらゆる行動において倫理的に正しい行為を最優先に考えます。常に、法令・ルールを遵守し、遵法精神が高い企業であるために社会的良識を持って行動します。法令・ルールに違反する行為、違反のおそれのある行為を発見した場合には、所属長または企業倫理改善提案窓口に報告、提案、相談します。

● 人権の尊重

わたしたちは、全ての人々を尊重し、いやがらせや差別、児童労働、強制労働など、人権侵害につながる行為は行いません。

● 労働と安全衛生

わたしたちは、安心して働ける労働環境、労働条件を維持し、安全で衛生的かつ働き甲斐のある職場環境づくりを行います。

● 品質

わたしたちは、製品・サービスの品質と安全性を最優先し、定められた基準や手順を誠実に遵守し、お客様の期待に応えます。

● 社内規則の遵守

わたしたちは、コミュニケーション豊かで平等・健全な職場環境を築くために、社内規則の制定趣旨を正しく理解しこれを遵守します。

● 交通安全

わたしたちは、自動車部品の生産に携わる者として交通ルールを守り、譲り合いの精神で模範となる安全運転に努めます。

● 環境保全

わたしたちは、地球が人類の財産であることを理解し、生産にかかわる資源エネルギーの効率的活用と環境負荷の最小化を図り、地球環境の保全に努めます。

● 企業価値の拡大

わたしたちは、企業の存続が価値の創造であると捉えて社会に存在を認められる企業価値の拡大-長期継続的な利益確保-に努めます。

● 情報の管理と開示

わたしたちは、個人情報や機密情報と開示すべき情報を峻別し適切に管理します。開示すべき情報は法令・社内規則に従い適時適切な開示に努めます。

● 公正な取引

わたしたちは、不合理な商習慣には従わず、社会通念を超える利益供与や便宜、政治・行政との不透明な関係や反社会的勢力との関係を否定し、自由・公正・健全な取引を行います。

● コミュニティへの参画

わたしたちは、地域・社会の一員として、生活、文化、教育、福祉向上の為の活動等に積極的に参加し、平等で豊かな社会づくりを目指します。

INDEX

イントロダクション

> F-TECH Philosophy

Corporate Slogan

EV化にも対応する
足廻り機能領域の専門メーカー

価値創造を支える
エフテックグループの軌跡

海外で躍進するエフテックグループ概要

エフテックグループの強み

Top message

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

Corporate Slogan



いままでで最高・最上のパフォーマンス

Better than Ever

私たちエフテックグループは、
常に最高・最上のパフォーマンスを追求し、過去のベストを超えていく決意を込めて、
「Better than Ever」をコーポレートスローガンとして掲げています。
創業者の座右の銘「日新無疆にっしんむきょう(日々新たにして限りなし)」を継承する言葉でもあり、
無限のチャレンジ精神をグローバルの仲間と分かち合い、
共に新たな可能性を切り拓いていく想いを表現しています。

INDEX

イントロダクション

F-TECH Philosophy

> Corporate Slogan

EV化にも対応する
足廻り機能領域の専門メーカー

価値創造を支える
エフテックグループの軌跡

海外で躍進するエフテックグループ概要

エフテックグループの強み

Top message

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



We aim to be the world's leading manufacturer of functional area for vehicle chassis

F-TECH PRODUCTS

EV化にも対応する 足廻り機能領域の専門メーカー

サスペンションアーム、サブフレームやペダルなど、自動車の重要保安部品である足廻り部品を、高い設計技術力と独自の一貫加工体制で製造。自動車メーカーに求められる高い品質を確保しつつ、強度・耐久性と軽量化を同時に成立させています。

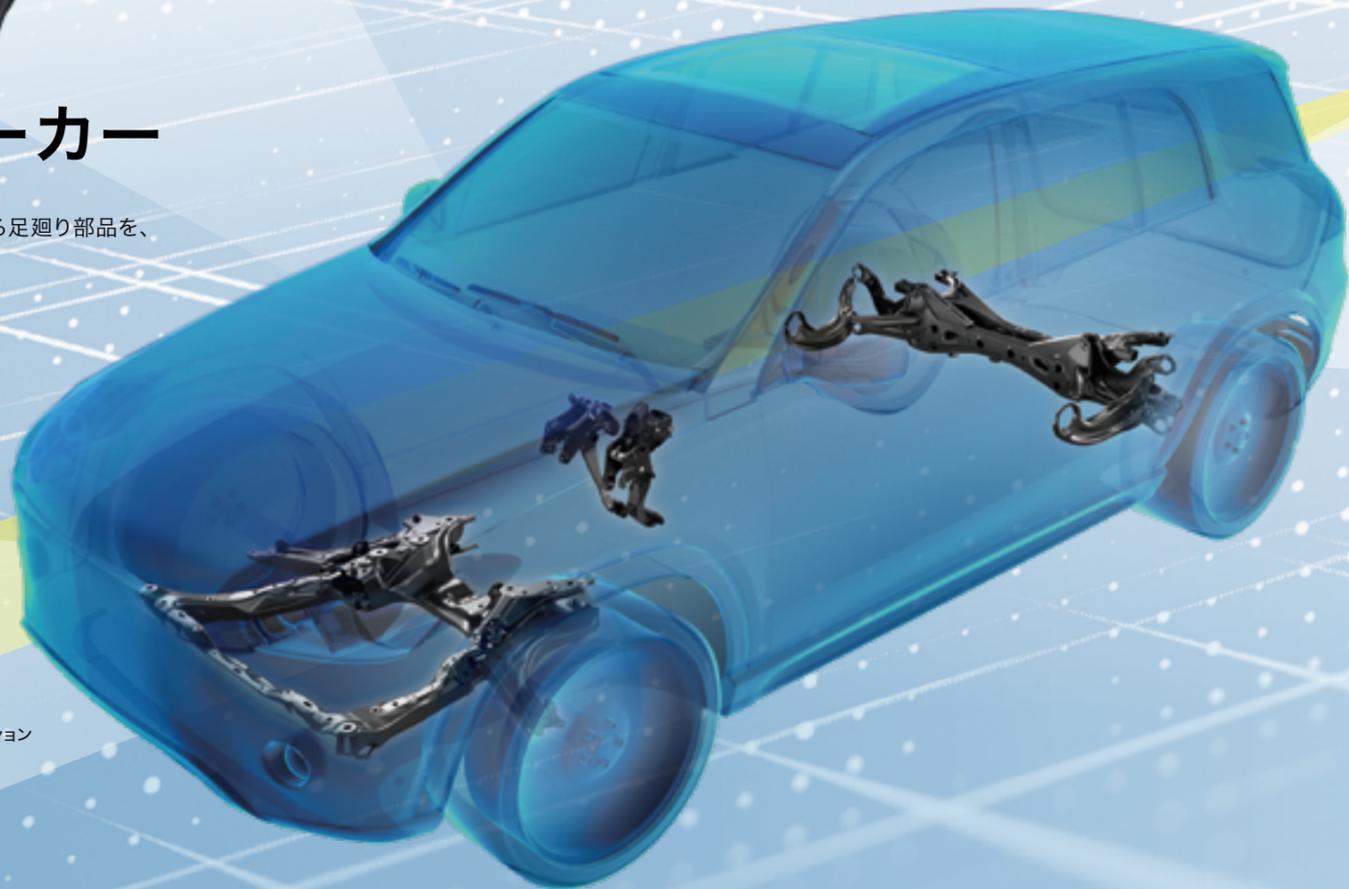


コントロール部品



マウント部品

フロントサスペンション



アクスルビーム

マウント部品

リアサスペンション

設計技術

独自の解析技術を駆使して、走行時の足廻りなど製品性能予測に基づいた開発を推進しています。



低炭素製造技術の実現に向けた取り組み

エフテックは、「私たちは、社会やお客さまとともに、モビリティ社会への貢献を通じて脱炭素社会の実現を目指します」という方針のもと、環境に配慮した製品・技術開発を推進しています。ICE/PHEV/FCV/BEVの開発で培った知見を活かし、さらなる軽量化によって走行時の環境負荷低減を図るとともに、仕様・工程設計を工夫して製造プロセスの低炭素化を進めます。開発から量産までの一貫加工体制を活用し、開発段階ではLCA(ライフサイクルアセスメント)を用いてCO₂排出の少ない最適仕様を検討するとともに、顧客ニーズに即した価値提案を強化します。

具体的には、新規部品では軽量化を最優先に、前機種モデル比で5%以上改善を目標とし、各製品で製造時のCO₂削減技術を計画的に導入します。製造段階では、大型・高効率設備の導入に加え、省エネの徹底と再生可能エネルギーの導入拡大により製造時CO₂の最小化を図り、製品LCAによるエネルギーの見える化を推進します。これらを通じて、2050年のカーボンニュートラル達成に向け取り組んでいきます。

加工技術

ハイドロフォーミング、FSW(摩擦攪拌接合)、超精密塑性加工技術FUT-1など、独自の加工技術を開発しています。



INDEX

イントロダクション

F-TECH Philosophy

Corporate Slogan

> EV化にも対応する 足廻り機能領域の専門メーカー

価値創造を支える
エフテックグループの軌跡

海外で躍進するエフテックグループ概要

エフテックグループの強み

Top message

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

価値創造を支えるエフテックグループの軌跡

INDEX

イントロダクション

- F-TECH Philosophy
- Corporate Slogan
- EV化にも対応する足廻り機能領域の専門メーカー

> 価値創造を支えるエフテックグループの軌跡

- 海外で躍進するエフテックグループ概要
- エフテックグループの強み
- Top message

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

創業期

1947~

四輪事業創業期

1967~

得意先・事業地域多様化期

1988~

グローバル展開拡大期

2000~2025

エフテックグループ履歴

- 1947年 埼玉県草加市で福田製作所を創業、金属玩具等の製造を開始
- 1955年 有限会社福田製作所を設立
- 1959年 本田技研工業株式会社の自動車二輪車の部品加工を開始



- 1964年 社名を福田プレス工業株式会社と改称



- 1967年 三重県亀山市に亀山工場を設立



- 1978年 埼玉県草加市より埼玉県南埼玉郡菟浦町に本社および工場(現・久喜事業所)を移転



- 1986年 グループ初の海外拠点として、F&P Mfg., Inc.(カナダ・オンタリオ州)を設立

- 1988年 社名を株式会社エフテックと改称
- 1991年 三重県亀山市に亀山第二工場を設立
- 三菱自動車工業株式会社と取引開始
- 1993年 F&P America Mfg., Inc. (米国・オハイオ州)を設立



- 1994年 株式会社九州エフテックを設立
- F.TECH PHILIPPINES,MFG.,INC. (フィリピン・ラグナ州)を設立
- 日産車体株式会社と取引開始
- 1995年 いすゞ自動車株式会社と取引開始
- 1997年 現DYNA-MIG, A Division of F&P Mfg., Inc. (カナダ・オンタリオ州)を設立
- 1999年 ダイハツ工業株式会社と取引開始



- 2000年 日産自動車株式会社と取引開始
- 現F&P Georgia, A division of F&P America Mfg.,Inc.(米国・ジョージア州)を設立
- 2001年 Toyota Motor Manufacturing North America, Inc.と取引開始
- スズキ株式会社と取引開始
- F.E.G, DE QUERETARO S.A. DE C.V. (メキシコ・ケレタロ州)を設立
- 2002年 偉福科技工業(中山)有限公司(中国・広東省)を設立
- 2003年 F.TECH R&D NORTH AMERICA INC. (米国・オハイオ州)を設立
- 偉福科技工業(武漢)有限公司(中国・湖北省)を設立
- 2004年 F-TECH MFG. (THAILAND) LTD. (タイ・アユタヤ県)を設立
- 2006年 株式会社リテラを子会社とする
- 2007年 福田模具技術(烟台)有限公司を設立
- 2008年 F.tech R&D Philippines Inc.を設立
- 2011年 偉福(広州)汽車技術開発有限公司(中国・広東省)を設立

- 2012年 F&P MFG DE MEXICO S.A. DE CV. (メキシコ・グアナフアト州)を設立
- 2013年 PT.F.TECH INDONESIA (インドネシア・カラワン県)設立
- Michigan/R&D NA Office 設立
- 2018年 F-Tech Automotive Components Pvt. Ltd. (インド・ハリヤナ州)設立
- 2021年 トヨタ自動車株式会社と自動車部品供給契約を締結し取引を開始
- 2022年 India Steel Summit Private Limitedを子会社化



- 2023年 F-TECH NORTH AMERICA INC.設立

エフテックグループ開発技術・生産部品

- 1964年 スーパーカブ フォークトップブリッジ



- 1964年 S600 シリーズ ENGマウントブラケット
- ENGマウントビーム



- 1966年 CB72 マフラー



- 1967年 N360シリーズ Pedalブラケット・インサイドシール・リアロアスカート・キャリアパン・フロントグリルなど



- 1970年 TNTラック ギアケース・テールゲートスキン
- 1972年 CIVIC フロントビーム・PEDAL ブラケット



- 1976年 ACCORD エンジンマウントビーム生産開始
- 1978年 PRELUDE Pedal Assy生産開始
- 1982年 TN 4WD リアサブフレーム生産
- CITY Pedalアシスト装置で表彰
- 1985年 ACCORD 板物ロアアームの生産

- 1987年 CIVIC リアトレーリングアームの生産



- 1990年 NSX アルミ部品の生産開始
- LEGEND フットペーキングブレーキの生産
- 1991年 フロントロアアームの鍛造からプレス品へ



- 1997年 開発リードタイム短縮
- 1999年 アルミベダル量産化

- 2000年 軽量化に対応した新技術
- ハイドロフォーミング成形技術を導入
- 2001年 パリフォーム製法をサブフレームに採用
- 2004年 世界に先駆けてアルミ溶接技術を開発
- 2005年 LEGEND 世界でオンリーワンの技術「熱間バルジ」の量産体制確立



- 2008年 FCXクラリティ 3D-FSWでアルミ製サブフレーム製造

- 2013年 FSWを進化させ、アルミとスチールを連続接合するハイブリッド接合技術を開発



- 2014年 超精密塑性加工設備「FUT-1」の稼働開始

エフテックグループの価値創造へ

2025年 3月期 連結売上高 3,008億円

1964年 単体売上高 2億円突破

1989年 単体売上高 174億円

1999年 連結売上高 712億円

2010年 連結売上高 1,220億円

2020年 連結売上高 2,187億円

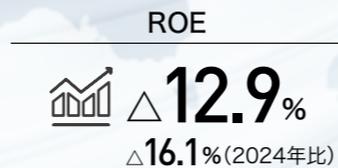
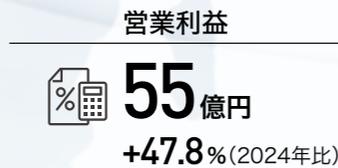


海外で躍進するエフテックグループ概要

An overview of Overseas F-TECH Group



挑戦と革新で未来を切り拓くエフテックグループ
グローバル展開と卓越した技術で
持続可能な成長の実現を目指します



INDEX

イントロダクション

- F-TECH Philosophy
- Corporate Slogan
- EV化にも対応する
足廻り機能領域の専門メーカー
- 価値創造を支える
エフテックグループの軌跡

> 海外で躍進するエフテックグループ概要

- エフテックグループの強み
- Top message

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



エフテックグループの強み

エフテックグループは、足廻り機能領域の専門メーカーとして世界No.1を目指しています。

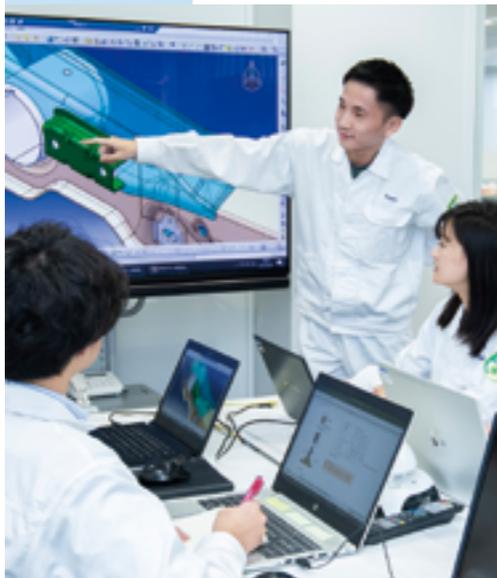
私たちの強みは、確かな商品開発力、現場で鍛えた生産技術力、国際競争力、変化に即応する顧客対応力、そしてそれらを支える人間力です。

これらの強みを核として、安全で環境に配慮した製品を提供し、世界中のお客様の信頼に応え続けます。

商品開発力

Product Development Capabilities

当社グループの「商品開発力」は、顧客ニーズに応じた最適な設計提案にあります。受託研究拠点を活用し基礎技術と生産技術を組み合わせ、性能、品質、コスト、生産性のバランスを追求します。特に燃費効率の向上やコスト低減のため、軽量化案を徹底検討し、試作や耐久試験を経て量産化しています。顧客との緊密な連携と高いカスタマイズ力が、当社の競争優位性と収益の源泉です。



国際競争力

International Competitiveness

当社グループは主要顧客と信頼関係を築き、グローバルに製造販売拠点を展開しています。これにより、各地域のニーズに迅速に対応し、設計変更にも対応する体制を整えています。この戦略で信頼関係を強化し、受注獲得と収益を確保しています。今後も高品質な製品とサービスを提供し、成長を目指します。



INDEX

イントロダクション

F-TECH Philosophy

Corporate Slogan

EV化にも対応する
足廻り機能領域の専門メーカー

価値創造を支える
エフテックグループの軌跡

海外で躍進するエフテックグループ概要

> エフテックグループの強み

Top message

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

生産技術力

Production Technology Capabilities

当社グループは、自動車や二輪車向けの足廻り機能領域における専門メーカーとして、製品の設計から品質保証までを一貫した体制で行い、独自の技術を蓄積しています。また、完成車メーカーと共働しハイドロフォーミングや摩擦攪拌接合技術を導入し、環境対応や多様なニーズに応えていくことで収益の重要な源泉としています。当社は長期ビジョンとして、「足廻り機能領域の専門メーカーとして世界No.1」を目指しており、新技術の開発と市場拡大を進め、顧客満足度の向上と新たな市場機会の創出に努めています。当社の生産技術力を活かし、持続可能な社会の実現に寄与します。



顧客要求への対応力

Ability to Respond to Customers Needs

当社グループは、顧客である完成車メーカーのニーズに応じた設計提案から量産まで一貫して対応できる体制を持っており、これが信頼関係の構築に強みとなっています。特に、長年にわたる完成車メーカーグループとの高品質な取引実績が、新たなメーカーからの受注にもつながっています。この「顧客要求への対応力」は、エフテックグループの価値創造において重要な要素です。



INDEX

イントロダクション

F-TECH Philosophy

Corporate Slogan

EV化にも対応する
足廻り機能領域の専門メーカー

価値創造を支える
エフテックグループの軌跡

海外で躍進するエフテックグループ概要

> エフテックグループの強み

Top message

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

Top Message

「Better than Ever」を原動力に、
「昨日を超える」に全社で挑む。

株式会社エフテック
代表取締役社長

福田 裕一

INDEX

イントロダクション

F-TECH Philosophy

Corporate Slogan

EV化にも対応する
足廻り機能領域の専門メーカー

価値創造を支える
エフテックグループの軌跡

海外で躍進するエフテックグループ概要

エフテックグループの強み

> Top message

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



第15次中期経営計画の成果と体制強化の取り組み

第15次中期経営計画の最終年度にあたる2025年3月期を迎え、これまでの取り組みを振り返ると、全従業員の努力のもとで、増収増益を達成することができました。「稼ぐ力の向上」を目指した動きが、着実に成果として表れています。

特に前期においては「原価低減活動」と「売価改定交渉」を両輪とし、攻めの姿勢で取り組むことができました。こうした活動を今期も継続し、稼ぐ力を一層高めていきたいと考えています。

例えば北米市場では、理念の一つである「Making Profit(利益の確保)」のもとで現場が一丸となり、着実に収益性の向上を図る動きが見られるようになりました。

今期からは新たな組織体制のもと、特にグローバルにおける体制強化を進めています。北米および中国・アジア大洋州地域においては地域統括役員を復活させ、より市場に密着した意思決定を可能にするとともに、成長市場であるインドにも事業担当役員を配置しました。

こうした体制変更の狙いは、足元の課題解決と将来に向けた成長戦略の実行を両立させることにあります。地域ごとの市場ニーズやお客様の要望を的確に把握し、意思決定の迅速化や対応力の強化、そしてセグメントごとの収益責任を明確にすることも、新体制の大きな目的です。

市場特性に応じた海外戦略と「地域戦略会議」

北米・中国・インドといった主要地域においては、各市場の成熟度や競争環境が異なるため、当社では地域ごとに戦略を展開しています。

北米は成熟市場ではあるものの、自動車の需要は依然として堅調に推移しており、既存顧客との取引を確実に維持・拡大しながら、未開の領域だったピックアップトラック向け製品などへの参入にも注力していきます。

中国市場は、中国資本の自動車メーカーが台頭するなか、多くのプレーヤーが存在しています。EV分野は特に急速な成長を遂げていますが、こうした変化を前向きに捉え、新たなお客様の獲得に積極的に取り組んでいきます。

中国は世界最大の自動車市場であり、市場がどのように変化しようとも、当社のグローバル事業展開における重要市場としての位置づけに変わりはありません。開発スピードや価格競争力といった対応力を高めながら、中国資本メーカーとの新たな関係構築にも挑戦し、成長機会をつかみ取ってきたいと考えています。

インド市場は、いまや世界第4位の規模を誇り、いずれ中国・米国に次ぐ第3位となると予測されており、大きな可能性を秘めています。ただし、商習慣やビジネス環境には独自性もあるため、拙速な展開ではなく、しっかりと学び、適応しながら参入していくことが重要です。

2025年4月には経営企画室において「エフテックインド戦略プロジェクト」を立ち上げ、現地駐在員と本社メンバーが定期的に連携し、着実に市場適応と事業拡大の足場づくりを進めています。

こうしたグローバル展開を支える組織的な基盤として、「課題解決協議会」を前期から各地域で開催してきました。特に中国・フィリピン・アメリカ・カナダといった



INDEX

イントロダクション

F-TECH Philosophy

Corporate Slogan

EV化にも対応する
足廻り機能領域の専門メーカー

価値創造を支える
エフテックグループの軌跡

海外で躍進するエフテックグループ概要

エフテックグループの強み

> Top message

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



INDEX

イントロダクション

F-TECH Philosophy

Corporate Slogan

EV化にも対応する
足廻り機能領域の専門メーカー価値創造を支える
エフテックグループの軌跡

海外で躍進するエフテックグループ概要

エフテックグループの強み

> Top message

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

拠点では、足元の課題に対し、日本サイドとの連携を深め、現場密着での改善活動を推進してきましたが、今期からはその協議体を「地域戦略会議」へと進化させました。地域ごとに異なる市場や環境に応じてどう成長を図っていくかを議論する場とし、次期・第16次中期経営計画に向けた戦略設計も視野に入れています。

サステナビリティ経営と 新たな挑戦

サステナビリティに対する社会的関心が高まるなか、当社も企業としての責任を強く意識し、積極的な取り組みを進めています。単なる環境対応にとどまらず、「社会課題の解決に真摯に向き合うことこそが、企業の持続的成長につながる」という考えのもとで推進しています。

そうした活動の一つが「リユースバッテリー」などを含む新規事業です。当社にできる社会的貢献は何かを問い直し、自動車産業の一員として循環経済や脱炭素への実質的な貢献を実現することは我々の責務、使命と捉えています。

サステナビリティの取り組み成果の一例として、「EcoVadis(エコバディス)社」のサステナビリティ評価においてブロンズメダルを獲得しました。これまでの積み重ねが評価につながったものです。また、2024

年度の事業者クラス分け評価制度(SABC評価制度)においても、優良な省エネ事業者である「省エネ優良事業者(Sクラス)」の評価を受けました。

中期経営計画の中でも、サステナビリティは新たなチャレンジ領域として明確に位置づけ、今後もグループ全体で具体的な施策を掲げ、重要領域としてしっかりと取り組んでいく所存です。

全社横断的な ウェルビーイングの向上へ

当社では、女性活躍推進を目的とした「女性ワーキングチーム(通称WWT)」の活動を前期で一区切りとし、今期より新たに「WWT II(セカンド)」へと発展させました。女性の活躍はダイバーシティを構成する重要な要素の一つですが、今後は性別、国籍、年齢を問わず、全ての従業員を対象に全社横断的な視点で展開していきます。サステナビリティ推進部のもとに設置されたこの新チームでは、ウェルビーイング(幸福度)の向上を通じて、「この会社においてよかった」と心から思え、社員一人ひとりが抱く夢や希望が実現できる環境づくりにも引き続き力を注いでいきます。そうした想いが企業全体の力を底上げする好循環につながると考え、具体的な取り組みを進めてまいります。

「プロフェッショナリズム」と 「オーナーシップ」

モノづくり企業である当社にとって、そこに携わる一人ひとりが「プロフェッショナル」としての誇りと責任を持つことは不可欠です。直接部門・間接部門を問わず、全員が「モノづくりへの関わり」をしっかりと意識し、自らの成長に努め、高みを目指しているかを問いかけています。

また、もう一つ大切にしているのが「オーナーシップ」です。担当する業務に対して当事者意識を持ち、強い責任感のもと自発的に取り組むことで、仕事のやりがい生まれ、自分自身を充実させることにもつながります。今期はこの「プロフェッショナリズム」と「オーナーシップ」をキーワードに、社内全体への浸透を図っていきます。

企業成長を支える 人財育成の仕組みづくり

持続的な成長を支えるために不可欠なのが、人財育成の強化です。その推進役である人事部の重要性を社内にはっきり示すとともに部門機能の充実を図る必要があります。そこで、今期から人事部内に「人財育成課」を新設し、採用から育成までを一元化する体制



を構築しました。人財育成課では、社会や事業環境変化に合わせ、採用や研修への新たなアプローチの検討や教育体系および各プログラムの見直し、再構築に着手してもらいます。今後は、人財育成課を中心に、体系的かつ実効性のある成長支援の仕組みづくりを進めてまいります。

世界中のお客様から 信頼される企業へ

当社が目指すのは、足廻り機能領域の専門メーカーとして「エフテックに任せれば安心だ」と、世界中のお客様から信頼される企業となることです。シェアや売上高などの数値的な指標ももちろん重要ですが、それ以上にお客様のニーズに合致する提案力、困りごと解決への対応力、プロジェクト遂行力や安全・品質・搬入・改善のモノづくりの基本に誠実に取り組む量産管理能力といった総合的な価値で選ばれることを何よりも重視しています。

この姿勢を象徴するのが、コーポレートスローガン「Better than Ever」です。常に昨日より今日、今日より明日へと、過去の自分たちを超えていくという志は、創業者の座右の銘「日新無疆（日々新たにしてい限り）」にも通じています。同じ想いを世界中の仲間と分かち合い、日々の挑戦を積み重ねることが、より高みを

目指す原動力になると信じています。

もう一つ、我々が大切にしているのが、「この会社が地域にあってよかった」と思ってもらえる企業であることです。従業員一人ひとりの幸福と、地域社会からの信頼。この両方があるからこそ、持続的な企業成長が可能

になります。当社では各地域において、学校への寄付や工場見学の受け入れ、清掃活動など、地域に根ざした社会貢献活動を継続しており、こうした取り組みを通じて地域との絆を深め、ステークホルダーの一員としての責任を果たしてまいります。

社会課題と まっすぐ向き合う先に、 我々のぶれない成長がある



INDEX

イントロダクション

F-TECH Philosophy

Corporate Slogan

EV化にも対応する
足廻り機能領域の専門メーカー

価値創造を支える
エフテックグループの軌跡

海外で躍進するエフテックグループ概要

エフテックグループの強み

> Top message

価値創造ストーリー

価値創造戦略

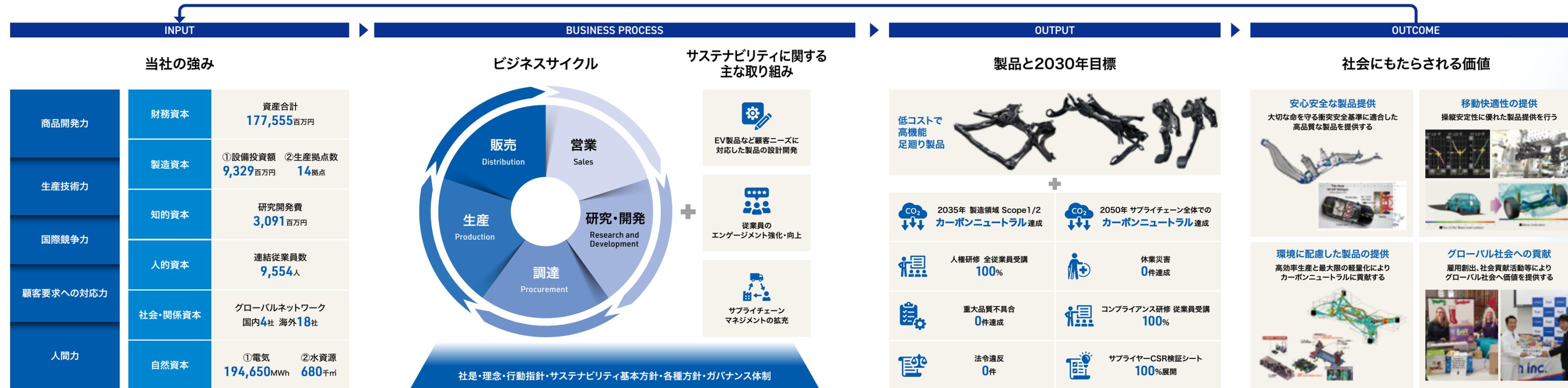
ガバナンス

企業情報・データ



価値創造プロセス

足廻り機能領域の専門メーカーとして世界No.1を目指して



マテリアリティの取り組み、地球的課題の解決

持続可能なモビリティ社会の実現

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

> 価値創造プロセス

マテリアリティ特定とサステナビリティロードマップ

マテリアリティへの取り組み

第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要

CFO MESSAGE

稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況

稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況

稼ぐ力の強化 — インド事業の状況

稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化

新技術の確立

戦略的な成長ビジネス機会の追求

パフォーマンスで選ばれるエフテック

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



マテリアリティ特定とサステナビリティロードマップ

わたしたちは、社是、理念、行動指針のもと、持続可能なモビリティ社会の実現に向けた事業活動を通じ、地球的課題の解決に真摯に取り組み企業価値の向上を目指していきます。

2023年

課題認識 体制整備

理解

社内推進体制づくり

新体制の構築

- サステナビリティ推進部設置
- サステナビリティ委員会立ち上げ
- サステナビリティ理解へ取り組み強化

方針・課題の設定

- 外部評価活用による課題の整理
- マテリアリティの特定と基本方針の策定
- サステナビリティ研修の実施

有価証券報告書

▶ 新設開示項目への対応

2024年

体制整備 実践 開示

実践

PDCAサイクルの構築

継続的な運用

- 外部評価結果活用による課題の改善
- 各領域の「方針」の策定と見直し
- サステナブルなサプライチェーン構築

創出価値の見える化

- 価値創造プロセスの構築
- 統合報告書発行
- サステナビリティのKPI検討
- パーパス策定に向けた準備

2025年

実践 開示 対話

定着

報告とコミュニケーション

透明性の確保と相互理解

- 重要テーマの経営への統合と中計への反映
- 経営の健全化と価値の最大化
- ステークホルダーのニーズに沿った開示
- 投資家との効果的な対話

サステナビリティ経営の高度化

- 中期ビジョンの設定
- 環境・社会・経済の持続可能性への取り組み強化

SSBJ(サステナビリティ基準委員会)

▶ 法定開示への取り組み検討

2026年~

実践 開示 対話

継続推進

持続的な成長

ステークホルダーとの共創

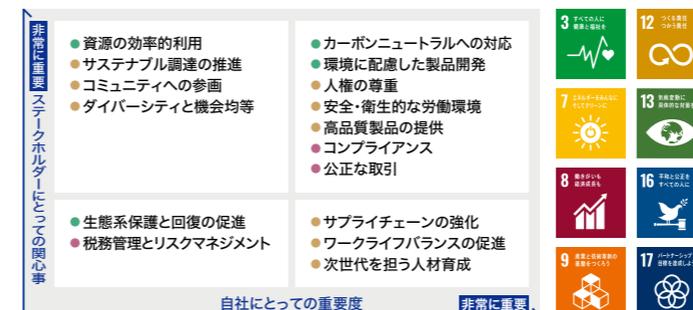
- パーパス設定(2050年ターゲット)
- 開示・対話を活かした発展
- 新たな事業の追求



マテリアリティ特定プロセス

私たちエフテックグループは、ステークホルダーの関心事と自社にとっての重要度の二軸を考慮に入れ、当社の企業価値の向上および持続可能な社会づくりのために、マテリアリティの特定とKPIを定めました。このマテリアリティは社内機関での議論を経て特定しています。

STEP 01	当社ステークホルダーを特定し、GRIスタンダード、ESG社外評価項目などにより社会課題を抽出
STEP 02	抽出した課題から当社の重要度、ステークホルダー関心度からマトリクスを用い優先順位を設定
STEP 03	優先順位を定めたサステナビリティ課題から、サステナビリティ委員会での協議、機関決定を経て重要課題を特定
STEP 04	特定した課題をマテリアリティとし、KPIに基づき進捗を管理



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

▶ マテリアリティ特定とサステナビリティロードマップ

マテリアリティへの取り組み

第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要

CFO MESSAGE

稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況

稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況

稼ぐ力の強化 — インド事業の状況

稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化

新技術の確立

戦略的な成長ビジネス機会の追求

パフォーマンスで選ばれるエフテック

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



マテリアリティへの取り組み

当社グループは、持続可能な社会構築と企業価値の向上を目指し、ステークホルダーとの関係を重視した7つのマテリアリティを特定し、2030年までの具体的なKPIを設定しました。これによりESGへの対応を強化し、サステナブルな経営を推進します。

マテリアリティ	目指したい姿	当社の主な取り組み	KPI(2030年)	SDGsとの関連	
E nvironment 環境	カーボンニュートラルへの対応	低炭素で高効率な生産体制の構築と環境に配慮した製品開発	<ul style="list-style-type: none"> EV製品など顧客ニーズに対応した製品の設計開発 環境負荷物質の低減 LCAによる製品評価 第三者検証の実施 再生可能エネルギーの利用拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 2035年製造領域Scope1/2カーボンニュートラルの達成 2050年サプライチェーン全体でのカーボンニュートラルの達成 	  
	環境に配慮した製品開発				
S ocial 社会	人権の尊重	事業基盤を一層強化し、従業員が快適に働き、全ての人へ安心・安全な未来を	<ul style="list-style-type: none"> 多様性を尊重する企業文化の醸成 従業員のエンゲージメント強化・向上 	<ul style="list-style-type: none"> 人権研修…………… 全従業員受講100% 	 
	安全・衛生的な労働環境		<ul style="list-style-type: none"> 労働安全法制の遵守継続 	<ul style="list-style-type: none"> 休業災害…………… 0件達成 	
	高品質製品の提供		<ul style="list-style-type: none"> お客様満足度の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 重大品質不具合…………… 0件達成 	
G overnance 企業統治	コンプライアンス	中長期的な企業価値の向上に向けた企業基盤の拡充	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス教育の拡充 	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス研修…………… 全従業員受講100% 法令違反…………… 0件 	 
	公正な取引		<ul style="list-style-type: none"> CSR検証シートの高度化 サプライチェーンマネジメントの拡充 	<ul style="list-style-type: none"> サプライヤーCSR検証シート…………… 100%展開達成 	

サステナビリティ関連のKPIの進捗状況および非財務データは、P65～66に掲載しております。

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

マテリアリティ特定とサステナビリティロードマップ

> マテリアリティへの取り組み

第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要

CFO MESSAGE

稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況

稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況

稼ぐ力の強化 — インド事業の状況

稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化

新技術の確立

戦略的な成長ビジネス機会の追求

パフォーマンスで選ばれるエフテック

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



第15次中期経営計画 (FY23-FY25) 概要

成長

全社方針
稼ぐ力を向上させ持続的に成長し社会に貢献する

Challenge for New

戦略的な成長ビジネス機会の追求

- 戦略的な営業活動による付加価値拡大
- EV商権の拡大
- 開発効率の最大化
- 新技術の確立

稼ぐ

Back to Basics

稼ぐ力の強化

- 課題拠点へのエフテック一体サポート展開
- 競争優位性の強化による収益向上
- 従業員エンゲージメントの向上
- エフテックファミリーで活躍できる人材の育成

サステナビリティ経営の構築

- ESG経営への取り組み強化
- カーボンニュートラルの実現に向けた推進
- ステークホルダーからの評価向上

借入金の削減

財務体質の健全化

- 14次中期投資による成果の創出
- 投資の抑制
- 収支モニタリング体制の強化

第16次中期経営計画 (FY26-FY28)

到達目標

営業利益率 5%
成長投資

モノづくりの本質追求

稼ぐ力

INDEX

[イントロダクション](#)
[価値創造ストーリー](#)
[価値創造プロセス](#)
[マテリアリティ特定とサステナビリティロードマップ](#)
[マテリアリティへの取り組み](#)
[> 第15次中期経営計画 \(FY23-FY25\) 概要](#)
[CFO MESSAGE](#)
[稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況](#)
[稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況](#)
[稼ぐ力の強化 — インド事業の状況](#)
[稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化](#)
[新技術の確立](#)
[戦略的な成長ビジネス機会の追求](#)
[パフォーマンスで選ばれるエフテック](#)
[価値創造戦略](#)
[ガバナンス](#)
[企業情報・データ](#)


CFO MESSAGE

収益体質と財務基盤の強化を通じて、
モノづくり企業に不可欠な資本効率の良い
経営基盤を構築し企業価値向上に努めます。

取締役兼 上席執行役員
管理本部長

若林 圭



鍵はアメリカと中国
利益回復と財務改善の両立を

前期は営業利益が54億円(前期比17億円増)と大きく増加した一方で、最終損益は69億円の赤字となりました。主たる原因は中国市場における大幅な減産です。中国や東南アジアでは、中国系EVメーカーの勢いが継続しており、日・欧米メーカーの販売不振が続き直接的な打撃を受けました。

今期は、営業利益・純利益共に大幅な回復を目指しており、これを実現するための鍵となるのが、米国と中国です。北米地域においては、課題拠点である米国の生産効率等の改善を継続するとともに、各種コストの負担増について得意先との売価改定交渉による価格転嫁を進めました。また、中国では、得意先の生産減へ適切に対応するため要員数の適正化や固定資産の減損により事業の構造改革を行いました。今後も「稼ぐ力の向上」に向け、変化に柔軟に対応しつつ、継続的な体質強化を図っていきます。

当社は自動車の足廻り部品のサプライヤーとして北

米、アジアなど多地域で事業を展開しているため、拠点固有の問題やグループ全体の戦略に影響を与える経済政策への対応等さまざまな経営課題に直面します。重要な経営課題については全ての取締役と共有し課題の解決に取り組んでいます。前期は、営業キャッシュ・フローによる約147億円のキャッシュをもとに、過剰な投資を抑制しつつ約35億円の有利子負債の削減を行いました。今期は約50億円の有利子負債の圧縮を計画しており、財務基盤のさらなる改善を図ります。不確実性の高い事業環境の中でも経済動向や環境規制などの変化を適切に把握し、財務リスクの最小化と持続的な資金調達と資金効率の向上を進めていきます。

「稼ぐ力の向上」と「持続的成長」をベースに
モノづくりを進化させる中計へ

今期は「第15次中期経営計画」の最終年度になります。全社方針として掲げる「稼ぐ力の向上」については、米国や中国等の課題拠点の抜本的立て直しや機能本

部の体制見直しによる間接経費の削減を図ります。また、引き続き各拠点の製造体質改善施策を推進しつつ、当社の強みを活かした新規ビジネスの獲得により収益力強化に取り組み、経営計画目標を達成いたします。

「持続的成長」については、今期から「エフテックインド戦略プロジェクト」を発足させ、インドにおけるビジネス拡大に向けたアプローチを開始しました。人的資本の向上策としては、人財育成部門を強化し、「プロフェッショナリズム」と「オーナーシップ」を兼ね備えた人づくりを通じてエンゲージメントの向上やダイバーシティに取り組んでいます。

次期中期経営計画では、資本コストの水準と目標について開示する予定です。将来ビジョンを踏まえた現状の課題やその解決、向上のための取り組み等、どのような手段で企業価値向上を図るのか、当社の考えをできるだけ具体的に明示する予定です。また、将来獲得するキャッシュにより財務基盤の強化を図りつつ、成長投資や株主還元等にどのように配分していくのかについても十分に検討してまいります。中長期的な企業価値向上に向けて、CFOとして全力を尽くしてまいります。

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

マテリアリティ特定と
サステナビリティロードマップ

マテリアリティへの取り組み

第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要

> CFO MESSAGE

稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況

稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況

稼ぐ力の強化 — インド事業の状況

稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化

新技術の確立

戦略的な成長ビジネス機会の追求

パフォーマンスで選ばれるエフテック

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況

技術・品質・コストの総合力で顧客価値を高め、グローバルな収益力強化に直結する成果を創出する。

2024年度の実績

- ターンアラウンド推進体制の構築
- コンサルタントサポートを導入
- 主要得意先への売価改定交渉
- 生産領域の改善活動

通期営業利益率

3.6%

2025年度

生産体質改善施策にDX化を追加し利益体質の完全復活と将来ビジネスの獲得による新たな成長に向けてスタート

ポイント

事業環境変化への適切な対応
(トランプ政権、EV市場の激動)

通期営業利益率

5.0% 以上を目標に推進

高付加価値製品の提案を通じた将来ビジネス獲得

取締役兼専務執行役員
(グローバルSED統括
兼 北米地域統括)

藤瀧 一



エフテックの連結売上高の約70%を占める北米事業は、当社グループの将来を牽引する最重要セグメントです。グループ最大の生産規模を有し、ICE、HEV、EVなどあらゆる車種のシャーシおよびサスペンション部品を、日欧米系OEM各社へ幅広く供給しており、売上は堅調に伸びてきました。

一方、近年では環境規制の変化に伴うEV化のスピード鈍化や通商政策動向の変化など、当社を取り巻く事業環境は不透明さを増しています。そのような環境変化の中にあっても、顧客よりご評価いただいている開発力、品質力、コスト競争力といった強みを最大限に活かした高付加価値な製品を提案し、将来ビジネスの獲得につなげていきます。

さらに、持続的な成長を実現するため、製造領域における物流領域を含めた自動化に加え、製品開発から製造、管理領域にいたるまでAIやIoTを取り入れた一貫したモノづくりのDX化を推進します。これにより、各プロセスの効率化を図ることで、コスト体質の強化を進め、営業利益率5%以上を目標に事業を展開してまいります。

DX化の一例 溶接ラインの効率見える化

溶接ラインの稼働率見える化システム(内作)導入による効率改善加速



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

マテリアリティ特定と
サステナビリティロードマップ

マテリアリティへの取り組み

第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要

CFO MESSAGE

> 稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況

稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況

稼ぐ力の強化 — インド事業の状況

稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化

新技術の確立

戦略的な成長ビジネス機会の追求

パフォーマンスで選ばれるエフテック

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況

中国での販路拡大をアジア地域へ展開し、商権連動と部品相互補完によりトップラインを押し上げる

2024年度の方向性

得意先の生産量に見合った事業構造への転換

2024年度の 主な施策

- 固定資産減損
- 経費削減の徹底
- 生産ラインの集約
- 新規顧客の開拓
- 要員数の適正化
- プレス部品内製化
- ラインレイアウト変更

2025年度 事業収益改善の要因

固定資産減損による
減価償却費減
18億円/年

要員数の適正化による
労務費減
9億円/年

プレス部品内製化、経費
削減等の施策による効果金額
8億円/年

35億円/年
固定費等減少効果

“要員数の適正化” “固定資産価値の減額”により、ボトム生産対応へ構造変換

プレス加工内製化取り組み



半完成品を自動TDMラインに投入する
ための装置を内製化

仕掛品投入装置

外作加工費を削減するため、大型部品7点、中・小型
部品5点の計12部品を取り込み

効果金額: 約**4,000**万円/年

出荷台車を内作、購入費用削減



生産減による余剰台車を改造し、新規購入費を削減
する改善を実施

台車1台当たり**20%**のコスト削減

工場内の効率改善に焦点を当てた各種施策を推進

中国事業の現状と 将来展望について

常務執行役員
(営業本部長兼中国・
アジア大洋州地域統括)

飛田 茂晴



中国の自動車市場は、昨年の買い替え促進政策や2027年度まで継続される新エネ車取得税減免政策などもあり堅調に推移し国内および輸出向けとも販売台数は増加傾向を維持しています。販売内訳は5年前95%強のシェアがあった非新エネ車が60%弱になり、新エネ車が40%強までシェアを拡大しています。新エネ車で先行している中国OEMが市場全体の65%強までシェアを拡大し、独系OEM15%、日系OEM11%、米系OEM6%という状況になっています。我々の中国生産2拠点(中山/武漢)は外資向けにそれぞれ90万台生産体制を構えていましたが、大幅な売上減となり昨年末に希望退職による要員削減と固定資産の減損を実施し生産体制のスリム化を図りました。中国地域でスリム化した生産拠点の製造コスト競争力と現地開発拠点の商品提案力、現地金型製造販売拠点の投資コスト競争力と、それぞれが現地で融合できるスピード(業務効率)で、今後は外資系だけでなく中国OEMのビジネス拡大も進めていきます。また、アジア地域に中国OEMの進出が進んでいるので、中国地域で販路を拡大し、その商権をもってアジアでの販路拡大へつなげ、中国/アジアの部品相互補完も検討し、トップラインを上げるべく推進していきます。

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

マテリアリティ特定と
サステナビリティロードマップ

マテリアリティへの取り組み

第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要

CFO MESSAGE

稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況

> 稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況

稼ぐ力の強化 — インド事業の状況

稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化

新技術の確立

戦略的な成長ビジネス機会の追求

パフォーマンスで選ばれるエフテック

価値創造戦略

ガバナンス

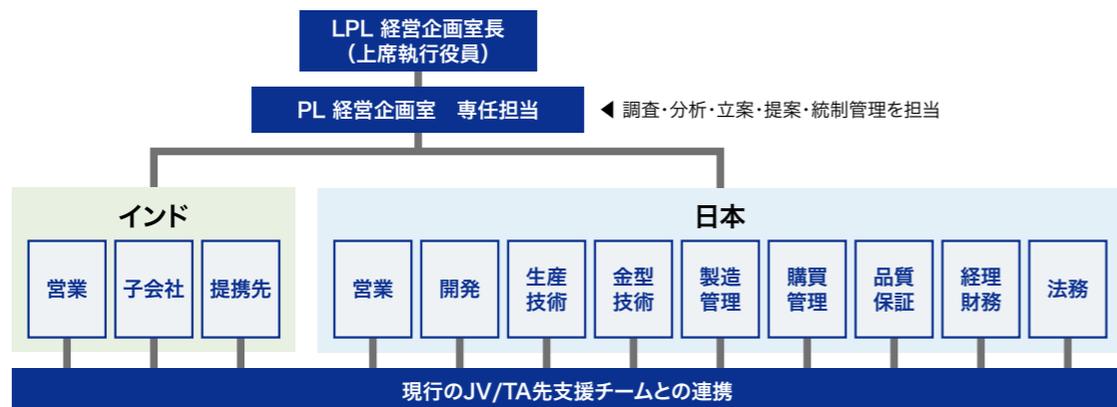
企業情報・データ



稼ぐ力の強化－インド事業の状況

さらなる収益拡大を目指し、成長市場であるインドにおいて、価値創造に向けてチャレンジ

2025年4月 エフテックインド戦略プロジェクトを発足させ、ビジネス拡大へのアプローチを開始



※LPL：全体を指揮するラージ・プロジェクト・リーダーの略 PL：プロジェクト・リーダーの略

インド戦略プロジェクト主導のもと、競争力強化施策の立案・実行に向けて推進中



インドで拓く NEXT STAGE!

上席執行役員
(経営企画室長
兼 インド事業担当)



山内 次郎

自動車産業を取り巻く内外環境が大きく変化するなか、持続的な成長を遂げるには、常に新たな市場の開拓・拡大が不可欠です。海外収益が連結の90%を超える現在、北米や中国のみを利益の源泉とする成長戦略だけでは、今後20年の見通しを楽観視することはできません。

そこで注目しているのが、世界有数の成長市場であるインドです。人口や労働者人口、自動車普及率の上昇、そして対他競争力の優位性から、インド市場の今後の成長は揺るぎないものと考えています。事業パートナーであるVEE GEE社(ビージー社)との提携は、2024年度で10周年を迎え、インド現地への出向者も10名に達しました。

これからも「研究開発力」「人間力」「国際競争力」といった強みを最大限に発揮し、経営リソースを集中的に投下することで、2050年にはインドビジネスを収益の第三の柱へと成長させることを目指します。その成長戦略の一環として、2025年度から「エフテックインド戦略プロジェクト(FIS PJ)」を発足させ、インド事業拡大に向けさまざまな施策を推進してまいります。

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

マテリアリティ特定と
サステナビリティロードマップ

マテリアリティへの取り組み

第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要

CFO MESSAGE

稼ぐ力の強化－北米拠点の状況

稼ぐ力の強化－中国事業の状況

> 稼ぐ力の強化－インド事業の状況

稼ぐ力の強化－開発効率の最大化

新技術の確立

戦略的な成長ビジネス機会の追求

パフォーマンスで選ばれるエフテック

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化

開発領域の拡大やさらなる開発効率アップに向けて推進中

通常の開発フロー



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

マテリアリティ特定と
サステナビリティロードマップ

マテリアリティへの取り組み

第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要

CFO MESSAGE

稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況

稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況

稼ぐ力の強化 — インド事業の状況

> 稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化

新技術の確立

戦略的な成長ビジネス機会の追求

パフォーマンスで選ばれるエフテック

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



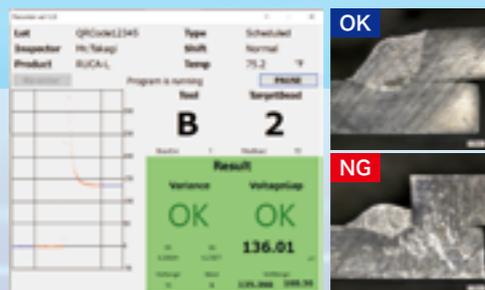
新技術の確立

導入拠点・車種を拡大し、部品廃却費のさらなる削減と検査自動化を目指す

非破壊検査機 + 判定ソフト内製 = **エフテックオリジナルの溶接部非破壊検査技術**

基礎研究

自社開発検査機



試作機導入

作業員による
非破壊検査運用



全自動システム化

ロボットによる
非破壊検査の自動化(開発中)



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

マテリアリティ特定と
サステナビリティロードマップ

マテリアリティへの取り組み

第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要

CFO MESSAGE

稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況

稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況

稼ぐ力の強化 — インド事業の状況

稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化

> 新技術の確立

戦略的な成長ビジネス機会の追求

パフォーマンスで選ばれるエフテック

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



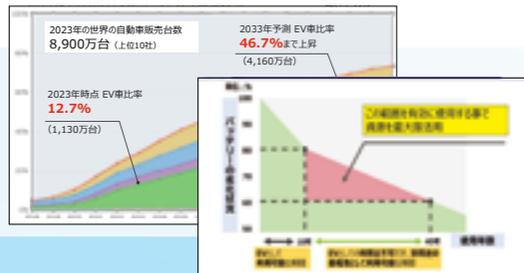
戦略的な成長ビジネス機会の追求

カーボンニュートラルの実現において、高性能な車載バッテリーの二次利用は有効なソリューションである

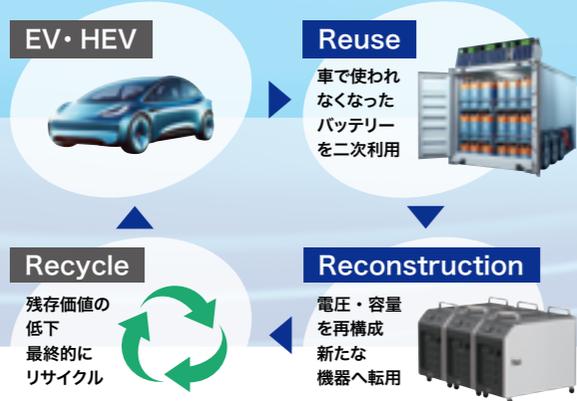
EVバッテリーのリユースビジネスへ参入し、サーキュラーエコノミーの実現を目指す

課題抽出～取り組み内容

EVおよびEVバッテリーの課題抽出



ソリューション検討(サーキュラーエコノミー)



2024年度 取り組み

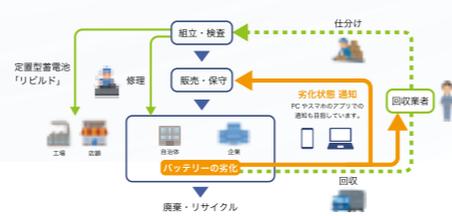
●コンセプトモデル開発



●展示会出展



●ソリューションのブラッシュアップ



2025年度 計画

- プロトタイプ開発、実証実験
- 社内、他社への販路確保を踏み出す

最大のテーマ

- リユースバッテリー搭載
- 実証実験
- 販路確保



製品名	仕様	特徴	用途
リユースバッテリー	高容量、長寿命	環境に優しい	産業用機器
定置型蓄電池	安定した電力供給	メンテナンスフリー	工場、倉庫
モバイル電源	持ち運びが便利	充電速度が速い	現場作業

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

マテリアリティ特定とサステナビリティロードマップ

マテリアリティへの取り組み

第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要

CFO MESSAGE

稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況

稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況

稼ぐ力の強化 — インド事業の状況

稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化

新技術の確立

> 戦略的な成長ビジネス機会の追求

パフォーマンスで選ばれるエフテック

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



パフォーマンスで選ばれるエフテック

お客様やお取引先の温かいご支援のおかげで、エフテックは品質・コスト・デリバリー・供給などさまざまな分野で表彰をいただきました。

ここでは、日々の努力と皆様のご協力により受賞した実績をご紹介します。

本田グループ HONDA



Challenging spirit award

支給品不具合時の
ご協力・供給責任履行への感謝

感謝状



優良感謝賞

新機種安定立ち上げにおける最高品質
パフォーマンス発揮の高評価

品質



供給優良サプライヤー賞

生産変動対応力・搬入異常ゼロ達成表彰

品質

ゼネラルモーターズ GM



Supplier quality excellence award

品質分野で5年連続の受賞

品質



Platinum supplier

サービスパーツ供給などサポート面での表彰

品質



Annual supplier of the year

品質・コスト・納期・開発での評価による受賞

供給

トヨタグループ TOYOTA



Best supplier for Quality, cost, and delivery

品質・コスト・納期で大きく貢献した企業への表彰

供給



品質・納期優良賞

Quality Deliveryの成果が評価されたもの

品質



Superior quality performance award

最優秀品質賞

品質



Superior Delivery Performance Award

優秀納品賞

供給

日産グループ NISSAN



優良品質感謝状

品質・コスト・納期貢献表彰

品質



Regional Supplier Quality Master certificate

優秀品質受賞

品質



Global supplier Award

納品・品質優秀企業表彰

品質

スズキグループ SUZUKI



Certificate of Appreciation

日々の品質・納入優良取引先感謝状

感謝状

ヤマハグループ YAMAHA



Certificate of Appreciation for achieving Delivery Performance target

納期目標達成感謝状

感謝状



Best in quality

優秀品質賞

品質



Best in delivery

優秀納品賞

供給

三菱自動車グループ MITSUBISHI



Superior delivery performance award

安定供給・品質維持優良企業表彰状

供給



Excellence quality with zero defects

納入不具合ゼロ達成表彰

品質

OEM



Quality sustenance award [Bellsonica]

品質向上活動優秀賞

供給



Plaque of Appreciation [Toyota Aisin]

樹脂部品現調化推進感謝状

感謝状



Overall・Excellent performance award [Denso]

品質・コスト・納期貢献優秀企業賞

品質

感謝状



Best supplier QCD [Aisin Shiroki]

品質・コスト・納入優秀企業表彰

品質

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造プロセス

マテリアリティ特定と
サステナビリティロードマップ

マテリアリティへの取り組み

第15次中期経営計画(FY23-FY25)概要

CFO MESSAGE

稼ぐ力の強化 — 北米拠点の状況

稼ぐ力の強化 — 中国事業の状況

稼ぐ力の強化 — インド事業の状況

稼ぐ力の強化 — 開発効率の最大化

新技術の確立

戦略的な成長ビジネス機会の追求

> パフォーマンスで選ばれるエフテック

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ



INDEX

[イントロダクション](#)[価値創造ストーリー](#)[価値創造戦略](#)[ガバナンス](#)[企業情報・データ](#)

価値創造戦略

▶ 価値創造を、果敢にカタチに。

地域それぞれの個性や課題に寄り添いながら、
環境と社会のためにできることを。



経営戦略と連動した 人事戦略を着実に実行する

稼ぐ力を向上させ競争力や企業価値の増進を図るためには、人事戦略を策定し着実に実行することが重要です。当社では、従業員は生産活動を行うための経営資源であるという従来の「人的資源 (human resources)」の考え方を改め、人は企業に財をもたらす存在であり企業の発展には欠かせないという「人的資本 (human capital)」の考え方に基じた人事戦略に取り組んでいます。

具体的には、専門性の向上や技術力の強化、グローバル人財育成のためのキャリア開発、エンゲージメントの向上、本人の能力やキャリア希望を踏まえた適材適所の人財配置、キャリア採用の拡充等を推進しています。中でもエンゲージメントの向上は重点課題であり、人事評価制度や勤務形態の見直し、研修制度の充実等に積極的に取り組んでいます。

人財育成においては、当社が掲げる「プロフェッショナルリズム」と「オーナーシップ」を重視しています。「プロフェッショナルリズム」とは、常に高みを目指し挑戦を続ける姿勢であり、「オーナーシップ」とは、強い責任感を持つ

て自発的に行動する力を指します。海外売上が全体の9割を占める当社では、常にグローバルを意識した行動が必要であり、グループ全体を俯瞰する意識や意欲を持った人財の育成に取り組んでいます。

当社では、海外を含めた拠点や従業員を「エフテック・ファミリー」と呼びます。「従業員が、安心、安全に、希望ややりがいを持って働ける職場をつくる」という経営者の想いがベースにあります。教育・研修では、社長自らが講師を務める「F. Career Design Advance」を2023年から導入し、すでに200名超の従業員が受講しています。経営者との対話を通じて自主性を尊重する組織風土の醸成や、エンゲージメントスコアの向上を図っています。

人間力向上により 組織力の強化を図る

当社の重要課題の一つは、従業員の人間力向上による組織力の強化だと考えています。モノづくりの現場では、実務経験やスキルの向上を重視してきた結果、経験領域には強いものの他領域への関心や知識が薄い職人気質の従業員が多く見受けられます。今後は、少子高齢化等の社会環境や不透明な事業環境を踏まえ、限られ

た人員で組織をどのように運営し業績を伸展させていくか、複合的に考えて行動できる人財が必要です。つまり、総合力の高い人財の育成とそうした人財による組織力の強化が求められています。

当社はこれまで、人事制度や人財育成については事業本部単位で運営されており、入社から退職するまでずっと同じ部門で働く従業員が多くいます。しかし今後は、全社で横断的な人事戦略を展開し、部門間の連携を強化することで組織力を高めていきたいと考えます。社員一人ひとりの能力や適性、希望に応じて社内でキャリアチェンジができる環境を整えば、転職の抑止にもつながります。社内にある多様な業務に目を向けてもらい、個々の個性を伸ばし潜在能力を最大限に引き出すような人事運営を目指します。

自動車業界はまだまだかつてない事業の変革期にあります。こうした環境下で、当社が持続的に成長するためには、知識やスキルはもとより、物事を柔軟かつ多面的に捉え、取引先や同僚等と円滑なコミュニケーションにより強固な信頼関係を築けるような人財の育成が鍵になると考えており、その実現に向けた体制整備を進めていきます。



取締役兼 首席執行役員
管理本部長

若林 圭

人材戦略

自動車業界のかつてない変革期だからこそ、
次世代を担う人財育成を推進していきます。

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

> 人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで楽しく働きたい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所: 環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ

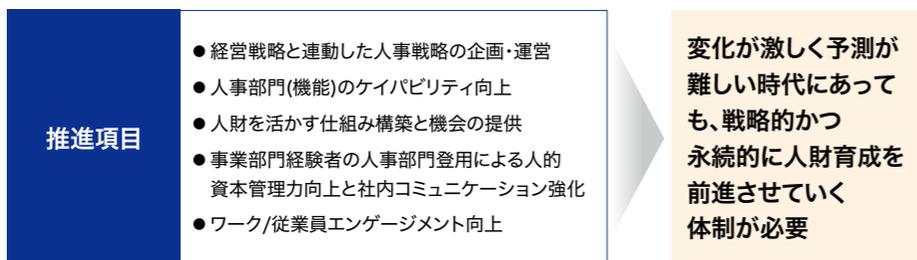
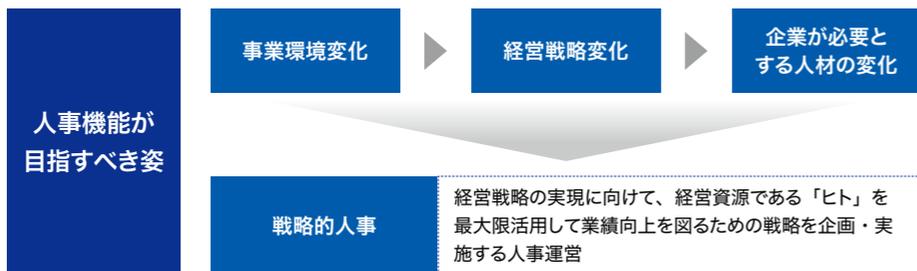


人的資本強化の取り組み

戦略的かつ持続可能な人財育成体制への変革

サステナビリティ経営を目指す上で、従業員のモチベーションを向上させ、エンゲージメントを引き上げることが重要です。当社はエンゲージメント向上を図るために、全従業員の個性を尊重し、個々の成長段階やキャリアに応じて能力を最大限に引き出すような人財育成に邁進すべきであると考えております。当社は、企業理念の一つに「人間尊重」を掲げており、性別、国籍、人種等の垣根を越えて従業員同士が互いの価値観を認め、多様な視点で新たな価値を創造することが企業の成長に不可欠であると考え、積極的に多様性の確保に努めております。その上で、「チャレンジ精神」「利益確保」を合わせた3つの企業理念を具現化できるような人財を戦略的かつ持続的に育成していくための人財育成体制を整備し、社員個々のやる気と個性を最大限に伸ばすように取り組んでまいります。

人的資本強化へ



人財育成課の設置

当社は人財育成と人的資本の価値向上を一層強化するために、2025年4月より人事部内に「人財育成課」を新設しました。本課は人財育成の強化に踏み込み、社員一人ひとりのキャリア形成やチャレンジを通しての成長を支援し、従業員エンゲージメントと企業価値の持続的な向上を目指すことを目的としております。

主な推進内容としては以下の通りです。

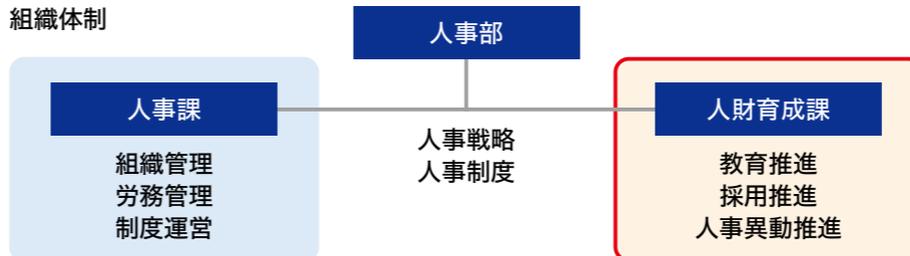
- 人財ポートフォリオに基づく、人財の採用および育成・配置のマネジメント推進
- 社会の変化に対応した教育体系の再構築と継続的なブラッシュアップ
- 成長(活躍)と成果に基づく、人事評価制度への改善
- 個々のキャリア形成を支援・サポートする体制の強化

変化が激しく予測が難しい時代にあっても、人財育成を通じて組織体制を強化するとともに、人的資本を強固なものとし、世界No.1の足廻り機能領域の専門メーカーを目指します。

人財育成課新設

目的	教育に対する、会社としての踏み込みの強化	教育体制整理による教育責任の明確化
	教育機会提供によるエンゲージメント向上	教育関連情報の可視化による開示対応強化

組織体制



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

> 人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所: 環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

> 人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで楽しく働きたい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について
マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所: 環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ

人財育成強化への踏み込み

当社は、自動車業界におけるモノづくり企業としての経験を活かし、等級別の社内教育体系を整備しています。毎年、期初に年間教育計画を策定し、社内外の講師による職能別・階層別教育など、体系的な人財育成に取り組んできました。しかし、自動車業界100年に1度の変革期や、変化が激しく予測が難しい時代を勝ち抜くためには、これまで以上に柔軟でスピード感のある人財育成体制への変換が必要不可欠と判断いたしました。改めて、求める人財像(人財要件)の再設定から見直し、来期から始まる中期経営計画に向けて、当社にふさわしい人財育成方針を掲げ、人財育成強化に踏み込んでまいります。経営戦略と連動した人財創出のために、当社が人財育成面で注力していく主な内容は次の3点です。

① グローバルで勝負できる人財の育成

当社は海外での事業売り上げが90%を占めており、事業の発展・継続のためにも、グローバルに活躍できる人財の育成は非常に重要であると認識しています。そのため、異文化理解やマインドセット、語学力などの習得に加え、グローバル業務をより多く、また早い段階で経験できる体制や制度の整備を進めてまいります。

② 専門コア技術の進化と伝承の強化

当社のモノづくり力の強化は事業継続のために最も重要

であり、これまで各現場で培ってきた技術や経験を持続的に継承するための組織体制の強化を図ります。また、新たな技術の進化に向けて、技術者の視野やスキルの幅を広げる学びや経験の機会も積極的に確保してまいります。

③ 個々の役割・責任を最大限発揮するための階層別教育の強化

エフテックで働く従業員の多様性を組織の力に変え、相乗効果によってパフォーマンスを最大限に高めるため、一人ひとりが自身の役割・責任を認識し、オーナーシップ力向上を目的とした階層別教育を強化してまいります。全てのエフテックで働く従業員がポテンシャルを最大限に発揮させ、足廻り機能領域の専門メーカーのプロフェッショナルとして成長・活躍できるように人財育成を推進してまいります。

全世代向けキャリア形成研修の導入

当社では、キャリア形成研修の一環として「F.Career Design Advance」プログラムを推進しております。本プログラムは、社長自らが講師を務め、経営ビジョンやフィロソフィー、求める人財像について受講者と直接対話形式で伝えることで、自身の役割や期待を再認識し、今後の



キャリアプランを支援するものです。2023年には内容を刷新し、これまでに全20回、約180名の次世代リーダー候補を対象に研修を実施してまいりました。今年度は管理職層へと対象を拡大させ、引き続き本プログラムを継続する予定です。さらに、キャリア形成支援を人財育成の観点から強化するため、定期的に自身のキャリアについて考える機会を設ける「全世代向けのキャリア形成研修」を教育体系に新たに導入し、個々の自律性を育むとともに、エンゲージメントの向上を推進してまいります。

当社は、2030年ビジョンとして「Being Happy!」を目標に掲げています。エフテックで働く全ての人が、自身の描くキャリアプランをチャレンジを通して実現できるよう、人財育成課を中心にサポート体制の構築にも努めてまいります。

労働・安全衛生の取り組み

当社グループは、「ゼロ災」を目指し、全社安全方針のもとグローバルで安全衛生水準の向上に努めています。

2024年度は、エフテック*およびFEGにて、「安全衛生ルールのグローバル共通化・共有化を推進し、全拠点の安全レベル向上を目指す」ことを全社安全方針に掲げ、グループ全体で労働安全衛生活動を実施しました。全社安全委員会では、各拠点の前期実績と今期活動計画を報告・討議し、「災害報告提出のルール・ルート」についても改善策を検討。「休業災害ゼロ」「不休業災害の防止」に加え、通勤災害や交通事故等の撲滅に向けた活動も推進しています。2025年度も、引き続き全社安全方針に基づき「ゼロ災」実現に向けた安全レベル向上活動を行っていきます。

*本社・久喜事業所、亀山事業所、芳賀テクニカルセンターおよび加須 設備センター

プレス現場の安全点検による重大災害の撲滅。

近年、国内外拠点のプレス現場で、クレーン操作時の重大災害やニアミスが発生するケースが増加しています。これを受けて経営会議において、「マザー工場によるグループ全拠点のプレス現場総点検」の指示がなされました。まずは、久喜事業所と亀山事業所のプレス担当者によってチェックシートを作成し、現場の安全確認を実施。その後、2024年度は北米7拠点においてもプレス安全点検を実施しました。指摘・アドバイス事項については、各拠点で改善を実施し、全項目の改善が達成されました。その結果、北米地区のプレスエリアにおける災害は前年度と比べて減少しました。2025年度は、北米以外の拠点でもプレス安全点検の実施を計画しています。今後も、クレーン操作時の重大災害撲滅を目標に、継続的な安全活動に取り組んでいきます。

観察項目	拠点名	DM	FPC	FPA	FRDNA	FPG	FPMX	FEGQ
始業点検	クレーンの始業点検は基準通りに点検されているか (確認箇所と判定方法を理解しているか)	○	○	○	▲ 月次点検、業者で実施	○	○	○
	点検結果は、点検表等に記録されているか	○	○	○	▲	○	○	○
	始業点検記録はシフトごと、またはデイリーで上位者が確認しているか	○	○	▲ 上位者サイン漏れ1カ所	▲	▲ 全型メンテ点検表にSVサインなし	○	○
	玉掛ワイヤーの始業点検は基準通りに点検されているか (確認箇所と判定方法を理解しているか)	○	○	○	○	○	○	▲ 点検基準なし
	点検結果は、点検表等に記録されているか	○	○	○	○	○	○	○
	始業点検記録はシフトごと、またはデイリーで上位者が確認しているか	○	○	▲	○	○	○	▲
標準作業	玉掛ワイヤー等識別管理表が掲示されているか	▲ ドキュメント作成する	○	○	○	○	○	▲ 掲示があるが小さい
	玉掛ワイヤー等の交換基準は決まっているか	○	○	○	○	○	○	○
	吊りセンター出しは正しくできているか	○	○	○	○	○	○	○
	地切りする前とした後で一時停止して安全確認を行っているか?	○	○	○	○	○	○	○
	適切なワイヤーを使用しているか?	○	○	○	○	○	○	○
	吊り時の立ち位置は正しいか	○	○	○	○	○	○	○
教育	移動時の高さは守られているか	○	○	○	○	○	○	○
	移動時の経路はまもられているか	○	○	○	○	○	○	○
	吊ったままの状態が放置していないか?	○	○	○	○	○	○	○
	玉掛従事者に玉掛けワイヤー等に関する社内安全教育はされているか	○	○	○	○	○	○	○
	教育の記録は残されているか	○	○	○	○	○	○	○
	教育訓練計画はあるか	○	○	○	○	○	○	○
安全	本チェックシートの項目が定期教育項目に入っているか?	○	○	○	○	○	○	○
	忘れ防止の繰り返し教育および理解度評価が設定されているか?	○	○	○	○	○	○	○
	コントローラーの置き場の指定	○	○	○	○	○	○	○
	指定保潔員は正しく着用しているか	○	○	○	○	○	○	○
	保潔員の消耗の判断基準があるか?	○	○	○	○	○	○	○
	クレーン操作時、アイスリングの輪の中に指を入れていないか?	○	○	○	○	○	○	○
作業性	クレーン操作時、周囲に人がいないか確認を行っているか?	○	○	○	○	○	○	○
	クレーン未使用時にクレーンを待機場所へ戻しているか?	○	○	○	○	○	○	○
	クレーン搬送中、進行方向の位置でクレーン作業を行っていないか?	○	○	○	○	○	○	○
	玉掛け時にコントローラー操作ボタンに触れていないか? (片手でコントローラーを持って片手で玉掛け)	○	○	○	○	○	○	○
	玉掛けのスペースは確保されているか	○	○	○	○	○	○	○
	常に周囲を確認できる環境か	○	○	○	○	○	○	○

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

> 労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



働きやすい職場環境づくり

社員の声を起点に、ワーキングチームが紡ぐ職場改革

女性社員が働きやすい環境づくりへの挑戦

2024年4月、社長直轄プロジェクト「女性ワーキングチーム(Women's Working Team)」が発足。「女性社員が自ら働きやすい環境を整備することで、女性活躍推進に取り組む」という目的のもと、異なるバックグラウンドや経験から選ばれた部門横断メンバーが専任され、一丸となって改善に向けた取り組みを推進してきました。



主な改善施策

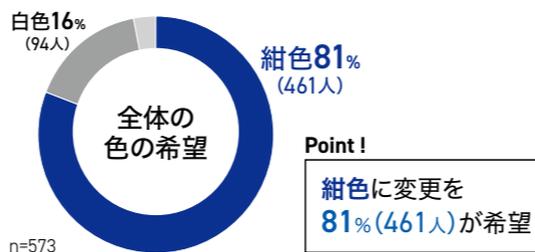
● 作業服の見直し

女性社員から長年寄せられていた声から、ズボン色を白色から紺色へ変更提案。全従業員へ賛否アンケート実施の上、役員・社員・派遣社員含むエフテックで働く全ての人を対象に適用となりました。

「安全意識」と「困りごと改善」の両方を取り入れた、ズボン色の変更提案

白色作業着	女性社員へのアンケート・ヒアリング
<ul style="list-style-type: none"> ● 白色:安全意識 ● 70年以上着用 ● 主要得意先に合わせている 	<ul style="list-style-type: none"> ● 濃い色の作業着に変更してほしい ● 白色以外の選択肢が欲しい ● 男性社員も自身のインナー透けが気になるという声がある
女性社員の困りごと	
<ul style="list-style-type: none"> ● インナーが透ける ● 月経期間の汚れが気になる <p>⇒長年の困りごと</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな汚れが気になる ● 女性の体形に合った作業着に戻してほしい
<p>エフテック全女性社員へのアンケートやヒアリングを実施したなかで作業着のズボンの色変更要望の声が多く上がった</p>	

全従業員へアンケート実施



● 短時間勤務の取得上限延長

育児と仕事の両立を支援するため、これまで子が“小学校3年生まで”としていた上限を、“小学校6年生(卒業)まで”延長する制度改定を実施。働き方の選択肢を広げることで、安心して長く働ける環境づくりがさらに進みました。

● フレックス制度の適用部署拡大

より柔軟な働き方の実現に向けて、これまで未導入だった部署に対し改めて働きかけを行い、フレックス制度についての正しい理解を促進しました。その結果、新たに制度導入する部署が増加し、より多くの従業員がライフスタイルに合わせた働き方を選択できるようになりました。

提案内容	適用・推進内容
① フレックス制度の適用部署拡大	人事部より部門長へ働きかけ・ヒアリング済み 新たに制度導入部署あり
② 短時間勤務制度の上限期間延長	小学校3年生まで ▶ 小学校6年生までに適用拡大 (実)
③ 短時間勤務とフレックス制度の併用可能化	継続検討
④ 在宅勤務制度の導入	継続検討
⑤ 公正な評価制度	今期 施策実施を計画 【女性役員講演会/座談会】女性社員向け【外部研修】 部署長向け、女性社員向け
⑥ 社内の“女性”社員に対する意識改革/地域格差の是正	作業服ズボンのカラー変更、2025年4月より適用済み (実)
⑦ 作業服の見直し	各地区にて推進中
⑧ 職場環境改善	人事部よりポータルサイトへ情報発信済み (実)
⑨ 介護制度に関する情報発信	

各担当部署で検討開始し推進中、一部の提案内容は実施完了

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

- 人材戦略
- 人的資本強化の取り組み
- 労働・安全衛生の取り組み

> 働きやすい職場環境づくり

- チームで楽しく働きたい
- 地域社会との関わり
- グローバルでの活動
- TCFD提言に基づく情報開示
- 2030年グローバル環境目標 推進実績
- 15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について
- 2025年度 環境・エネルギー計画について
- マテリアルフロー
- 2024年度 エフテック環境会計
- サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して
- 2024年度 地域環境会議の開催
- 久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力
- エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

- 人材戦略
- 人的資本強化の取り組み
- 労働・安全衛生の取り組み

> 働きやすい職場環境づくり

- チームで楽しく働きがい
- 地域社会との関わり
- グローバルでの活動
- TCFD提言に基づく情報開示
- 2030年グローバル環境目標 推進実績
- 15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について
- 2025年度 環境・エネルギー計画について
- マテリアルフロー
- 2024年度 エフテック環境会計
- サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して
- 2024年度 地域環境会議の開催
- 久喜事業所：環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力
- エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

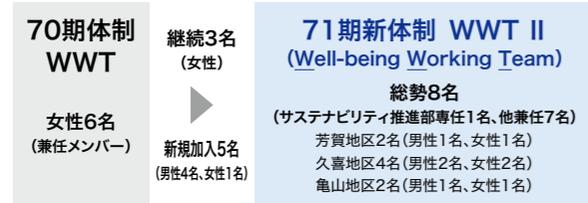
企業情報・データ

エフテックで働く全ての人が働きやすい職場環境へ

2025年5月、ワーキングチーム2期目が発足。一部のメンバーを入れ替え、男性メンバーも加わり多角的な視点での改善を進化させます。女性活躍推進にとどまらず、ダイバーシティを含めた全従業員の幸福度を高めるための活動へシフトし、Well-being Working Teamとして活動推進しています。

サステナビリティ推進

社長直轄プロジェクト「WWT」をサステナビリティ推進部へ移管



全従業員の幸福度を高めるためのチーム活動

女性活躍の推進から、全従業員の幸福度を高める活動へ



● 未来の働き方を考える機会の創出

2025年6月、女性社員向けに「～3年後、5年後、10年後～自身の働き方を考える」と題し、講演会を開催しました。日々の業務への向き合い方や今後のキャリアについて、社員自らが考えるきっかけを提供することを目的とした取り組みです。講師には当社で女性社外取締役を務めた友野氏を迎え、多様なキャリア経験を踏まえた仕事への姿勢や考え方を伺いました。参加者アンケートでは、90%が「共感・刺激・気づきを得た」と回答。加えて、ポジティブマインドへの転換や学びへの姿勢の向上が確認され、個々の成長意欲を引き出す有意義な機会となりました。



● 現場の声から職場改善へ

2025年7月、亀山事業所にて社員とワーキングチームメンバーによる座談会を開催しました。「働きやすい職場に必要なこと」「働き続けたいと思える環境とは何か」というテーマのもと、性別・年齢・部門・入社年次など多様なバックグラウンドを持つ社員で率直な意見交換を行いました。

2025年4月より導入された作業服ズボンの紺色変更には、好意的な声が多数寄せられ、さらに利便性や快適性向上に向けたアイデアも活発に交わされました。また、他部門の業務理解を深めることで自身の業務に対する視野が広がるのではとの意見から、短期間でのジョブローテーション案も上がるなど、社員自らが改善の可能性を模索し、前向きな発案が生まれました。ワーキングチームは、こうした社員同士の対話の場を継続的に設け、働きやすい職場づくりに向けた取り組みを推進しています。



チームで築く働きがい

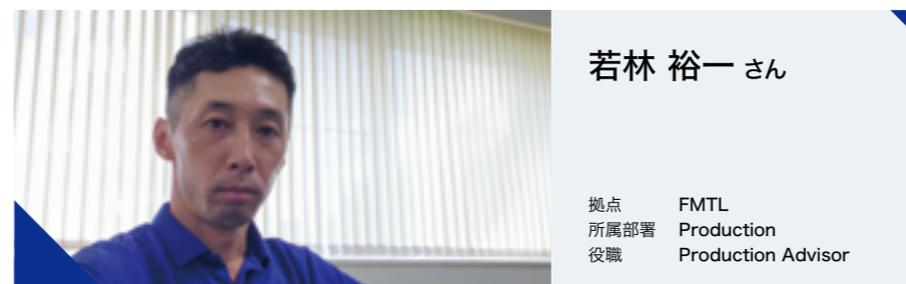
互いに支え合いながら前進することで、職場に活力と働きがいが生まれています



1 生産拠点の品質部門でマネージャー兼品質担当者として、品質向上活動、客先対応、課員の勤怠・予算管理を行っています。品質課は24名で構成され、量産・新機種・サプライヤー・サービスパーツ全ての品質業務を担い、関連拠点との調整やレポート業務も担当しています。

2 私が仕事で「働きがい」を強く感じる瞬間は2つあります。1つ目は、新しい業務に取り組むなかで自分の成長を実感できたときです。海外駐在員として幅広い業務を任せてもらい、多くの課題に向き合うなかで、いままで知らなかった知識を身につけることができました。これらの経験は私にとって大きな財産となっています。2つ目は、現地スタッフが成長し、チームで成果を達成できたときです。品質向上を目的とした新しい取り組みを始めてから、現地メンバーが自ら考えて行動し、報告や対策がスムーズにできるようになりました。その姿を見ることができ、とてもうれしかったです。異なる文化や背景があっても、正しいことにしっかり向き合い続けることで、信頼関係や成長につながることを実感しています。

3 今後、どのような業務に携わることになるかは分かりませんが、どのような環境においても、相手の話をよく聞き、互いに尊重し合いながら、常に正しい行動を心がけていきたいと考えています。これからも謙虚さと礼儀を大切にし、どんなことにも前向きに取り組む姿勢を持ち続けていきたいと思えます。



1 現在、FMTL製造部門でAdvisorの役割を担っています。品質や営業に関わる業務もサポートしながら、現地スタッフとのコミュニケーションを大切に、互いの考えを尊重し合いながら幅広い業務に取り組んでいます。

2 私は、仲間と一体感を持って業務を進めているときに、特に「働きがい」を感じます。FMTLに赴任して約1年10カ月がたちますが、最初は言葉の壁もあり、自分のことをどう知ってもらいか悩みながら仕事をしていました。しかし、少しずつ覚えたタイ語で皆と積極的にコミュニケーションを取り、共に仕事に取り組むなかで信頼関係が生まれてきました。お互いを尊重し信頼し合いながら意見を出し合い、困難な状況にも協力して対応しています。同じ目標に向かって進んでいるいま、仕事の楽しさややりがいを強く実感しており、日々の成長も感じています。

3 これまで培ってきた経験や知識を次の世代に伝えるとともに、人とのつながりも大切にしていきたいと考えています。社内外で多くの方々とご縁をいただいた経験を活かし、より広い人の輪を築くことで、働くことのやりがいや楽しさを仲間と分かち合える場を増やしていきたいです。



- 1** ご自身の役割や部署、日々の業務について教えてください？
- 2** 仕事をするなかで特に「働きがい」を感じる瞬間は何ですか？
- 3** これまでのご経験を今後どのように活かしていきたいですか？

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

> チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所：環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

▶ チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ

- 1 ご自身の役割や部署、日々の業務について教えてください？
- 2 仕事をするなかで特に「働きがい」を感じる瞬間は何ですか？
- 3 これまでのご経験を今後どのように活かしていきたいですか？



1 私は営業2課で主にトヨタ様向けの案件を担当しています。新しい取引の受注活動や価格交渉、価格管理を行い、お客様のニーズに応えるべく日々業務に取り組んでいます。

2 お客様と一緒に働く仲間から「ありがとう」と言ってもらえたときに、やりがいを感じています。また、新機種の受注でチーム一丸となって目標を達成した際には、仕事の充実感と達成感を強く実感しました。トヨタ様向け業務では、日本国内だけでなく海外拠点のお客様にも目を向け、グローバルな視点で日々チャレンジできていることにもやりがいを感じています。新しい環境や仕事に前向きに取り組むことで、日々新たな発見や自身の成長を実感しており、これまで仕事に対して後ろ向きな気持ちになったことはありません。お客様との信頼関係の構築や仲間との協力が、自分自身の働きがいにつながっています。

3 タイ駐在で学んだ異文化での仕事の進め方や、営業としてのコミュニケーション力を活かし、今後もグローバルな視点でお客様の期待に応えていきたいと考えています。エフテックは新しいことにチャレンジできる会社であり、自分自身も新しい挑戦を楽しみながら、会社や自身の成長につなげていきたいです。



1 私はプレス課の係長として、現場を回すために全体をサポートしています。日々、班長や現場スタッフと連携し、品質向上や現場体制の見直しなどを通じて、より良い現場をつくることを心がけています。

2 私が仕事の中で「働きがい」を強く感じるのは、部下が新たな課題に挑戦し、昨日までできなかったことができるようになるなど、その成長を実感できた瞬間です。また、チーム全員で協力し合い、難しい生産目標や課題を乗り越えたときに得られる達成感も大きなやりがいとなっています。私は、最終的なゴールを見据えて現状に合わせて具体的な目標を立てることや、状況に応じてプランを柔軟に見直すことなどを通して、現場スタッフの成長をサポートすることを大切にしています。日々の立ち話などで部下の小さな努力やチャレンジにも目を向け、「ありがとう」と声をかけること、成果だけでなく挑戦したこと自体を評価することで、皆が前向きに、やりがいを持って働ける職場づくりを心がけています。

3 私はこれまで、部下の成長やチームで目標を達成することにやりがいを感じてきました。今後も小さな努力や挑戦を大切に、前向きな成長を促す職場づくりに努めます。また、「好きな仕事も苦手な仕事も挑戦する」という自分のマイルールを通し、部下にも前向きな姿勢を伝えていきます。



地域社会との関わり

持続可能な未来を目指す社会貢献活動

しらさぎ公園の整備活動

〈2025年3月26日〉

このたび、久喜市役所の皆様と共にしらさぎ公園にてラベンダーの植栽活動を行いました。将来、元気にラベンダーが育ってくれることを願いながら、和やかな雰囲気の中で活動に取り組むことができました。

当社は、地域に根ざした生物多様性の保全活動を目指しております。今後も久喜市と連携し、しらさぎ公園の整備をはじめとする地域貢献活動を継続してまいります。



地域の清掃活動

久喜地区

備前堀川クリーンアップ活動

〈2024年11月22日／2025年3月21日〉
延べ参加人数84名

※備前堀川クリーンアップ活動は隣接企業6社と共同で実施しています。
協力企業：日本鑄鉄管(株)、岡部(株)、三洋工業(株)、東洋製罐(株)、五大工業(株)、株広岡鉄工



亀山地区

アダプトプログラム：名阪工業団地の緑地の清掃活動

〈2024年5月25日／2024年7月20日／2024年11月23日〉
延べ参加人数90名

※アダプトプログラムとはボランティアとなる市民が里親となり、道路や公園等の公共施設を養子とみなしてわが子のように面倒を見(美化・清掃活動を行い)、これを市がサポートするボランティア制度です。亀山市では、2007年4月1日に公園・緑地にこの制度を導入しています。(エフテック亀山事業所は、本制度の亀山市内第1号として参加)



芳賀地区

芳賀町工業団地クリーン作戦

〈2024年5月23日／2024年7月4日／2024年10月17日〉
延べ参加人数67名



エフテックの森林づくり

〈2024年11月15日〉

例年は春の休日に実施している森林づくり活動ですが、2024年度は予定日が雨天となったため、やむなく秋の平日に開催しました。

その結果、これまで休日の参加が難しかった新規メン

バーにもご参加いただいたことに加え、参加者からは「環境保全に役立つ経験ができた」「気分転換になった」といったご意見をいただきました。



フードドライブ合同贈呈式

〈2024年11月28日〉

当社は、今年度も埼玉りそな銀行様と共同でフードドライブ活動を実施しました。社内で呼びかけを行った結果、従業員の皆様より854点の食品や日用品が集まり、久喜市内を中心とした9つのこども食堂やパントリー等へ寄贈いたしました。

フードドライブは、地域の子どもや家庭を支援するため、2021年より毎年継続している活動で、本年度で4回目の開催となります。物価高騰や生活環境の変化により支援を必要とするご家庭が増えるなか、引き続き地域社会と連携し、子どもたちの健やかな成長と豊かな生活を支援してまいります。



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで築く働きがい

> 地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画／2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について
マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所：環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



グローバルでの活動

地域と共に歩む企業として、私たちは世界各地で社会貢献活動を展開しています。

北米 North America

アメリカ

F&P America Mfg., Inc.



竜巻の被害に遭われた方々への物資寄付



アメリカ

F.TECH R&D NORTH AMERICA INC.



ハリケーン被害の旧裁判所へ寄付



カナダ

F&P Mfg., Inc.



学生と地域への金銭的支援



カナダ

DYNA-MIG, A Division of F&P Mfg., Inc.



地域社会へのフードドライブの支援



アジア大洋州 Asia Pacific

インド

India Steel Summit Private Limited



地域の小学校への文房具寄付



フィリピン

F.tech R&D Philippines Inc.



地域の小学校への学用品の寄贈



タイ

F-TECH MFG. (THAILAND) LTD.



高齢者への日用品寄贈



インドネシア

PT. F.TECH INDONESIA



学用品を施設の子どもに寄贈



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで楽しく働きがい

地域社会との関わり

> グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所: 環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

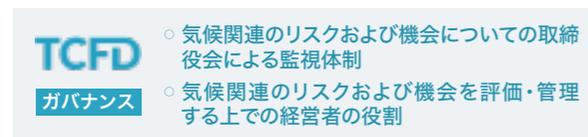
企業情報・データ



TCFD提言に基づく情報開示

当社は、2023年9月に2050年サプライチェーン全体でカーボンニュートラルへの挑戦を機関決定しました。

TCFDの推奨開示項目に沿った情報開示と共に、気候変動への取り組みを進めています。



当社は気候変動対応を重要な経営課題の一つとして捉え、取締役による管理監督体制のもと、カーボンニュートラル戦略委員会およびカーボンニュートラル推進クロスファンクショナルチーム(以下CFTという)を設置することで、課題への対応を一層強化できる体制としています。その体制図は下図の通りとなります。

取締役会

当事業領域のマテリアリティの特定により気候変動対応を重要な経営課題の一つとして捉えています。取締役会では重要な企業統治の方針に関する審議・決定やサ

ステナビリティ経営の状況などについては定期的な報告を受け、モニタリングを実施しています。また、カーボンニュートラルに関するロードマップ、CFTが策定した実行計画、委員会規程の制定および改廃などの重要事項は経営会議での協議を経て、取締役会へ上程されています。

経営会議

会社業務の円滑なる運営を図るため、経営に関する重要事項の決議や協議、実施結果の把握等を行っています。年度や中期経営方針に基づく会社全般の事業計画や予算等に関する審議を実施しており、気候変動対応に関する実行計画やロードマップ等の重要事項について協議や進捗状況の確認を行っています。

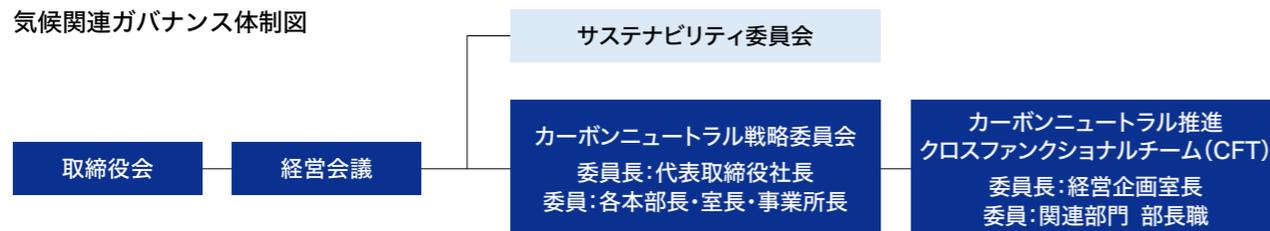
カーボンニュートラル戦略委員会

代表取締役社長を委員長とし、各本部長、各室長、各事業所長を委員として構成しています。当社は、経済、環境および社会の各側面に配慮して事業活動を行い、ステークホルダーとより良好な関係を構築し、社会および企業の持続可能な脱炭素社会への貢献を追求するため、本委員会では全社のカーボンニュートラルロードマップに基づいた推進活動の管理、監督を担います。また、CFTによって協議された実行計画、委員会規程の改廃およびその他の重要事項について協議または情報共有を行っています。なお、重要事項の決定については、取締役会および経営会議に対して提案や報告を行っています。

カーボンニュートラル推進 クロスファンクショナルチーム(CFT)

経営企画室長を責任者とし、関連部門の部長職をメンバーとして構成しており、2050年までのロードマップや戦略の策定に携わっています。主な取り組みとして、カーボンニュートラルに関する情報収集および分析、事業リスクや機会の特定に関与するほか、取締役会で承認された気候変動対応に関する中心的な役割を担っています。

気候関連ガバナンス体制図



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略
人的資本強化の取り組み
労働・安全衛生の取り組み
働きやすい職場環境づくり
チームで築く働きがい
地域社会との関わり
グローバルでの活動

> TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績
15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について
2025年度 環境・エネルギー計画について
マテリアルフロー
2024年度 エフテック環境会計
サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して
2024年度 地域環境会議の開催
久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力
エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

- 人材戦略
- 人的資本強化の取り組み
- 労働・安全衛生の取り組み
- 働きやすい職場環境づくり
- チームで築く働きがい
- 地域社会との関わり
- グローバルでの活動

> TCFD提言に基づく情報開示

- 2030年グローバル環境目標 推進実績
- 15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について
- 2025年度 環境・エネルギー計画について
- マテリアルフロー
- 2024年度 エフテック環境会計
- サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して
- 2024年度 地域環境会議の開催
- 久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力
- エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ

TCFD
戦略

- 選別した、短期・中期・長期の気候変動のリスクおよび機会
- 気候関連のリスクおよび機会がビジネス・戦略・財務計画に及ぼす影響
- 気候関連シナリオに基づく検討を踏まえた戦略のレジリエンス

IPCCやIEAのシナリオ、政策や規制動向や業界動向をもとに、2050年時点の想定に基づく気候変動リスクおよび機会を特定し、その影響度を評価しました。気候変動に関するリスクや機会は日々大きく変化しています。今後とも変化するリスクや機会に柔軟に対応していくとともに、さらなる開示内容の充実に取り組みます。

気候関連リスク・機会の抽出と影響評価

種類	側面	当社における事業リスク			リスクの説明と対応				
		内容	期間	範囲 財務影響					
脱炭素社会への移行リスク (2°C/1.5°C)	政策法規制	炭素税・炭素取引制度の適用	炭素税の導入・クレジット購入により操業コスト増加	長期	↓	カーボンニュートラルの対応により、炭素税や規制強化の影響が小さいと想定しているが、一部の排出枠のクレジット購入を見込んでいます。			
		GHG排出規制への対応	規制強化・罰金	短期			→		
	技術	軽量化部品の開発 電気自動車の普及	顧客ニーズを満足するため研究開発費用の増加 新技術への転換・設備投資増加	長期	費用		↓	電動化に対応した顧客ニーズを満たすため、製品の軽量化やより低炭素な製品の設計・開発や省エネルギーでの生産体制の構築が長期的に必要である。	
		再エネ・省エネ技術の普及	省エネ対応に伴う設備投資の増加						→
	市場	資材価格への影響	原材料の高騰・製造原価上昇				→		製品の軽量化においては、高ハイテン材や非鉄金属などの材料に影響を受けるほか、製造工程で使用する電気の脱炭素化により、コスト上昇が見込まれる。
		エネルギー価格への影響	エネルギー価格上昇・経費増加				→		
評判	顧客行動の変化	環境対応の遅れによる失注	中期	売上 費用	↓ ↓	顧客ニーズに対応が遅れた場合、新機種などで失注する可能性がある。また、ESG投資の高まりにより、脱炭素移行の遅れで調達コスト上昇の可能性もある。			
	投資家/金融機関の評判変化 近隣住民からのクレーム	資金調達コスト(金利)の増加 企業イメージの低下・罰金							
気候変動対応の失敗に伴う物理的リスク (4°C)	急性	降水・気候パターンの変化	水害・水不足による生産停止	長期	売上		↓	当社は電着塗装工程があり、水不足の影響で生産停止する可能性がある。また、平均気温の上昇により熱中症等のリスク対応が長期的に必要なになる。	
		平均気温の上昇影響	熱中症・労災/冷暖房費増加		費用		↓		
	慢性	異常気象の激甚化	サプライチェーンの寸断/生産減		売上		↓		異常気象による激甚化により、生産や搬入に影響を及ぼす可能性がある。

種類	側面	当社における事業機会					
		方針	内容	期間 範囲 財務影響			
気候変動対応による機会	資源の効率性	生産プロセスへの影響	・サステナブルな生産体制の構築	・水リスクに対応した水削減施策の実施・拡大 ・廃棄物リサイクル化の推進	中期	収益	→
	エネルギー源	低炭素エネルギーの活用	・カーボンニュートラルの推進 ・生産プロセスの効率化	・高効率かつ最小エネルギーでの生産追求 ・再生可能エネルギーの導入、将来の炭素税への対応			↑
	製品サービス	研究開発への影響	・環境に配慮した製品づくり	・軽量化製品の開発 ・リサイクル材の使用検討・活用 ・電気自動車への製品適用拡大	長期	売上	↑
	市場	電気自動車の普及拡大	・サステナビリティ経営の構築 ・適切な情報開示	・非財務情報の開示拡充 ・資金調達コストの低下		売上 収益	↑ ↑
	強靭性 レジリエンス	事業の持続性 パートナーシップ	・サプライヤーとの連携による 企業競争力の向上	・BCPの取り組み強化 ・脱炭素化への支援			↑



エフテック 2050カーボンニュートラルチャレンジ

「私たちは、社会やお客さまとともに、モビリティ社会への貢献を通じて脱炭素社会の実現を目指します」というスローガンを掲げています。そのための具体的な取り組みとして、大型・高効率設備の導入や省エネ・再エネの普及を進めます。また、お客様のニーズに合わせた製品づくりも一つの大きな取り組みです。

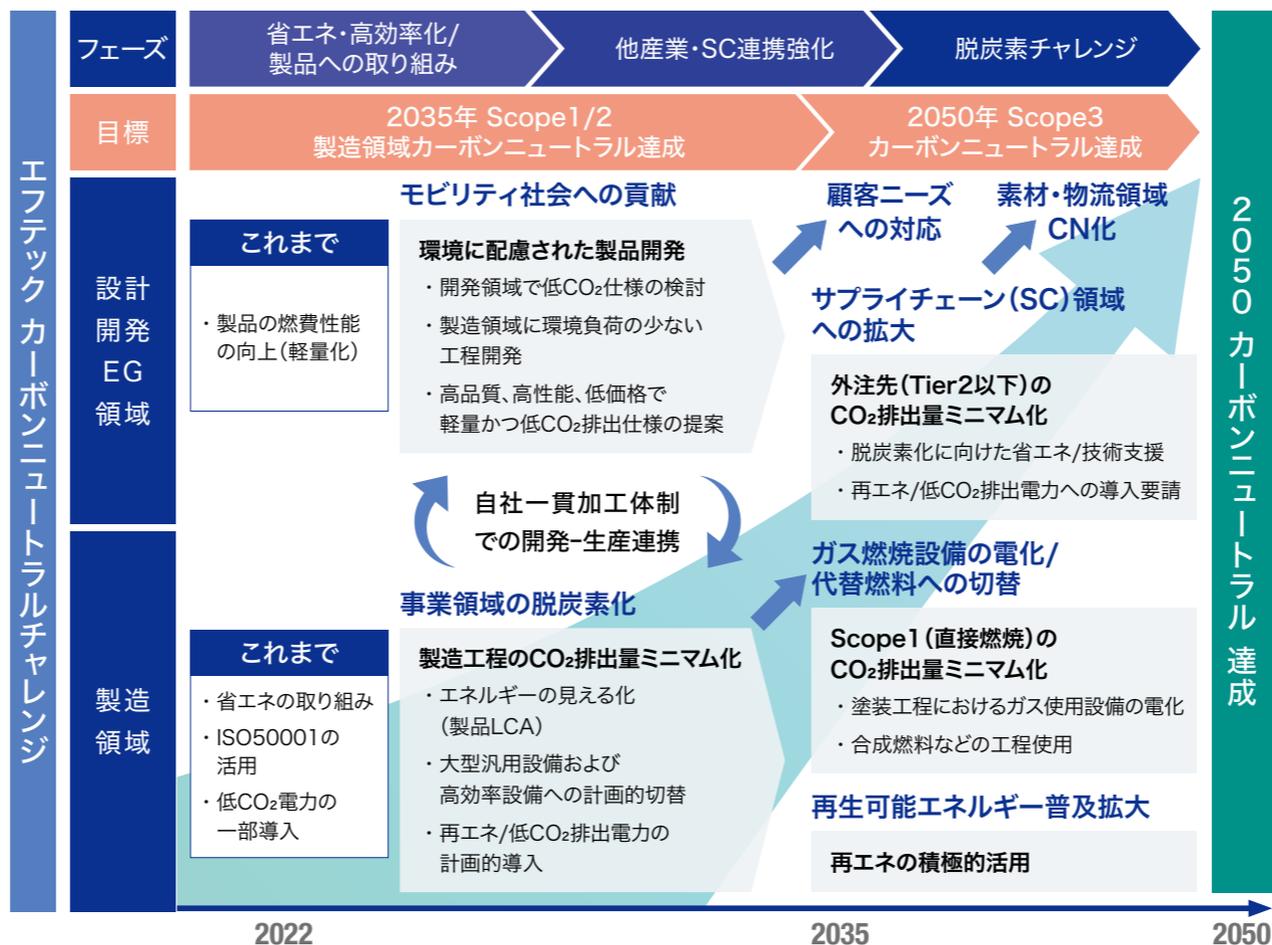
当社は、開発から量産まで自社による一貫加工体制を構築しており、開発領域では、LCA(ライフサイクルアセスメント)評価によりCO₂レスとなる製品仕様の検討を進めています。製造領域では環境負荷の少ない工程開発に取り組むことで、開発と生産領域の連携のもとに「環境に配慮された製品づくり」に取り組んでいきます。

そして、長期的には自社の取り組みをサプライチェーンと共有するとともに、脱炭素化に向けた支援を実施することで、サプライチェーンとの連携強化を図り、企業競争力の向上に取り組めます。

2050年カーボンニュートラル実現に向けたロードマップ

当社は、気候変動対応における新たなガバナンス体制の

もと、気候変動におけるリスクや機会を考慮したロードマップの策定を実施しました。ロードマップをもとに、より具体的な施策の洗い出しや削減計画の策定を進めます。



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

- 人材戦略
- 人的資本強化の取り組み
- 労働・安全衛生の取り組み
- 働きやすい職場環境づくり
- チームで築く働きがい
- 地域社会との関わり
- グローバルでの活動

> TCFD提言に基づく情報開示

- 2030年グローバル環境目標 推進実績
- 15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について
- 2025年度 環境・エネルギー計画について
- マテリアルフロー
- 2024年度 エフテック環境会計
- サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して
- 2024年度 地域環境会議の開催
- 久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力
- エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

- 人材戦略
- 人的資本強化の取り組み
- 労働・安全衛生の取り組み
- 働きやすい職場環境づくり
- チームで築く働きがい
- 地域社会との関わり
- グローバルでの活動

> TCFD提言に基づく情報開示

- 2030年グローバル環境目標 推進実績
- 15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について
- 2025年度 環境・エネルギー計画について
- マテリアルフロー
- 2024年度 エフテック環境会計
- サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して
- 2024年度 地域環境会議の開催
- 久喜事業所: 環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力
- エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ

で、環境に配慮した事業活動を効果的に行うために、ISO14001 環境マネジメントシステム(EMS)に カーボンニュートラルを融合させる管理を開始しています。また、豪雨災害などの顕在化したリスクについては、従来より事業継続計画の一環として、当社のリスク管理体制の中で管理しています。災害に対する迅速な体制を整備し、対応力の改善を行ってまいります。

2024年度CDP評価結果



B評価

当社はこれまで、環境マネジメントシステムをグローバルに展開し、環境課題に積極的に取り組んでまいりました。従来は自動車メーカー各社ごとに個別の環境コミュニケーションを行っていましたが、2017年度より第三者機関であるCDPによる評価システムへと移行しています。2024年度のCDP調査では、リーダーシップに次ぐクラスである「B」評価(マネジメントで適切に管理されていることを示す評価)を獲得しております。今後もCDPによる外部評価を最大限に活用し、環境への取り組みをさらに強化してまいります。

TCFD
リスク管理

- 気候関連リスクの選別・評価プロセス
- 気候関連リスクの管理プロセス
- 気候関連リスク管理プロセスの総合的リスク管理への統合状況

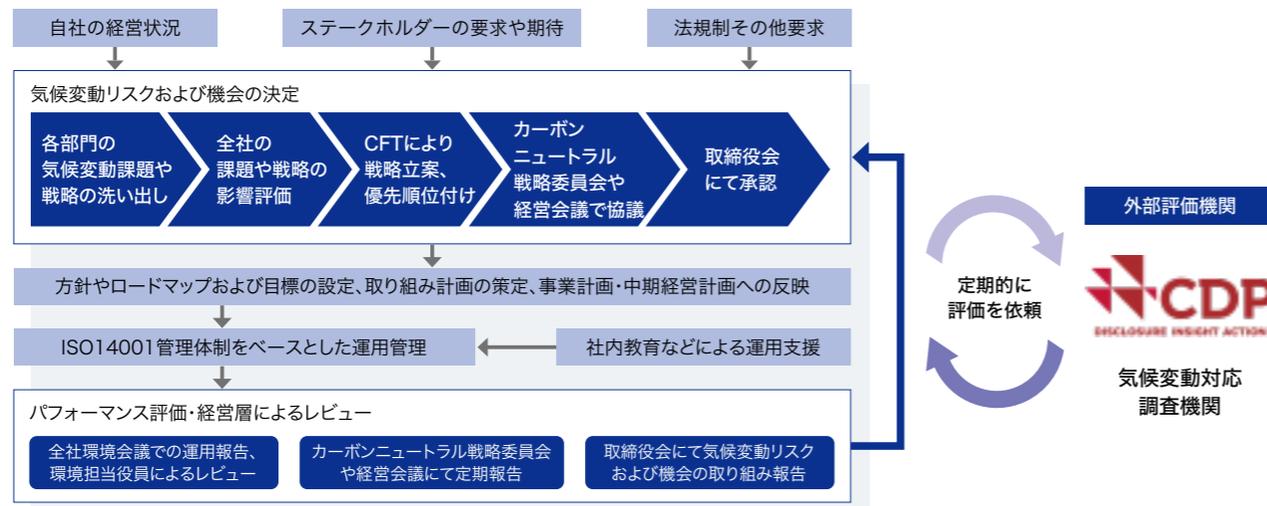
気候関連リスク選別・評価および管理に関するプロセスフロー

エフテックでは、気候変動リスクや機会について、顧客や地域社会などのステークホルダーからの要請や期待などを考慮して抽出しました。抽出したリスクおよび機会については、当社の気候変動対応におけるガバナンス体制での承認を経て、方針や目標を設定し、事業計画や中期経営計画に反映しています。

気候変動対策は、従来のISO14001による管理体制をベースとして運用管理を行っていますが、より低炭素な生産体制を構築していく上で、大型や汎用設備の計画的な更新や再生可能エネルギーの導入などISO14001の枠組みを超え、全社レベルで経営資源の分配や調整が必要な場合は、カーボンニュートラル戦略委員会で協議を行い、効果的な対策となるよう検討・実施をしていきます。

気候関連リスク管理プロセスに関する他のマネジメントシステムとの統合状況

エフテックは、グループ会社およびサプライチェーン全体



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

> TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について
マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの
実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所:環境変化に負けない実力
& サステナビリティがもたらす人間力エフテックグループ グローバルでの
取り組み

ガバナンス

企業情報・データ

TCFD

指標と目標

- 気候関連のリスクおよび機会を評価する際の指標
- Scope1、2、3 の温室効果ガス(GHG) 排出量と関連するリスク
- 気候関連リスクおよび機会の管理上の目標と実績

長期目標

エフテックでは、持続可能な社会の実現に向けて、「CO₂排出量削減」「大気・水・土壌などの環境保全」「省資源・水や廃棄物の削減」「化学物質管理」「環境に配慮した製品開発」「生物多様性の保全」を重要な環境課題と捉え、環境負荷物質削減に取り組んでいます。中でも「CO₂排出量削減」については、脱炭素社会の実現に向けてサプライチェーン全体で2050年までにカーボンニュートラルの達成を目標としてチャレンジしていきます。

現状の課題として、Scope3の算定がカテゴリ4の出荷輸送にとどまっているため、今後顧客やサプライヤーと連携し、Scope3の他のカテゴリにおいてもグローバルで調査を進めます。

カーボンニュートラル基本方針

私たちは、社会やお客さまとともに、モビリティ社会への
貢献を通じて脱炭素社会の実現を目指します

2035年

2035年までに自社の製造領域で使用
するCO₂排出量(Scope1/2)に対
して、カーボンニュートラル実現を
目指します。

2050年

サプライチェーンを含めた事業全体
のCO₂排出量のネット・ゼロに挑戦し
ます。

グローバル環境方針の制定

当社グループ全体が脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいくために、従来の国内関係者に向けた環境方針から「グローバル環境方針」として改訂を実施しました。方針の内容では、カーボンニュートラルへ推進していくことを表明し、社内外の利害関係者にとって、より簡潔で分かりやすい表現へ見直しを実施しています。

環境方針

わたしたちは「国家社会に貢献すると共に豊かな未来を築く事に全力を尽くす」社是のもとに、全ての事業活動において以下の環境改善活動を継続的に推進します。

1. 持続可能な社会の実現に貢献します。

- ①企業活動や製品のライフサイクル全体でCO₂削減を重点としたカーボンニュートラルの推進
- ②自動車の航続距離延伸に寄与する製品の軽量化などの環境に配慮した製品開発
- ③水などの天然資源の持続可能な利用促進

2. 自らの環境負荷の低減および汚染の予防に努めます。

- ①環境マネジメントシステムを活用した目標達成のための改善活動の実施
- ②関連する環境法規制やその他要求事項を遵守した環境汚染防止への取り組み
- ③事業活動に関連する全ての方々への環境教育と社内活動を通じた人材育成

3. 地域社会との共生に努めます。

- ①生物多様性の保全や社会貢献活動の推進
- ②環境情報の適切な開示

改訂日 2023年9月8日



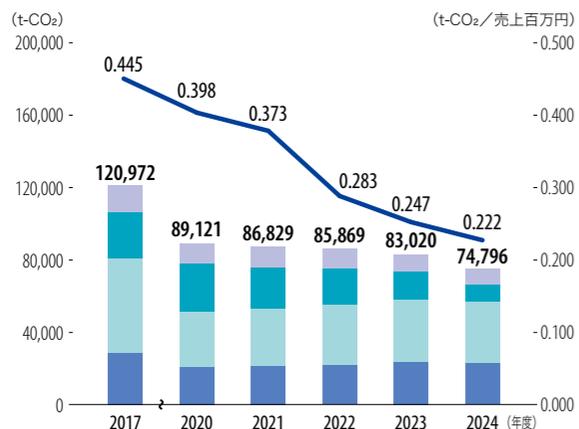
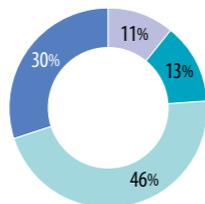
2030年グローバル環境目標 推進実績

CO₂排出量の実績

排出総量 **目標** 2017年度比CO₂排出総量21.0%削減 (Scope 1/2)
実績 同**38.2%**削減と目標を達成しました。

原単位 **目標** 2017年度比CO₂排出原単位7.0%削減
実績 同**50.3%**削減と目標を達成しました。

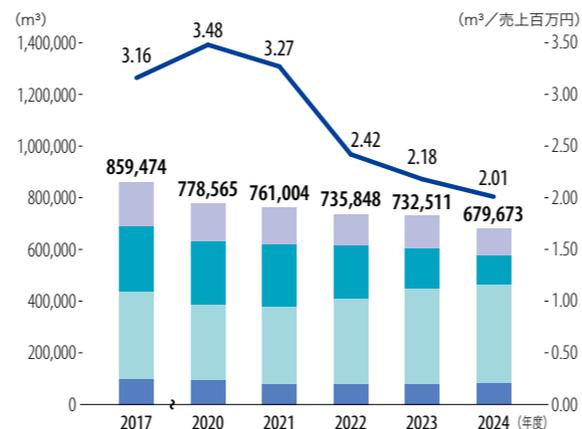
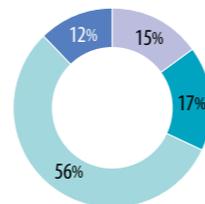
2024年度の売り上げは前年比で0.4%増加し、2017年比では24.3%増加しました。一方、北米での低CO₂電力の導入、中国、タイ拠点での太陽光発電稼働により、グループ全体のScope 1/2のCO₂排出量は順調に削減されています。2024年におけるグループ全体の取り組みでは、26件で計2,401tのCO₂削減効果が得られました。今後はサプライチェーン全体を含めたCO₂削減が求められており、Scope 3を含めた削減取り組みをグローバルに実施していきます。



水資源使用量の実績

原単位 **目標** 2017年度比水使用量原単位7.0%削減
実績 同**36.4%**削減と目標を達成しました。

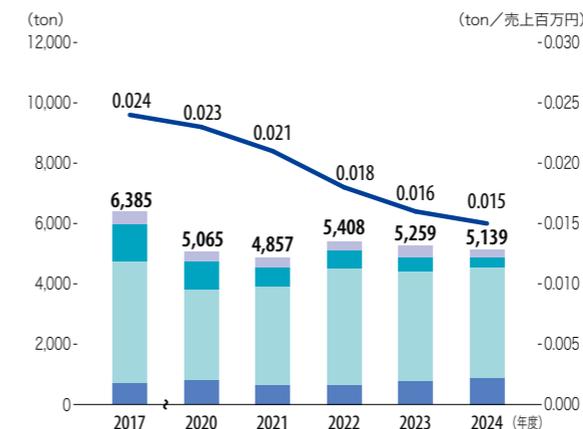
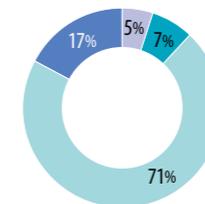
水使用量は、昨年度比で生産増加の一方で、7.2% (52,838m³) 減少しています。当社グループの水使用量の大半は塗装工程における製品洗浄や表面処理、電着塗装、熱蒸気として使用しており、塗装工程の水質維持や製品への悪影響を予防するため水の依存度が高い状態です。2024年度では塗装工程の水再利用など4件の施策を実施し、8,329m³の水使用量の削減を行っています。



廃棄物排出量の実績

原単位 **目標** 2017年度比廃棄物排出量原単位7.0%削減
実績 同**35.3%**削減と目標を達成しました。

廃棄物排出量では、昨年比で2.3% (120t) 減少しています。地域別では、北米と中国とア大地域において廃棄物排出量が209t減少しています。2024年度のグループにおける削減施策では、塗装脱脂工程で使用する脱脂液の油水分離槽に、より微細な油粒子を分離できる油水微分離槽を新たに設置し、廃油の量を削減しました。これら9件の施策により、年間で21.7tの廃棄物の削減効果となりました。



■ 日本 ■ 北米 ■ 中国 ■ アジア・大洋州 — 原単位

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

- 人材戦略
- 人的資本強化の取り組み
- 労働・安全衛生の取り組み
- 働きやすい職場環境づくり
- チームで築く働きがい
- 地域社会との関わり
- グローバルでの活動
- TCFD提言に基づく情報開示

> 2030年グローバル環境目標 推進実績

- 15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について
- 2025年度 環境・エネルギー計画について
- マテリアルフロー
- 2024年度 エフテック環境会計
- サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して
- 2024年度 地域環境会議の開催
- 久喜事業所: 環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力
- エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



15次中期計画／2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

当社は、脱炭素社会の実現やモビリティ社会の貢献に向けて、気候変動対応の取り組みを一層強化するために、2023年より環境領域における第15次中期計画がスタートしました。

環境領域第15次中期計画(2023～2025) 2年目結果(主要施策) 対象:エフテックグループ(国内6拠点、海外14拠点)

展開内容	時期			展開内容	時期			
	2023年度	2024年度	2025年度		2023年度	2024年度	2025年度	
2050年カーボンニュートラル CO ₂ 排出総量の削減 (Scope1/2)	計画	18%改善(17年比)	21%改善(17年比)	24%改善(17年比)	計画	6.0%改善(17年度比)	7.0%改善(17年度比)	8.0%改善(17年度比)
	実績	30.7%改善	38.2%改善		実績	44.0%改善	50.3%改善	
	評価	○	○		評価	○	○	

○:目標達成 ×:目標未達成

○:目標達成 ×:目標未達成

2024年度実績 環境・エネルギー計画(単体)

テーマ	2024年度管理項目	実績	評価
1. 2050年カーボンニュートラル実現	CO ₂ 排出総量の低減(Scope1/2)	2017年度CO ₂ 排出量 21.0%以上削減	9.6%削減 ×
2. エネルギー使用合理化への取り組み	CO ₂ 排出原単位改善(Scope1/2)	全領域(久喜・亀山・芳賀)2021年度比 3%改善 97Point以下	82.2% 17.8%良化 ○
	施策によるCO ₂ の削減	67期比 1.0%以上削減 91.9 t-CO ₂ 以上のCO ₂ 施策削減	178t-CO ₂ 削減 ○
3. 環境に配慮した製品開発	新規開発部品の軽量化	前機種モデル比5%以上低減	次世代電気自動車部品 8.48%改善 ○
	新規技術、新製品の確立	企画・提案 1件以上	—(※) ○
4. 重点管理項目	カーボンニュートラル実行施策の構築	Scope3算定基準の構築	環境省・算定支援事業完了 ○
	製品LCA CO ₂ テーブルの制定	モデルライン構築・CO ₂ テーブル策定海外拠点への展開	CO ₂ テーブルの精度向上を企画、海外拠点調査/拠点選定 ○
	環境マネジメント維持強化	省エネ事例水平展開 グローバル環境共有体制強化	共有施策の水平展開 情報共有システムの見直し ○
	持続的なサプライチェーンの構築	サプライヤーガイドラインの浸透・定着	当社ファミリー サプライヤーガイドライン展開 同意率 344社/405社(85%) ○
5. 社会的責任の遂行	地域社会への貢献活動	生物多様性活動/社会貢献活動の実施 各サイト 1例以上の取り組み実施	久喜 4件 亀山 3件 芳賀 3件 ○

○:目標達成 ×:目標未達成 ※機密情報の観点から公表を控えています。

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

> 15次中期計画／2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの表現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



2025年度 環境・エネルギー計画について

15次中期計画の3年目にあたる2025年度の環境・エネルギー計画では、カーボンニュートラルの実現に向け、より高い目標設定への見直しを行っています。重点管理項目としては、持続可能なサプライチェーン構築に向けて調査票を活用したサステナビリティ調査をサプライヤーに実施し、サプライチェーン上の課題を分析した上で、サプライヤーサステナ

ビリティガイドラインの定着と推進に取り組みます。また、カーボンニュートラル達成のため、製品のLCA(ライフサイクルアセスメント)対応や環境マネジメントシステムの維持・強化を推進し、具体的な実施施策を策定します。有効な施策については定量的評価を行い、さらなる改善に努めていきます。

2025年度 環境・エネルギー計画(単体)

	テーマ	2025年度 管理項目
1. 2050年カーボンニュートラル実現	CO ₂ 排出総量の低減 (Scope1/2)	2017年度CO ₂ 排出量 24.0%以上削減
2. エネルギー使用合理化への取り組み	CO ₂ 排出原単位改善 (Scope1/2)	全領域(久喜・亀山・芳賀)2021年度比 4%改善 96Point以下
	施策によるCO ₂ の削減	2021年度排出比 1.0%以上削減 91.9 t-CO ₂ 以上のCO ₂ 施策削減
3. 環境に配慮した製品開発	新規開発部品の軽量化	前機種モデル比5%以上低減
	新規技術、新製品の確立	企画・提案 1件以上
4. 重点管理項目	カーボンニュートラルの実行施策の構築	カーボンニュートラルの実行施策提案/展開、Scope3データ収集
	製品LCA CO ₂ テーブルの制定	CO ₂ テーブルの精度向上、海外製品LCAテーブル制定
	環境マネジメント維持強化	全社環境マネジメント施策推進
	持続的なサプライチェーンの構築	サプライヤーガイドラインの定着・推進
5. 社会的責任の遂行	地域社会への貢献活動	生物多様性活動/社会貢献活動の実施 各サイト 1例以上の取り組み実施

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

> 2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

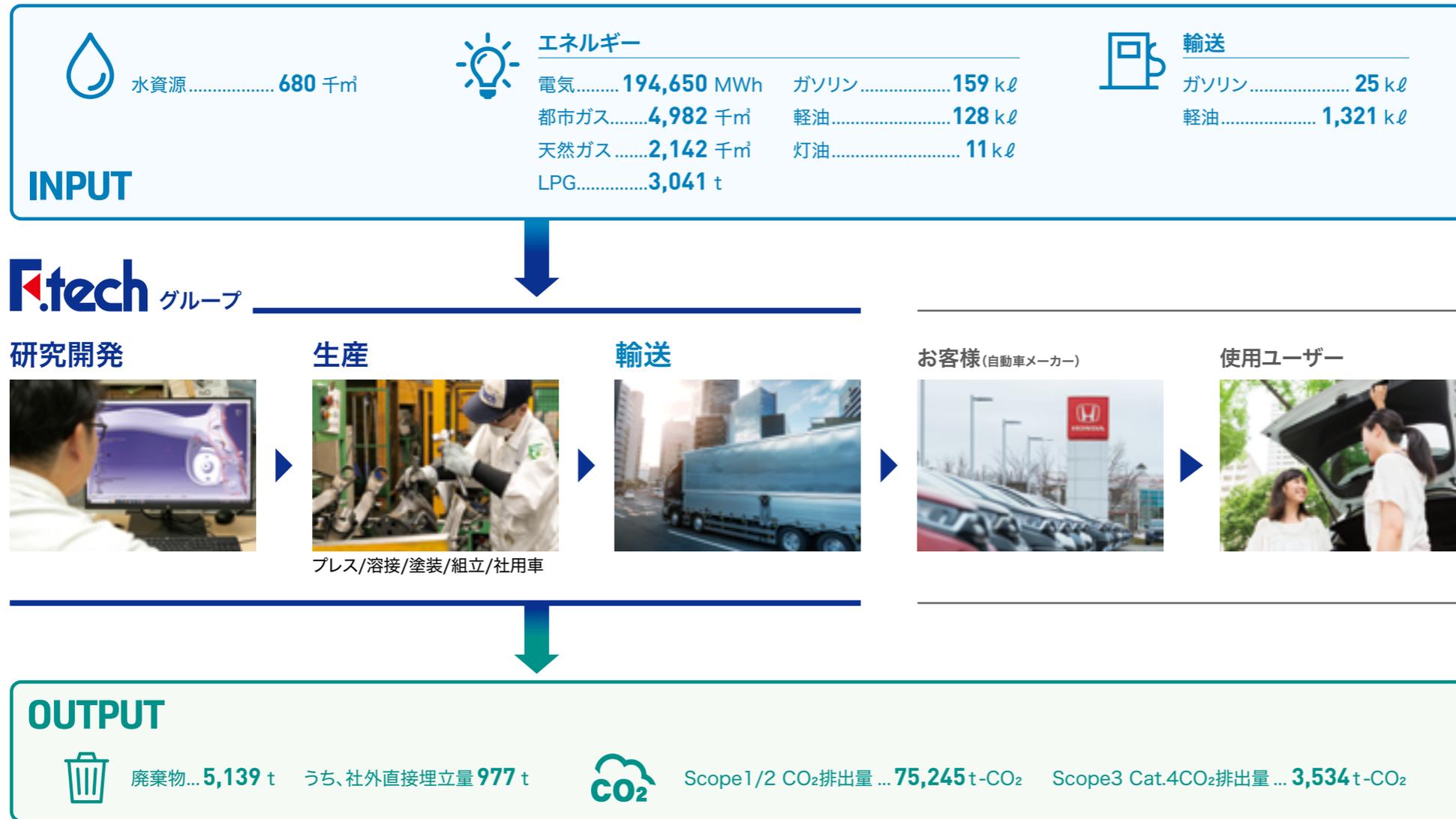
エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



マテリアルフロー 2024年度実績



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

- 人材戦略
- 人的資本強化の取り組み
- 労働・安全衛生の取り組み
- 働きやすい職場環境づくり
- チームで築く働きがい
- 地域社会との関わり
- グローバルでの活動
- TCFD提言に基づく情報開示
- 2030年グローバル環境目標 推進実績
- 15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について
- 2025年度 環境・エネルギー計画について

> マテリアルフロー

- 2024年度 エフテック環境会計
- サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して
- 2024年度 地域環境会議の開催
- 久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力
- エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ

● OUTPUTのCO₂排出量は、INPUTのエネルギー使用量にCO₂換算係数を乗じて算出しています。 ● CO₂の算出方法は、経済産業省・環境省の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」とWRI/WBCSD「The Greenhouse Gas Protocol」を参考にしています。
● 国内電力は電力会社ごとの最新の係数をもとに算出しています。 ● 対象期間は、2024年4月～2025年3月のデータです。



2024年度 エフテック環境会計

環境保全への投資額や費用を正確に把握・測定し、集計・分析を行うことは、現行の取り組みをさらに改善するとともに、ステークホルダーへの説明責任を果たす上でも重要であると考えています。今後は、海外グループ会社についても可能な範囲で集計に含めることを検討してまいります。

環境保全コスト

		金額(千円)					
分類	主な取り組みの内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
事業仕入内コスト	①公害防止コスト	15,291	14,781	19,486	18,401	19,327	18,736
	②地球環境保全コスト	110,410	20,317	24,890	46,493	45,544	32,876
	③資源循環コスト	18,061	18,811	12,858	13,066	10,120	12,235
	計	143,762	53,909	57,234	77,959	74,992	63,847
管理活動コスト	ISO認証費用、CSR報告書費用、環境測定費用 等	9,003	6,786	7,268	9,321	9,199	11,470
研究開発コスト	環境負荷低減のための研究開発	1,090,000	856,000	731,000	731,000	991,000	1,088,000
社会活動コスト	環境保全活動への参加、寄付、支援	2,151	1,920	1,795	1,625	1,955	1,680
合計		1,244,917	918,615	797,297	819,905	1,077,146	1,164,997

環境保全対策に伴う経済効果

		金額(千円)					
分類	効果の内容	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
収益	有価物による事業収入	423,750	431,949	688,824	596,782	588,866	590,024
費用節減	省エネ活動に伴う費用節減	14,924	19,230	15,953	12,029	17,033	9,791
合計		438,674	451,180	704,778	608,810	605,899	599,816

環境保全効果

分類	環境パフォーマンス指標	単位	2019年度 使用量	2020年度 使用量	2021年度 使用量	2022年度 使用量	2023年度 使用量	2024年度 使用量	2024年度 施策削減量
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	総エネルギー量	GJ	254,007	231,264	225,165	216,122	244,386	274,240	4,624
	電力	GJ	194,906	176,067	172,142	165,622	186,989	191,028	4,318
	都市ガス	GJ	45,019	42,670	41,258	38,977	43,902	44,090	306
	LPG	GJ	14,082	12,497	11,696	11,481	13,453	14,647	0
	水資源	m ³	75,870	76,858	61,629	60,893	58,888	60,982	0
事業活動から排出する環境負荷および廃棄物に関する環境保全効果	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	12,349	11,233	9,590	9,378	10,093	11,505	177
	社内炭素価値	千円/t-CO ₂	336	49	65	83	133	162	-
	特定の化学物質排出量	ton	0.9	0.9	1.7	0.4	0.6	0.4	0
	廃棄物等排出量	ton	414	444	404	428	541	519	0
輸送に伴う環境負荷物質排出量	CO ₂ 排出量	t-CO ₂	2,208	1,680	1,567	1,614	1,841	1,699	18

※算出にあたり日本の地球温暖化対策の推進に関する法律に基づくGHG排出量算定・報告・公表制度の発熱量を使用しています。
※当社の環境会計は環境省の「環境会計ガイドライン」に準じて算出され、日本国内の活動分のみを示しています。

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

> 2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

公正な取引に向けて

エフテック サプライヤーサステナビリティガイドライン

エフテックグループは、環境に配慮した活動、さらに持続可能な社会を築き、公正な取引を実現するために、「エフテック サプライヤーサステナビリティガイドライン」を制定しております。このガイドラインでは、環境面、経済面、社会面も考慮し、公平・公正かつ透明性の高い取引を行うことを定めております。



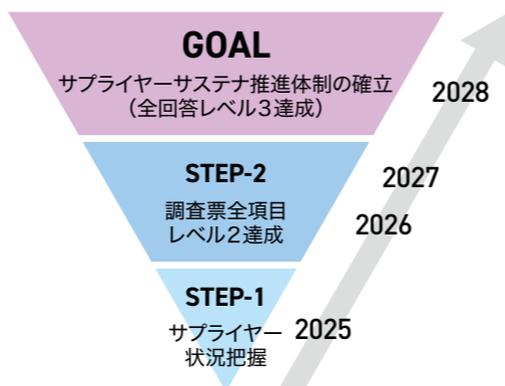
持続可能な資材調達

エフテックは、公平・公正かつ透明性の高い取引を行うため、購買担当者に対して「腐敗防止」「利益相反行為の禁止」「独占禁止法」「紛争鉱物」など責任調達について、各国の法規を遵守した教育を実施しております。



サプライヤーサステナビリティ検証の実施

持続可能な資材調達は、自社だけでなくサプライチェーン全体で一体となって取り組むことが求められます。2025年3月には、お取引先67社を対象に、コンプライアンス・環境・労働／人権などに関するアンケート調査を実施し、各社のサステナビリティに向けた取り組み状況を確認して課題を把握します。これらの結果を踏まえ、2028年度までに推進体制の確立を目指します。



製品含有化学物質管理

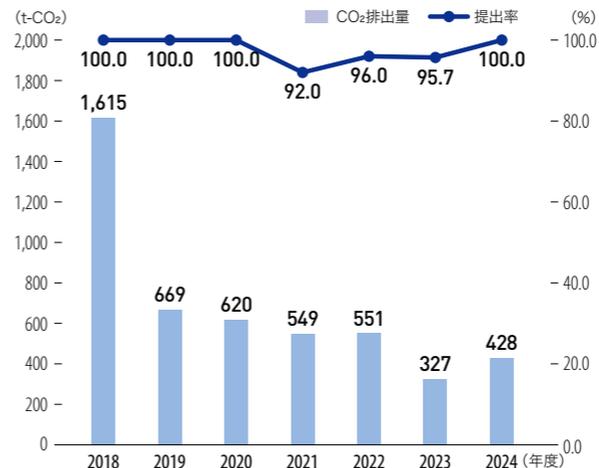
当社グループでは、製品に含まれる化学物質の規制に対処するため、管理体制を構築し、IMDS*調査を実施しています。法律で規制されている有害物質は「エフテック製品化学物質管理基準書」に定められており、その使用は厳禁とされています。また、取引先との連携を通じて対象物質を排除し、安全な製品を提供しています。

*IMDS: International Material Data System(自動車業界向け材料データベース)

サプライチェーンでの温室効果ガス排出量の把握

国内取引先温室効果ガス排出量(2024年度実績)

当社向けお取引先CO₂排出量



責任ある鉱物調達

エフテックグループは、紛争地域や高リスク国からの鉱物調達に関する児童労働や人権侵害、劣悪な労働環境、環境破壊、汚職などのリスクおよび不正が含まれる可能性のある紛争鉱物の使用を避けるため、RMI*1を支持し、CMRT*2、EMRT*3を用いた「責任ある鉱物調達」を推進しています。

サプライヤーに対しては、「エフテック サプライヤーサステナビリティガイドライン」の遵守を求め、不適切な鉱物の使用を防いでいます。

*1 RMI: Responsible Minerals Initiative(紛争鉱物フリー推進イニシアティブ)
 *2 CMRT: Conflict Minerals Reporting Template(紛争鉱物調査帳票)
 *3 EMRT: Extended Minerals Reporting Template(拡大版鉱物調査帳票)

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

- 人材戦略
- 人的資本強化の取り組み
- 労働・安全衛生の取り組み
- 働きやすい職場環境づくり
- チームで楽しく働きたい
- 地域社会との関わり
- グローバルでの活動
- TCFD提言に基づく情報開示
- 2030年グローバル環境目標 推進実績
- 15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について
- 2025年度 環境・エネルギー計画について
- マテリアルフロー
- 2024年度 エフテック環境会計
- > サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して
- 2024年度 地域環境会議の開催
- 久喜事業所: 環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力
- エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



2024年度 地域環境会議の開催

当社グループでは、2009年より「エフテックグループ世界環境会議」を継続して開催しています。近年は、サステナビリティ推進体制のグローバルな拡充や、カーボンニュートラル実現に向けて、各地域で積極的に情報発信を進めています。2024年度は、北米、アジア、中国の各地域において、WEB形式による地域別環境会議を開催しました。

本年度のグループ環境会議では、過去5年間に共有された施策の実施状況とその成果について調査し、報告を行いました。調査対象となった630件の施策のうち、207件が実施完了、148件が現在実施中または一部実施中です。未実施の施策は173件であり、約7割の施策がグループ内で実際に進められていることが分かりました。

また、これらの施策の実施により、グループ全体でCO₂排出量約30,966t、廃棄物量約88,293t、水使用量約2,503m³を削減しました。さらに、エネルギーコストも約2億7,447万円削減しており、大きな削減につながりました。

これらの成果により、当社グループは環境負荷低減および経済的効果の両面で大きく貢献できたと考えています。

共有施策の水平展開実施状況

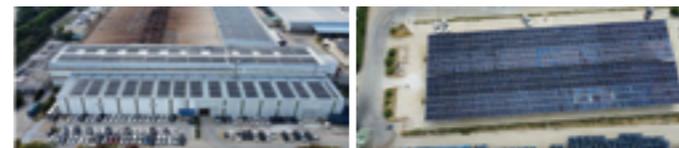
調査施策対象数 (施策数×海外拠点数)	○ 実施完了 (施策数×実施完了拠点数)	△ 実施中 (施策数×実施中拠点数)	× 未実施 (施策数×未実施拠点数)	該当設備なし数 (施策数×設備なし拠点数)
630	207	148	173	102
展開比率 (設備あり展開可能拠点対象)	39%	28%	33%	対象外

共有施策の水平展開実施効果

実施完了拠点の展開効果(施策実施効果×実施完了拠点数)			
CO ₂ 削減 (t)	廃棄物削減 (t)	水使用量削減 (m ³)	コスト削減 (千円)
30,966	88,293	2,503	274,473

2024年度はサステナビリティ推進部の投票により各領域の優秀施策を決定しました。

省エネ 偉福科技工業(武漢)有限公司(FTW/中国武漢拠点)
20年契約のPPAモデルで、太陽発電設備導入



発電容量: 1.88MW 発電量: 1,807MWh/Y CO₂削減: 1,346.9t/Y

廃棄物 F-TECH MFG. (THAILAND) LTD. (FMTL/タイ拠点)
食堂でのごみ分類を通じ、生ごみをできるだけリサイクル



投資不要 廃棄物: 2.59 t/Y コスト: 10,463 THB/Y

水資源 F&P Mfg., Inc. (FPC/カナダ拠点)
工場敷地内RO処理水の再利用



RO処理水をトイレの洗浄水に再利用、他の拠点へも水平展開しやすい。
費用: \$18,000
水削減: 2,385m³
費用削減: \$15,509/Y

CSR F&P Mfg., Inc. (FPC/カナダ拠点)
工場敷地内のみつばち保護活動



FPC工場敷地内の空エリアを利用し、蜂の巣箱を設置し生物種の育成と保護活動を行いました。

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

- 人材戦略
- 人的資本強化の取り組み
- 労働・安全衛生の取り組み
- 働きやすい職場環境づくり
- チームで築く働きがい
- 地域社会との関わり
- グローバルでの活動
- TCFD提言に基づく情報開示
- 2030年グローバル環境目標 推進実績
- 15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について
- 2025年度 環境・エネルギー計画について
- マテリアルフロー
- 2024年度 エフテック環境会計
- サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

> 2024年度 地域環境会議の開催

- 久喜事業所: 環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力
- エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ





久喜事業所

環境変化に負けない実力& サステナビリティがもたらす人間力

久喜事業所の挑戦

久喜事業所は歴史の長い工場であるが故に、老朽化という大きな課題を抱えています。設立以来、主に本田技研工業 埼玉製作所様の生産を支える役割を担ってきましたが、当社の開発力/生産力が広く自動車業界に認められ、トヨタ自動車様/スズキ様から信頼をいただき、新たなビジネス機会を広げています。以前のような多くの生産台数に支えられた売り上げを期待できない環境に置かれても、諦めずに頭を使い/知恵を出し/工夫を怠らないことで、1円でも多くの利益を生み出す努力を続けています。この努力によって身についた思考力/マネジメント力/技術力は、海外各拠点との連携という形で活かされています。久喜事業所特有の課題に向き合うことで高められる実力を環境変化にも負けない強固なモノにできるよう、日々チャレンジを続けています。



久喜事業所 所長
亀山 英俊



サステナブルな職場の実現による人間力強化

会社にとって持続可能性（サステナビリティ）とは何かを考えると、それは『これをやれば実現できる』特別な何かではなく、日々職場で仕事をする上で、会社の方向性/働く人の考え方や価値観/目指す姿/人間関係/職場環境などなど、あらゆる要素が大切に丁寧に扱われることで、「働き続けたい」と思える会社であること、との考えにたどり着きました。特定の誰かが頑張ることで実現できるものではありません。一人ひとりの当事者意識を持った行動が欠かせません。例えば、安全やモラルの向上です。一人ひとりが考え/行動することで人間力は磨かれ、それがエフテックの財産となる、そう信じています。



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで楽しく働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

> 久喜事業所: 環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



グローバルでの取り組み

▶ 地域に寄り添い、世界と輝く。

各地域の特性とニーズを的確に捉え、
環境と社会への一歩を価値創造の確かな基盤で実行していく。

China

Asia

Japan

North
America

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・
エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの
実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所:環境変化に負けない実力
& サステナビリティがもたらす人間力

> エフテックグループ グローバルでの
取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



エフテックグループ グローバルでの取り組み

グローバルに事業を展開するエフテックグループは、地球環境の保護と地域社会への積極的な貢献を使命とし、各拠点が独自の活動を展開しています。今後も持続可能な未来を見据え、これらの取り組みを続けてまいります。

Japan 日本

久喜事業所(埼玉県久喜市)

持続可能な工場運営に向けたCO₂削減活動

久喜事業所の焼鈍設備は、製品(トーションビーム)の残留応力を除去するための特殊設備です。加温に多くの電力を消費するため、経費や環境への影響が課題でしたが、焼鈍炉内の温度を見直し品質評価を行った結果、年間で約65,186kWhの電力と24,640kgのCO₂排出量を削減できました。今後もさらなる温度最適化によるCO₂削減活動を続けていきます。



亀山事業所(三重県亀山市)

地域と未来をつなぐ環境啓発活動

2025年6月、亀山市主催で、「亀山の企業が造るエコな未来」と題した環境に対する取り組みを紹介するパネル展が亀山市立図書館で開催されることになり、当社もブースを設置しました。ブースでは会社概要のビデオや環境への取り組み事例を展示し、駅前の図書館という立地もあって、多くの学生が来館されました。地域社会におけるエコな取り組みをPRするだけでなく、将来、当社に興味を持った子どもたちが入社してくれることも期待しています。



芳賀テクニカルセンター(栃木県芳賀郡芳賀町)

安全衛生の模範事業所への挑戦

芳賀テクニカルセンターは令和6年10月2日に開催された「令和6年度栃木地方産業衛生大会」におきまして「安全衛生にかかる栃木労働局長表彰」を受賞しました。同表彰は県内12の事業所が「労使協力して労働安全衛生活動を活発に推進し、安全衛生水準が優秀で改善のための取り組みが他の模範である」と認められ表彰されたものです。今後も労災ゼロはもちろん、さらに安全・快適な皆が働きやすい労働環境づくりを進めてまいります。



フクダエンジニアリング株式会社 (FEG / 埼玉県加須市)

多様な働き方を推進し、 全従業員が輝ける職場づくりへの挑戦

フクダエンジニアリングは、2024年8月に「埼玉県多様な働き方実践企業」のプラチナ認定企業となりました。

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

> エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで楽しく働きたい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所:環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

> エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ

フレックスタイム制度や年次休暇取得促進などを積極的に取り入れ、2024年度は全従業員の繰越有給取得率100%を達成しました。また、男性従業員が育児休業取得しており仕事と育児の両立の支援も行っています。今後も、従業員の働きやすさだけでなく、働きがい、多様な人材の活躍、生産性の向上などにも積極的に取り組んでいきます。



株式会社九州エフテック(QFT / 熊本県山鹿市)

地域と未来をつなぐ企業見学会の取り組み

山鹿市企業連絡協議会が主催する、市内小中学生向けの企業見学会を毎年受け入れています。地元へ人が「残る・戻ってくる」環境づくりを目的に、次世代を担う子どもたちに企業を知ってもらう機会として実施しています。

2024年度は6月に大道(だいどう)小学校の4年生42名が見学に訪れました。工場では、500トンプレス機の迫力ある音に驚いたり、溶接ロボットの動きに夢中になったりと、好奇心旺盛な生徒たちにとって有意義な体験となりました。



株式会社リテラ(埼玉県秩父郡小鹿野町)

地域に愛される工場を目指して
— 彩の国工場としての取り組み —

リテラ秩父工場は、2024年10月に埼玉県知事より「彩の国工場」に指定されました。この制度は、地域に愛される工場づくりを進めるため、周囲の環境に配慮し、公害防止法令を遵守し、地域貢献活動に取り組む工場を知事が指定するものです。当工場では、法令遵守・公害防止を徹底するとともに、消防訓練への協力、祭り時の駐車場開放、交通安全PRなど、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。



North America 北米

F&P America Mfg., Inc.
(FPA / アメリカ オハイオ州)未来のベビーシッター育成に向けた
資格取得講習の取り組み

地域社会への貢献を目的に、青少年向けベビーシッタートレーニングを実施しました。研修では、応急処置や心肺

蘇生法、AEDの使い方など実践的な知識を学び、アメリカ赤十字社が認定する証明書を取得しています。今回は2名が参加し、安全で安心なベビーシッター活動に必要なスキルを身につけました。本プログラムを通じて、若い世代の自立と地域の安全づくりに貢献しています。

F&P Georgia, A division of F&P America Mfg., Inc.
(FPG / アメリカ ジョージア州)

23年にわたる生物多様性と地域共生の歩み

2002年のオープンハウスで、福田治六ご夫妻により、工場敷地内の雨水を利用した池に鯉が放流されました。今年、鯉の生存状況を調査したところ、放流された鯉の「玄孫」世代と考えられる個体を確認しました。また、春には玄関先の記念碑前でカナダガンが巣づくりをするなど、2002年から現在までの約23年間、敷地内では生物多様性を保った良好な生態系が維持されていることが示されました。



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所: 環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

> エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ

F.TECH R&D NORTH AMERICA INC.
(RDNA / アメリカ オハイオ州)

歴史の継承と地域社会への貢献

2024年夏、Troy Historic Preservation Alliance (THPA)へ寄付を行いました。

THPAは、オハイオ州トロイ市の史跡保護を目的とする非営利団体です。今回の寄付は、1840年代初期に建てられ、2020年1月の竜巻で被害を受けた旧マイアミ郡裁判所の修復・保存に活用されました。また、2024年はハリケーンの影響を受けた人びとが多かったことから、10月には従業員に対してアメリカ赤十字社への寄付を呼びかけ、マッチングギフトも実施しました。



F&P Mfg., Inc.(FPC / カナダ オンタリオ州)

ミツバチ保護を通じた地域社会との絆づくり



F&PカナダはToronto Bee Rescueと連携し、敷地内に24の養蜂箱を設置してミツバチの保護と生物多様性の保全に取り組んでいます。2024年9月には、

抗酸化物質が豊富で健康効果が高いとされる約500kgの希少なそば蜜を初めて収穫しました。今後、販売やギフトとして提供を予定しています。また、収穫を記念して、全従業

員とご家族を対象としたラベルデザインコンテストを開催し、参加者には採れたてのはちみつを1瓶ずつ贈呈しました。

DYNA-MIG, A Division of F&P Mfg., Inc.
(DM / カナダ オンタリオ州)

従業員と共に取り組む社会貢献の実践

過去21年間、DYNA-MIGはパース・ヒューロン地区ユナイテッド・ウェイのために募金活動を行ってきました。ユナイテッド・ウェイは、低所得、適切な住居の不足、メンタルヘルスの問題、食糧安全保障



の課題など地域社会で困難に直面している人びとを、45以上の団体と連携して支援する組織です。また、社会的包摂の促進、多様なカウンセリングの提供、交通手段へのアクセス支援なども行っています。今回の募金活動では、69名の従業員が合計9,431ドルを寄付し、DYNA-MIGも同額を拠出。合計18,862ドルが寄付されました。

F&P MFG DE MEXICO S.A. DE CV.
(FPMX / メキシコ グアナファト州)

地域社会と共に歩む環境保全と安全意識の向上

FPMXのCSR活動では、環境保全・安全衛生・地域貢献への従業員意識向上を推進しています。2024年は、5月

にグアナファト州の環境改善活動参加で表彰、家族参加のイベントで安全レター記入を実施。6月はカルメン地区のごみ拾い、8月は家族向け環境講話付きオープンハウス、9月はイラプアト市クリーン空気キャンペーン参加、11月は安全週間の開催と講話、森林地域ごみ拾いなど多様な活動を実施しました。

F.E.G. DE QUERETARO S.A. DE C.V.
(FEGQ / メキシコ ケレタロ州)

持続可能な発展を目指した新たな取り組み

年初に、当社はケレタロ州政府の持続可能な開発省より、地球温暖化対策や自然災害などの危機管理への対応に積極的に取り組むことを目的とした「ATLASプロジェクト」への参加招待を受けました。本プロジェクトは「把握」「連携」「実行」の3つの行動に重点を置いており、当社はその一環として、組織体制や業務手順について必要な情報をATLASプロジェクト事務局に提出しました。



China 中国

偉福科技工業(中山)有限公司
(FTZ / 中国 広東省)

廃油・排ガス削減と従業員教育による 持続可能性向上

持続可能な社会の実現に向け、当社では環境改善活動と従業員教育に積極的に取り組んでいます。塗装工程では、自社製の2次分離槽増設により年間約4tの廃油削減を達成。ボイラー排気についても機器更新と2次燃焼処理により窒素酸化物を約45%低減しました。さらに、2024年9月にはサステナビリティに関する従業員講習(受講率94%)を実施し、環境保護や人権への意識向上を図っています。

偉福科技工業(武漢)有限公司
(FTW / 中国 湖北省)

年間14.6万元のコストダウンを 実現する太陽光設備

2024年11月13日、FTW太陽光発電が国家電力供給網に接続され、正式に稼働開始しました。このプロジェクトは、FTWが費用を負担することなく、信和集団が投資と工事を請け負いました。太陽光パネルはプレス工場、金型倉庫、組立出荷場、事務所、食堂、および駐車場に敷設

されています。設備容量は1.88MW、年平均発電量は186.73万kWhで、FTWの総電力使用量の約20%に相当します。年間CO₂排出量は1,226.85t、年間電気代は14.6万元の削減を見込んでいます。



偉福(広州)汽車技術開発有限公司
(FRDCH / 中国 広東省)

地域と共に進める防災教育と環境保護活動

2024年6月および11月には事務所ビル管理会社主催の消防訓練に参加し、避難ルートの再確認や災害時の行動について消防士から指導を受けることで防災意識の向上に努めました。また、2025年3月にはビル管理会社の協力のもと事務所ビル周辺のごみ拾いを実施し、掃除道具一式を貸与いただき、災害時の避難経路や避難場所を確認しながら、環境保護と防災意識の向上を同時に推進する取り組みを行いました。



Asia アジア

India Steel Summit Private Limited
(ISS / インド ウッタラプラデーシュ州)

次世代のための教育インフラ支援に挑む

当社は前期のCSR活動として、ウッタラプラデーシュ州グレーター・ノイダのティルパタおよびジャイトプルにある公立小学校支援のため、NGO「Pahal」へ寄付を行いました。この取り組みにより、10台のスマートボード、9台のテーブル、15脚の椅子、3台のキャビネットを提供し、バラ・ペインティングによる校舎美化も実施。児童の学習意欲を高める魅力的な教育環境づくりに貢献しています。



F.tech R & D Philippines Inc.
(FRDP / フィリピン ラグナ州)

人と自然を結ぶ、 心豊かな社会づくりに向けた取り組み

2024年は、教育・環境・地域福祉に注力したCSR活動を展開しました。ラグナ州のロマ小学校では、3年生33

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで築く働きがい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について

マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所: 環境変化に負けない実力 & サステナビリティがもたらす人間力

> エフテックグループ グローバルでの取り組み

ガバナンス

企業情報・データ



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

人材戦略

人的資本強化の取り組み

労働・安全衛生の取り組み

働きやすい職場環境づくり

チームで楽しく働きたい

地域社会との関わり

グローバルでの活動

TCFD提言に基づく情報開示

2030年グローバル環境目標 推進実績

15次中期計画/2024年度 環境・エネルギー計画および実施状況について

2025年度 環境・エネルギー計画について
マテリアルフロー

2024年度 エフテック環境会計

サステナブルなサプライチェーンの
実現を目指して

2024年度 地域環境会議の開催

久喜事業所:環境変化に負けない実力
& サステナビリティがもたらす人間力> エフテックグループ グローバルでの
取り組み

ガバナンス

企業情報・データ

名への学用品寄贈を通じて新学期を支援。シニロアンではパートナー企業と1,500本の苗木を植樹し、環境保護に貢献しました。また、カラバ市の「バハイ・ニ・マリア」を訪問し、高齢者や障がいのある子どもたちにプレゼントを贈り交流。FRDPは今後も地域社会の発展と持続可能な社会づくりに積極的に取り組みます。



F-TECH PHILIPPINES, MFG., INC.

(FPMI / フィリピン ラグナ州)

地域の安心を守るための継続的な訓練と成長

FPMIが所属するラグナテクノパーク協会は、2025年3月20日に消防競技大会を実施しました。本大会は、模擬シナリオを通じて参加各社の消防士の技能を評価・向上させ、実際の火災発生時に備え、実践力を高めるための重要な取り組みです。本大会でFPMI消防チームは「地

域火災撲滅隊」として最優秀賞を受賞しました。さらに「炎の対決」では第2位を獲得し、FPMI消防隊員の消防活動における高い能力とチームワークが実証されました。

私たちは、この成果を上げたFPMI消防チームを誇りに思っています。



F-TECH MFG. (THAILAND) LTD.

(FMTL / タイ アユタヤ県)

高齢者の健康と生きがいを応援する地域貢献活動

F-TECHグループは、行動指針「コミュニティへの参画」に基づき、地域・社会の一員として、平等で豊かな社会づくりを目指しています。今年度は、アユタヤ県の高齢者福祉センターにて、高齢者60名を対象にセルフケア講座やレクリエーション、日用品の寄贈などの地域貢献活動を実施しました。また、施設内の菜園整備や野菜の種の寄付を通じて、高齢者が自宅で無農薬野菜を育て、健康維持や趣味、副収入につなげられるよう支援しています。



PT. F.TECH INDONESIA

(FTI / インドネシア カラワン県)

ISO14001:2015認証の取得と 持続可能な取り組み

本年も、地域の生活環境向上に貢献するため、地域の風習である犠牲祭に参加し、ヤギ2頭を住民に寄贈しました。さらに、養護施設の子ども50名には学習用カバンや文房具も贈呈しました。近年、インドネシアでも環境保護への意識が高まり、法改正が進んでいます。FTIも、所在する工業団地の環境セミナーに積極的に参加しています。コロナ禍の影響で遅れていた「ISO14001:2015」認証も、1年かけて取得しました。これまで以上に従業員の環境意識を高め、地域に貢献できる会社を目指してまいります。



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

> コーポレートガバナンス体制

サステナビリティ推進体制

役員紹介

社外取締役及び常勤監査役のメッセージ

企業情報・データ

明責任を強化するため、取締役会の諮問に応じて、取締役や執行役員等の指名や報酬等を外部第三者が実施する「企業経営者報酬サーベイ」などにに基づき審議し、取締役会に答申を行っております。なお、指名・報酬委員会による答申は、取締役会の審議において尊重されることとなっております。

コンプライアンスへの取り組み

当社は、エフテックグループの社是、理念、サステナビリティ基本方針を基盤とした「エフテックフィロソフィー」を定めています。その中の「わたしたちの行動指針」では、法令遵守や人権尊重などを明文化し、社会的良識を持った行動を促進しています。この指針に基づき、国内外の法令および社内規則を順守し、人権侵害やハラスメントを防止するため、また反社会的勢力との関係を遮断するため「コンプライアンス規程」を定めています。さらに、定期的なメールマガジンの配信や座学研修の実施により、グループ全体のコンプライアンス意識の向上に努めています。

また、匿名で相談できる「企業倫理改善提案窓口」を設置し、提案しやすい環境を整備しています。問題が発覚した場合は、「企業倫理委員会」を開催し、提案者の保護を徹底した上で調査・対策を行い、関係部門への改善指示を実施しています。海外子会社においても「目安箱」や「通報窓口」を設置し、風通しの良い職場環境の整備に努めています。

リスクへの取り組み

当社は多様化するリスクに対応し、その回避を図るため「リスク管理規程」を定め、日常的にリスク低減に努めています。リスク管理委員会は、経営企画室長をリスクマネジメントオフィサーとし、管理部門長や各部門長で構成。各部門の専門的な意見を反映し、具体的な対策を検討しています。

また、大規模災害などの不測の事態が発生した際には、事業継続計画(BCP)に基づき、

直ちに社長を本部長とする緊急対策本部を設置。状況把握と業務継続に向けた対応に努めることで、得意先への安定供給責任を果たします。初動対応が迅速に行えるよう、必要な行動基準をマニュアル化し、従業員一人ひとりの自助力強化にも取り組んでいます。

さらに、情報システムやネットワークの確保に向けたITデータの保護(データセンターの活用)、食料や防災用品の備蓄、防災教育および安否確認訓練の実施など、従業員への周知・教育にも注力しています。

情報セキュリティの取り組み

当社は「情報セキュリティガイドライン」を全従業員に配布し、周知を徹底しています。取締役会などの重要な会議の議事録は、「文書帳票管理規程」「秘密保持規程」および「情報システム管理規程」に基づき適切に管理しています。また、各種契約書については「契約書管理規程」に従い、厳格な管理・監督を行っています。

2024年度には、セキュリティ事故に備えた拠点間バックアップの強化として、各拠点で一次バックアップを実施し、さらに遠隔地に二次バックアップを導入しました。リストアテストによって、半年分のデータが確実に復旧できることも確認しています。

また、社内PCおよび携帯電話の持ち出しルールも見直しました。全ての端末でディスクの暗号化と遠隔消去機能の有効化を確認し、ハード面での対策を強化したことで、紛失・盗難時の情報漏洩リスクを低減しています。

2025年度は、ファミリー拠点のセキュリティ強化に取り組んでおり、現状把握の上、グループ全体のセキュリティレベル向上を推進していきます。



サステナビリティ推進体制

サステナビリティに関する考え方および取り組み

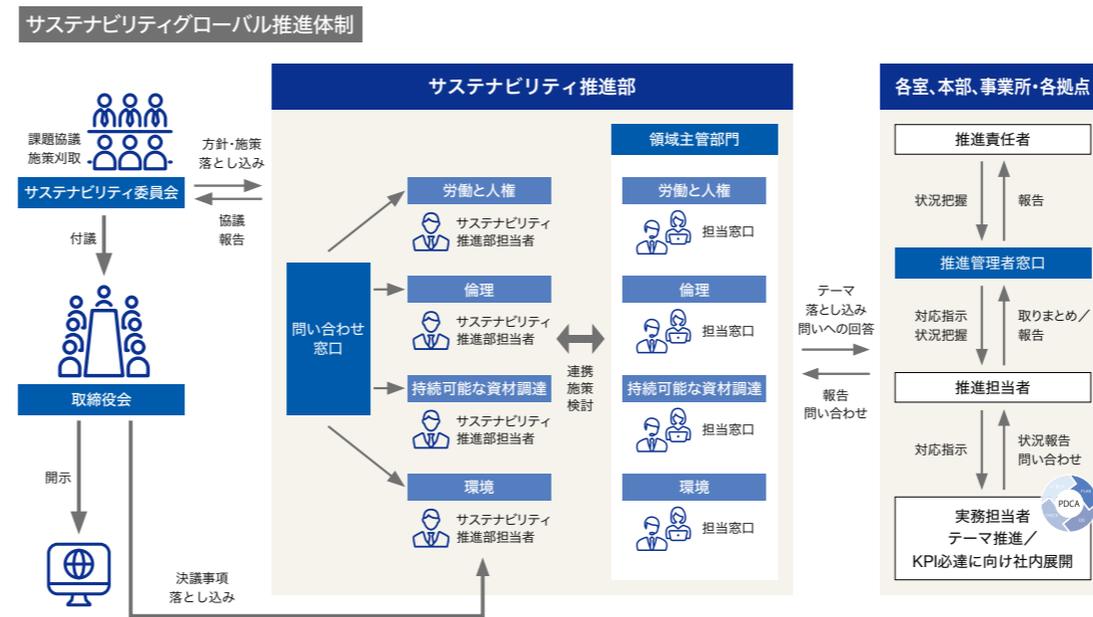
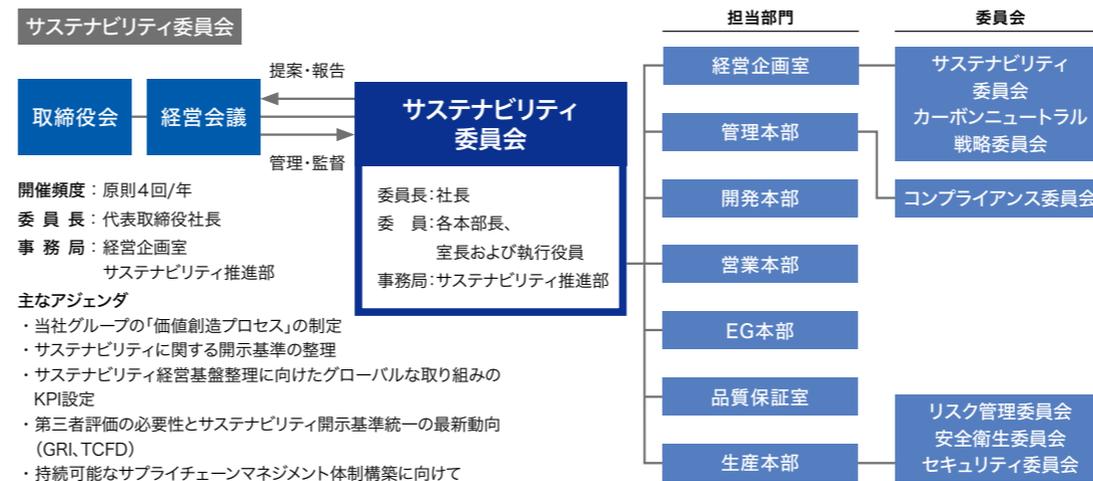
当社は「持続可能なモビリティ社会の実現」を目指し、企業活動を通じて社会課題の解決と企業価値の向上に取り組んでいます。気候変動や人口減少など、急速に変化する事業環境に対応するため、サステナビリティ施策の推進や情報開示の充実を図っています。本年度も、社是・理念・行動指針のもと、世界的なトレンドを見据えた戦略的な取り組みを強化し、社会と共に持続的な成長を目指します。

ガバナンス

当社は、サステナビリティ委員会を中核とした全社的なガバナンス体制を構築しています。委員長は代表取締役社長、構成員は各本部長・室長および執行役員、事務局はサステナビリティ推進部です。委員会は年4回開催し、サステナビリティ戦略や重要課題を報告・協議します。抽出された課題や提言は経営会議を経て取締役会で審議され、取締役会が最終的な意思決定・監督を担います。また、他の専門委員会とも連携し、一貫したガバナンス体制を維持しています。全社で社会的責任に応えるサステナビリティ活動を推進しています。

グローバル推進体制

当社はグローバル体制のもと、サステナビリティ課題に対応するため、各拠点に推進責任者を配置し、それぞれの役割を明確にしています。また、日本のサステナビリティ推進部門と連携し、情報共有や課題解決を図ることで、グループ全体としてサステナビリティ経営のさらなる推進を目指しています。



INDEX

- イントロダクション
- 価値創造ストーリー
- 価値創造戦略
- ガバナンス
 - コーポレートガバナンス体制
 - > サステナビリティ推進体制
 - 役員紹介
 - 社外取締役及び常勤監査役のメッセージ
- 企業情報・データ



役員紹介 | 取締役



ふくだ ゆういち
福田 祐一 代表取締役

重要な兼職 なし

主な経歴

- 1994年 12月 当社入社
- 2004年 6月 当社取締役
- 2008年 6月 当社取締役兼専務執行役員
- 2010年 3月 当社管理本部長
- 2012年 4月 当社営業・北米統括
- 2013年 4月 当社国内統括
- 2014年 4月 当社取締役兼副社長執行役員
- 2015年 4月 当社代表取締役社長(現任)
- 2021年 12月 当社指名・報酬委員会 委員(現任)

選任理由

国内外拠点、海外事業領域、生産領域、管理領域等の責任者として多岐にわたる経験と豊富な知見を有しており、2015年4月に代表取締役社長に就任以降はその経験、知見を活かし強いリーダーシップと決断力により経営の重要事項の決定および業務執行の監督において十分な役割を果たしております。



ふじたき はじめ
藤瀧 一 取締役兼専務執行役員
グローバルSED統括兼北米地域統括

重要な兼職 なし

主な経歴

- 1981年 8月 当社入社
- 2004年 6月 当社上席執行役員
- 2008年 5月 F&P America Mfg., Inc. 社長
- 2012年 4月 当社品質保証本部長
- 2012年 6月 当社取締役兼常務執行役員
- 2013年 4月 当社生産本部長
- 2016年 4月 当社営業本部長
- 2017年 4月 当社営業本部長兼アジア大洋州地域統括
- 2020年 4月 当社取締役兼専務執行役員(現任)
- 2020年 4月 当社グローバルSED統括(現任)
- 2025年 4月 当社北米地域統括(現任)

選任理由

これまで開発領域、営業領域、生産領域の統括および海外拠点の社長など責任者として多岐にわたる経験を有しており、現在はグローバルSED統括および北米地域統括を務めております。これまで培った当社グループ経営における豊富な経験と高度な知見を活かし、取締役として経営の重要事項の決定および業務執行の監督等の役割を適切に果たしております。



わかばやし けい
若林 圭 取締役兼上席執行役員
管理本部長 新任

重要な兼職 なし

主な経歴

- 1990年 4月 株式会社協和銀行(現株式会社りそな銀行)入行
- 2021年 4月 株式会社埼玉りそな銀行川越支店長
- 2024年 10月 当社入社管理本部副本部長
- 2025年 4月 当社上席執行役員
- 2025年 4月 当社管理本部長(現任)
- 2025年 6月 当社取締役兼上席執行役員(現任)

選任理由

当社の管理領域の責任者として当社グループの経理・財務、人事・労務、ガバナンス、コンプライアンスを統括するなど重要な業務管理の経験を有しており、豊富な経験と高度な知見を活かし、取締役として経営の重要事項の決定および業務執行の監督等の役割を適切に果たしております。

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

コーポレートガバナンス体制

サステナビリティ推進体制

> 役員紹介

社外取締役及び常勤監査役のメッセージ

企業情報・データ



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

コーポレートガバナンス体制

サステナビリティ推進体制

> 役員紹介

社外取締役及び常勤監査役のメッセージ

企業情報・データ



こが のぶひろ

古閑 伸裕

社外取締役 社外 独立

重要な兼職 日本工業大学 基幹工学部 教授
日本工業大学 産学連携センター長
公益社団法人 さいしんコラボ産学官 特別顧問

主な経歴

1996年 4月 日本工業大学工学部(現基幹工学部)助教授

2002年 4月 日本工業大学工学部(現基幹工学部)教授(現任)

2013年 4月 日本工業大学産学連携起業教育センター(現産学連携センター)センター長(現任)

2016年 5月 一般社団法人さいしんコラボ産学官理事

2018年 6月 当社社外取締役(現任)

2021年 12月 当社指名・報酬委員会委員

2025年 1月 公益社団法人さいしんコラボ産学官特別顧問(現任)

2025年 6月 当社指名・報酬委員会委員長(現任)

選任理由

機械工学を専門とする大学教授として豊かな知見や経験および客観的視点を持ち合わせており、当社取締役の業務執行の監督等の役割を適切に果たしております。

また、同氏は、指名・報酬委員会委員長として、役員の選解任、役員報酬制度等について審議いただき、客観性、透明性の高いガバナンス体制の構築に関与いただいております。



おやまだ てるよ

小山田 明代

社外取締役 新任 社外 独立

重要な兼職 小山田法律事務所 代表弁護士
東京簡易裁判所 民事調停委員
国土交通省 中央建設工事紛争審査会 特別委員

主な経歴

1998年 4月 弁護士登録(第二東京弁護士会)

1998年 4月 森・濱田松本法律事務所入所

2005年 10月 小山田法律事務所代表弁護士(現任)

2009年 4月 日本弁護士連合会綱紀委員会調査員

2016年 4月 東京簡易裁判所民事調停委員(現任)

2016年 11月 国土交通省中央建設工事紛争審査会 特別委員(現任)

2025年 6月 当社社外取締役(現任)

2025年 6月 当社指名・報酬委員会委員(現任)

選任理由

弁護士としての豊富な実務経験を活かし、社外取締役として当社の法務・リスク管理、ガバナンス・サステナビリティ等を中心に業務執行の全般を監督いただくとともに、独立した立場から当社の経営を監督いただいております。また、同氏は、指名・報酬委員会委員として、役員の選解任、役員報酬制度等について審議いただき、客観性、透明性の高いガバナンス体制の構築に関与いただいております。

スキルマトリクス

氏名/項目	性別	独立役員	企業経営	技術・開発	生産・製造技術	営業・調達	財務・会計	法務・リスク管理	ガバナンス・サステナビリティ	学識経験	海外経験
福田 祐一	男性		●		●	●	●				●
藤籠 一	男性			●	●	●					●
若林 圭	男性						●	●	●		●
古閑 伸裕	男性	社外独立		●						●工学	
小山田 明代	女性	社外独立						●	●		



役員紹介 | 監査役



なかにし みちあき
中西 教明 常勤監査役

重要な兼職 なし

主な経歴
1985年 4月 株式会社百五銀行入行
2013年 6月 同行 亀山支店長
2015年 6月 同行 支店統括部 営業推進役
2017年 7月 当社入社 管理本部
2018年 4月 当社内部監査室 室長
2020年 4月 当社管理本部人事部
2020年 9月 F&P Mfg., Inc.取締役
2023年 6月 当社常勤監査役(現任)



あおき ひろゆき
青木 啓之 常勤監査役 新任

重要な兼職 なし

主な経歴
2015年 8月 当社入社 管理本部副本部長
2016年 4月 当社上席執行役員
2016年 4月 当社管理本部長
2016年 6月 当社取締役兼上席執行役員
2020年 4月 当社取締役兼専務執行役員
2020年 4月 当社グローバル事業管理担当
2025年 4月 当社取締役
2025年 6月 当社常勤監査役(現任)



たかはし ひろし
高橋 宏志 社外監査役 社外 独立

重要な兼職 損害保険契約者保護機構 理事
公益財団法人 社会科学国際交流江草基金 理事長
渥美坂井法律事務所 顧問

主な経歴
1985年 8月 東京大学 法学部 教授
1998年 12月 損害保険契約者保護機構 理事(現任)
2007年 4月 東京大学 理事・副学長
2009年 5月 東京大学 名誉教授
2009年 6月 森・濱田松本法律事務所 客員弁護士
2010年 2月 公益社団法人 商事法務研究会 理事
2017年 6月 公益財団法人 社会科学国際交流江草基金 理事長(現任)
2018年 4月 渥美坂井法律事務所 顧問(現任)
2019年 6月 当社社外監査役(現任)



ますだ けんいちろう
増田 賢一郎 社外監査役 社外 独立

重要な兼職 公益財団法人 埼玉りそな産業経済振興財団 理事長
株式会社ダイゾー 非常勤監査役

主な経歴
1984年 4月 株式会社埼玉銀行(現 株式会社埼玉りそな銀行)入行
2011年 6月 株式会社りそなホールディングス 執行役員グループ戦略部長
2013年 4月 株式会社りそな銀行 執行役員
2013年 4月 株式会社りそなホールディングス 執行役員
2016年 4月 株式会社埼玉りそな銀行 取締役兼常務執行役員
2018年 4月 株式会社埼玉りそな銀行 代表取締役兼専務執行役員
2019年 6月 りそな保証株式会社 代表取締役社長
2022年 4月 公益財団法人 埼玉りそな産業経済振興財団 理事長(現任)
2022年 6月 当社社外監査役(現任)
2022年 10月 株式会社ダイゾー 社外監査役(現任)

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

コーポレートガバナンス体制

サステナビリティ推進体制

> 役員紹介

社外取締役及び常勤監査役のメッセージ

企業情報・データ



社外取締役および常勤監査役のメッセージ

客観的視点で支える 企業価値向上への挑戦

こ が のぶひろ
社外取締役 **古閑 伸裕**



自己紹介

私は、2018年6月に当社の社外取締役に就任し、今年度に8期目を迎えます。これまで工学を専門とする大学教授としての教育・研究に関する知見や経験をもとに、客観的視点から当社の経営へ携わり、企業価値の向上に努めてまいりました。また、2021年6月に設立されました「指名・報酬委員会」の委員に設立と同時に選任され、本年6月からは同委員会の委員長として運営に携わっております。今後より客観的な観点から取締役等の指名や報酬の決定に寄与してまいります。

取締役会の実効性

当社の取締役会は、2名の社外取締役を含む5名で構成されており、月1～2回の頻度で重要な経営課題の審議を行っています。また、執行側からの提案事項に対しては、建設的かつ多角的な視点からの議論を交わり、経営判断の質の向上とガバナンスの実効性確保に取り組んでおります。また、毎年取締役会の開催頻度、審議内容や時間など多項目にわたり、その妥当性を取締役個々が評価し、結果を共有することで、取締役会の実効性向上に努めています。

人財基盤の強化

当社には今年度「人財育成課」が新たに設置されました。企業の繁栄は社員のエンゲージメントの高さに左右されることから、この新たな部署の設置による活動と効果が期待されます。すなわち、社員へのリカレント教育の場の提供や経済的支援など人財育成システムが構築できれば社員のエンゲージメント向上が期待でき、結果として生産性の向上や若手社員の離職率の低下などが期待できます。

今後の取り組み

自動車業界は電動化や地政学的リスクなど100年に一度の大きな変革の時代に突入しており、当社においても経営方針や業務内容を大きく見直すべき時期にきています。現在すでに経営の見直しなどが進められていますが、持続的な成長と中長期的な企業価値の最大化を実現するためには、さらなる戦略の実効性と同時に、リスク管理、内部統制の強化、人財投資の推進が不可欠です。今後も独立社外取締役として、ガバナンスの視点から経営をサポートし、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

持続的成長を支える 監査役の役割

なかにし みちあき
常勤監査役 **中西 教明**



ガバナンスの重要性

エフテックグループは、創業以来、「チャレンジ精神」と共に、「モノづくり」を通じて社会に価値を提供し続けてきました。また、かつてない速度で変わりゆく社会と市場の中で、持続的に成長し続ける企業であることを目指しています。私は監査役として、企業の「稼ぐ力」の本質と、それを支えるガバナンスの重要性を日々強く認識しています。

持続的成長に不可欠なのは、短期的な利益や目先の成果にとらわれないことのない、中長期的視点に立った健全な経営です。未来を見据え、リスクと機会をバランスよく見極めて意思決定を導くこと、それこそがいまエフテックグループに求められる「ガバナンスの質」だと考えています。

監査役役割

監査役職責は、実効性のある監督・監査を通じて、社外監査役の客観的かつ専門的な知見と共に、企業経営に第三者的な視点・牽制をもたらすことです。しかし、それは決して単なるチェックや指摘にとどまるものでなく、私はエフテックの風土を深く理解し、その価値観があらゆる場面で機能するよう経営層と真

摯な対話に努めています。加えて、事業所や海外生産拠点を訪問し、経営陣のみならず、現場との意見交換や内部通報制度の活用も通じて、不正リスクの早期把握やガバナンス体制の実効性向上にも取り組んでいます。

信頼に応える

ESGやSDGsといった社会課題への対応も、OEMからの要求や一過性の流行ではなく、会社の成長戦略そのものに一体化すべき時代であり、その中で、私自らも学び続け、新たな視点や知識を持って正しい変革を少しでも後押しできればと思っています。

これからも、多様化する価値観と急速な社会変化の中、あらゆるステークホルダーの信頼に応え、企業の持続的成長と「稼ぐ力」を最大化しつつも社会的責任を果たす経営の実現に向けて尽力してまいります。

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

コーポレートガバナンス体制

サステナビリティ推進体制

役員紹介

> **社外取締役及び常勤監査役のメッセージ**

企業情報・データ



サステナビリティ関連のKPI進捗状況

マテリアリティに沿った数値目標(KPI)はサステナビリティ委員会にて決定し、グローバルで推進しています。その取り組み状況は経営会議でモニタリングし、今後の取り組みの強化につなげていきます。

主な施策・KPI	関連するマテリアリティ	範囲 ^(※)	2024年度目標	2024年度実績	
労働と人権	多様性、差別、ハラスメントに関する研修	● 人権の尊重	国内・海外全従業員	70%以上	91.4% (8,731人)
	労使共同の安全衛生委員会が保護している従業員の割合	● 安全・衛生的な労働環境	国内・海外全従業員	70%以上	99.6% (9,516人)
倫理	倫理問題に関する啓発研修	● コンプライアンス	国内・海外全従業員	70%以上	90.6% (8,653人)
	情報セキュリティ侵害防止の啓発研修		国内・海外全従業員	70%以上	90.6% (8,653人)
責任ある調達	サプライヤーサステナビリティガイドラインへ賛同署名	● サステナブル調達の推進 ● 公正な取引	国内・海外主要お取引先	賛同署名 70%以上	86.7% (371社)
	紛争鉱物使用状況調査		国内・海外主要お取引先	調査実施率 70%以上	87.8% (287社)
	購買担当者に対する責任ある調達に関する研修		国内・海外購買担当者	受講率 80%以上	95.6% (130人)
環境	環境問題に関する啓発研修	● カーボンニュートラルへの対応 ● 環境に配慮した製品開発	国内・海外全従業員	70%以上	81.1% (7,744人)
	ISO14001の認証を取得している生産拠点の割合		国内・海外生産拠点金型製作拠点	80%以上	87.5% (14拠点)

(※) 範囲について
 国内・海外：エフテック(単体)、国内子会社、海外子会社を含む範囲
 全従業員：パートタイマー・臨時雇用者を含む全ての従業員数(役員を除く)
 主要お取引先：各生産拠点における外注費、売り上げの上位80%以上に該当する企業数

KPI算出 基礎データ

エフテックグループ従業員数

9,554名

うち、購買担当者数

136名

エフテックグループ主要お取引先数

428社

うち、紛争鉱物調査対象とする企業数

327社

拠点区分・外部認証取得状況

2025年3月末時点

分類	エフテックグループ																						
	国内拠点				海外拠点																		
地域	単体	国内子会社			北米					中国			アジア・大洋州										
拠点名	Ftech	RETERRA	QFT	FEG	FPC	DM	FPA	FPG	FPMX	RDNA	FTNA	FEGQ	FTZ	FTW	FRDCH	FEGY	FPMI	FMTL	FRDP	FTI	FTAC	ISS	
区分	生産	●	●	●	●	●	●	●	●				●	●			●	●		●		●	
	金型製作				●							●											
	営業・開発	●	●	●	●						●	●				●	●			●		●	
認証	IATF16949	●	■	■		●	●	●	●	●	■		●	●	●			●	●		●		●
	ISO14001	●	●	●		●	●	●	●				●	●				●	●		●		●

(※) 拠点名の正式名称は、P70 グローバルネットワークに記載しています。
 ■ 認証：ISO9001認証を主としている拠点

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

> サステナビリティ関連のKPI進捗状況

ESGデータ集

各データの推移

連結貸借対照表
および連結損益計算書

エフテックグループ
グローバルネットワーク



ESGデータ集 (3カ年)

環境 (E)

項目	データ範囲 ^(※1)	単位	2022年度	2023年度	2024年度
電力使用量	国内・海外	MWh	191,057	197,196	194,650
うち、カーボンフリー電力使用率 ^(※2)	国内・海外	%	16.2	19.6	20.5
GHG排出量(Scope1/2)	国内・海外	t-CO ²	90,520	83,020	74,796
GHG排出量(Scope3 Cat.4)	国内・海外	t-CO ²	4,223	4,017	3,534
水使用総量	国内・海外	千m ³	736	733	680
排水総量	国内・海外	千m ³	601	576	539
廃棄物排出総量	国内・海外	ton	5,443	5,259	5,139
有害廃棄物の総重量	国内・海外	ton	920	1,308	888
非有害廃棄物の総重量	国内・海外	ton	4,523	3,951	3,274
直接埋立廃棄物の総重量	国内・海外	ton	1,291	1,026	977
CDP評価(気候変動)	国内・海外	クラス	B	B	B

社会 (S) 1/2

従業員総数	国内・海外	人	9,763	9,800	9,554
海外従業員数	海外	人	8,467	8,486	8,188
海外従業員比率	国内・海外	%	86.7	86.6	85.7
女性従業員比率	国内・海外	%	17.7	16.8	18.9
女性管理職比率 ^(※3)	国内・海外	%	13.4	15.6	13.6
障がい者雇用率	国内(単体)	%	2.60	3.00	2.70
従業員数(正規社員数)	国内(単体)	人	745	739	738
臨時雇用者数	国内(単体)	人	166	200	242
平均勤続年数	国内(単体)	年	18.5	18.5	18.5
平均勤続年数(男性)	国内(単体)	年	19.0	19.0	19.1
平均勤続年数(女性)	国内(単体)	年	14.3	14.7	14.1
平均年齢	国内(単体)	年	41.1	41.4	41.5
平均年間給与	国内(単体)	千円	5,720	5,935	6,074
有給休暇取得率	国内(単体)	%	93.9	95.3	96.3
育児休暇取得件数	国内(単体)	件	7	8	10
男性の育児休業取得率	国内(単体)	%	33.3	38.5	55.6

社会 (S) 2/2

項目	データ範囲 ^(※1)	単位	2022年度	2023年度	2024年度
総労働時間	国内・海外	千時間	21,133	20,727	20,185
1人当たり総労働時間	国内・海外	時間	2,165	2,115	2,113
平均残業時間	国内(単体)	時間	1,887	1,919	1,966
労働災害件数 ^(※4)	国内・海外	件	64	62	73
業務上の負傷、疾病による損失日数	国内・海外	日	1,252	1,115	608
重大品質不具合 ^(※5)	国内・海外	件	0	0	0

ガバナンス (G)

取締役数	国内(単体)	人	5	5	5
独立社外取締役比率	国内(単体)	%	40	40	40
女性取締役比率	国内(単体)	%	20	20	20
執行役員数	国内(単体)	人	16	16	17
女性執行役員比率	国内(単体)	%	0	0	6
内部通報の件数 ^(※6)	国内・海外	件	6	7	14
うち、利益相反、贈収賄	国内・海外	件	0	0	0
うち、ハラスメント	国内・海外	件	3	3	4
うち、法令・社内ルール違反	国内・海外	件	2	4	3
うち、その他 内部通報	国内・海外	件	1	0	7
腐敗行為 ^(※7)	国内・海外	件	0	0	0
情報セキュリティインシデント ^(※8)	国内・海外	件	0	1	1

(※1) 範囲について

国内・海外 : エフテック(単体)、国内子会社、海外子会社を含む範囲
 国内(単体) : エフテック単体(本社、久喜事業所、亀山事業所、芳賀テクニカルセンター)を含む範囲
 国内 : エフテック単体および国内子会社を含む範囲(海外子会社を除く)
 海外 : 海外子会社を含む範囲(エフテック単体および国内子会社を除く)

(※2) カーボンフリー電力とは、再生可能エネルギーおよび原子力由来による電力

(※3) 女性管理職比率は、女性活躍推進法に基づき、全ての管理職数に対する女性管理職数の割合で算出

(※4) 労働災害件数は、骨折、縫合クラス以上の災害件数を集計

(※5) 製品の性能上および法規不適合に影響する品質不具合

(※6) 内部通報は、社内、社外(法律事務所)および監査役・社外取締役を窓口として受信し、コンプライアンス委員会で報告された件数

(※7) 腐敗行為は、背任・横領・贈収賄・便宜供与の強要と定義し、賞罰委員会を開催し、処罰を実施した件数

(※8) 情報セキュリティインシデントは、サイバー攻撃・システムダウン・情報漏洩・不正アクセス・ホームページ改ざんに関して確認した件数

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

サステナビリティ関連のKPI進捗状況

> ESGデータ集

各データの推移

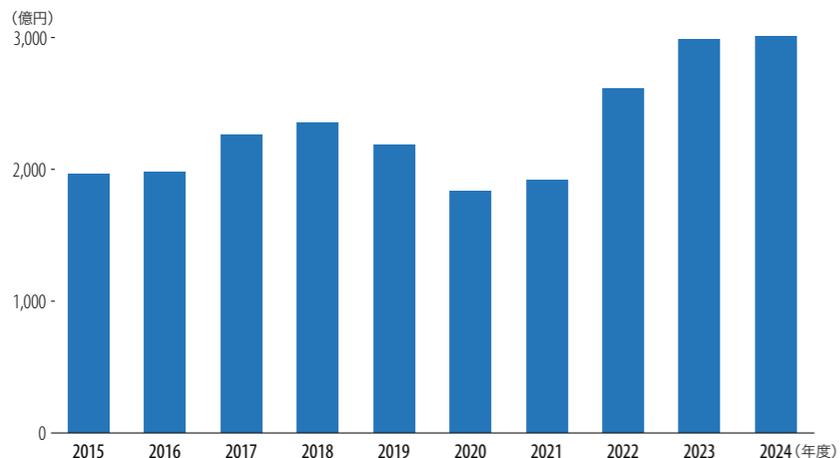
連結貸借対照表
および連結損益計算書

エフテックグループ
グローバルネットワーク

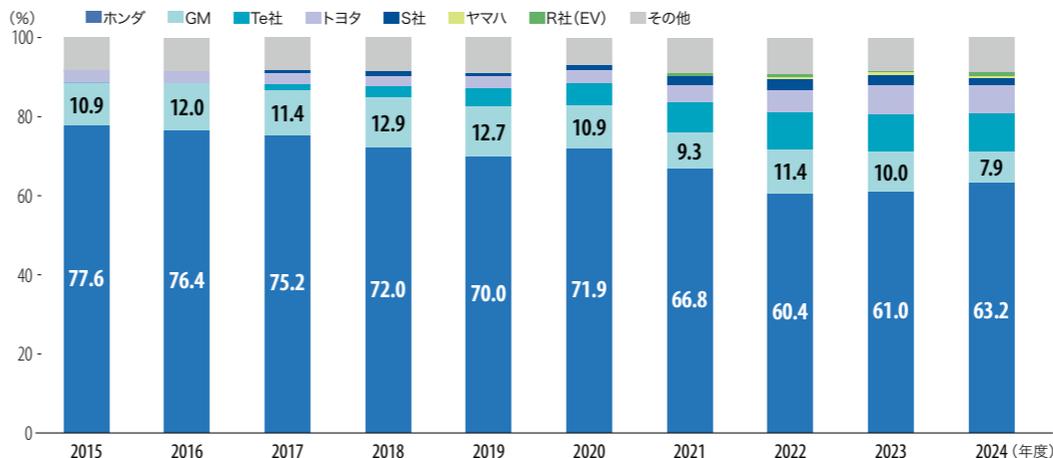


各データの推移

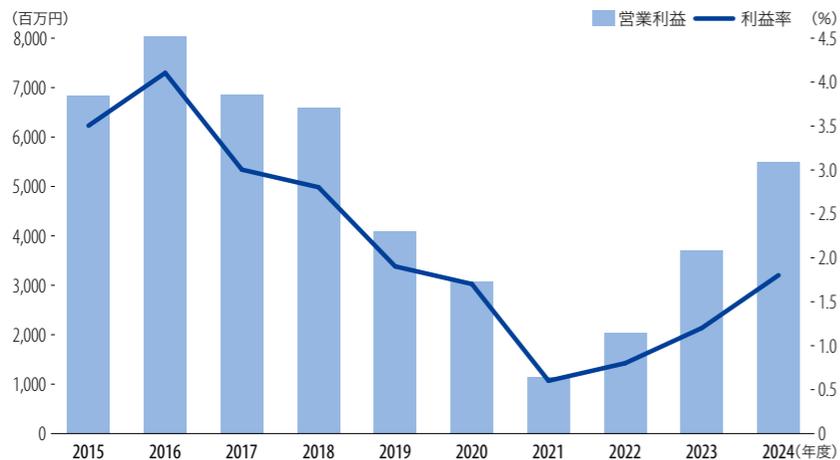
連結売上高



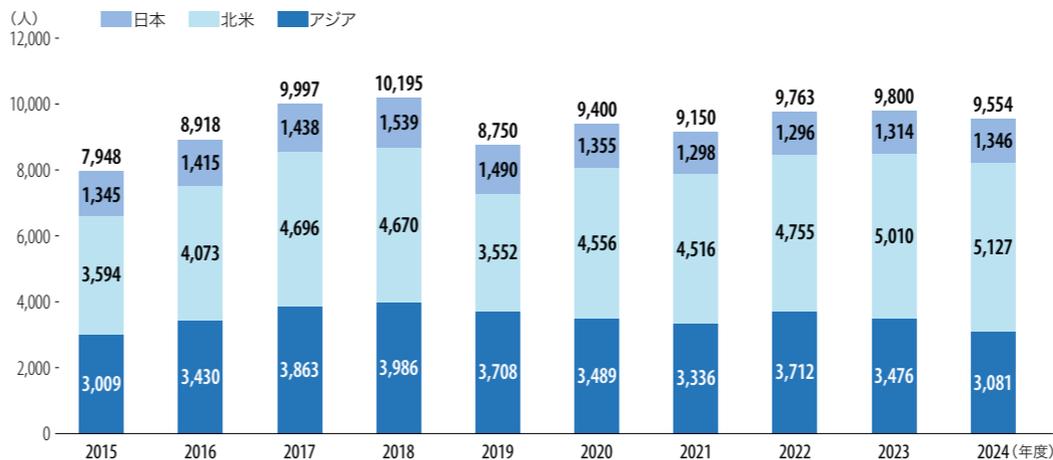
得意先別売上高シェア



営業利益/利益率



地域セグメント別従業員数



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

サステナビリティ関連のKPI進捗状況

ESGデータ集

> 各データの推移

連結貸借対照表
および連結損益計算書

エフテックグループ
グローバルネットワーク



INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

サステナビリティ関連のKPI進捗状況

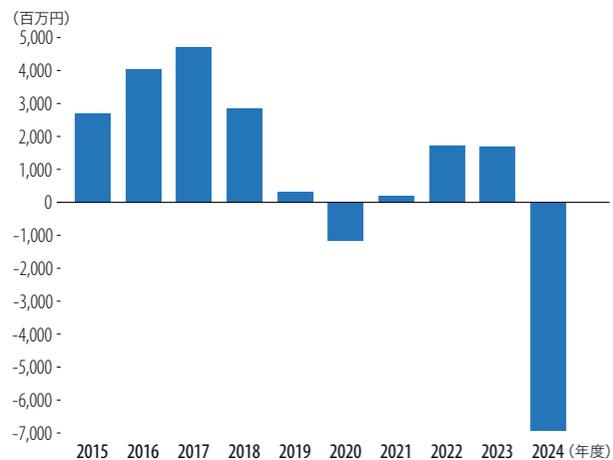
ESGデータ集

> 各データの推移

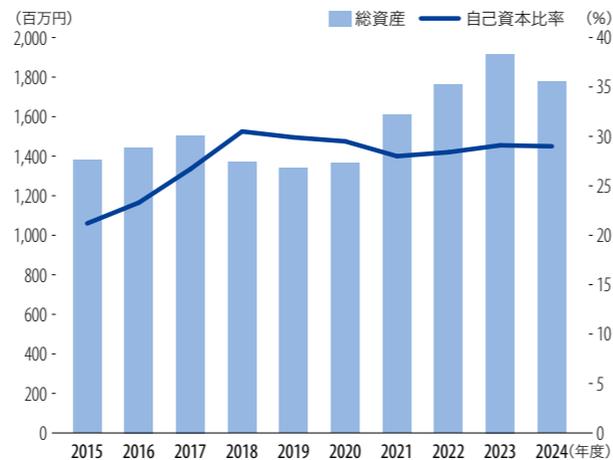
連結貸借対照表
および連結損益計算書

エフテックグループ
グローバルネットワーク

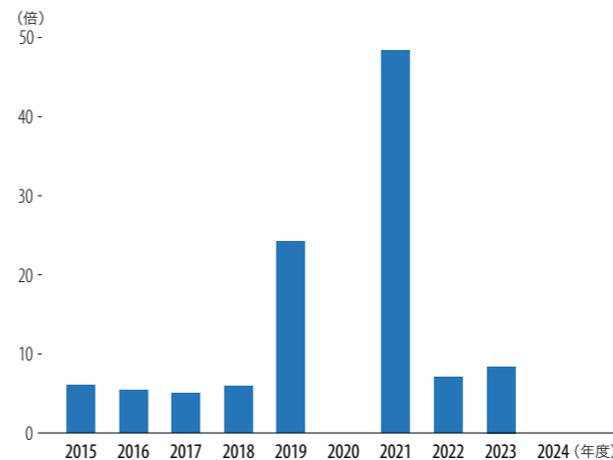
当期純利益または当期純損失



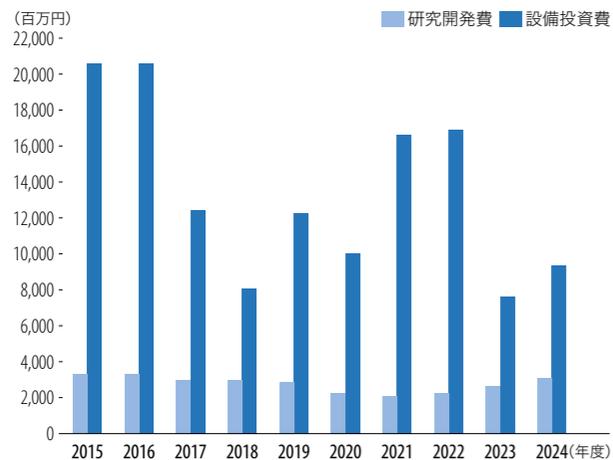
総資産／自己資本比率



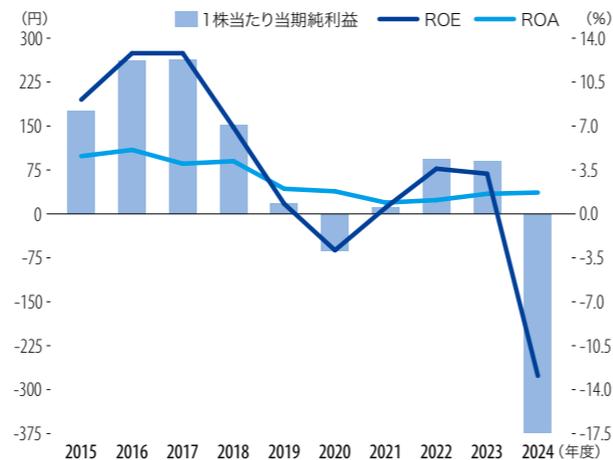
EPS



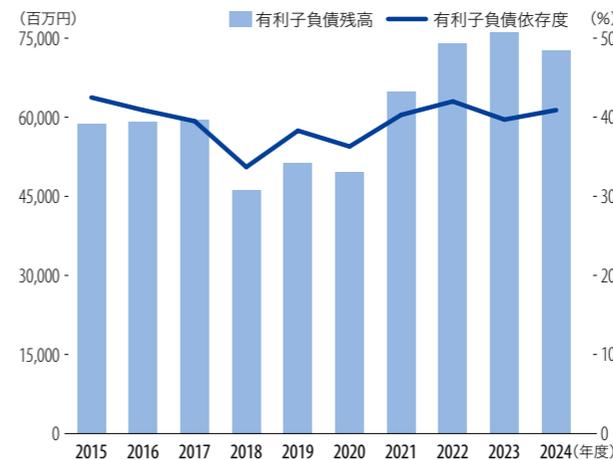
研究開発費／設備投資費



ROE・ROA／1株当たり当期純利益



有利子負債残高／有利子負債依存度



連結貸借対照表および連結損益計算書

2025年3月期

貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部	
科目	金額
流動資産	81,495
現金及び預金	14,356
受取手形	56
売掛金	34,976
電子記録債権	226
商品及び製品	6,752
仕掛品	6,751
原材料及び貯蔵品	14,948
その他	3,440
貸倒引当金	△13
固定資産	96,059
有形固定資産	81,428
建物及び構築物	20,011
機械装置及び運搬具	44,231
金型治工具	1,077
土地	6,107
リース資産	275
建設仮勘定	5,119
その他	4,605
無形固定資産	583
ソフトウェア	538
その他	45
投資その他の資産	14,047
投資有価証券	9,242
退職給付に係る資産	884
繰延税金資産	2,824
その他	1,095
資産合計	177,555

(単位：百万円)

負債の部	
科目	金額
流動負債	82,047
支払手形及び買掛金	26,229
短期借入金	32,481
1年内返済予定の長期借入金	11,634
リース債務	868
未払法人税等	807
未払金	2,356
設備支払手形	147
役員賞与引当金	28
その他	7,493
固定負債	31,262
社債	2,000
長期借入金	24,139
リース債務	1,468
繰延税金負債	2,569
役員退職慰労引当金	61
退職給付に係る負債	793
負ののれん	22
その他	206
負債合計	113,309
純資産の部	
株主資本	35,127
資本金	6,790
資本剰余金	6,427
利益剰余金	21,989
自己株式	△79
その他の包括利益累計額	16,385
その他有価証券評価差額金	698
繰延ヘッジ損益	222
為替換算調整勘定	14,667
退職給付に係る調整累計額	796
非支配株主持分	12,733
純資産合計	64,246
負債・純資産合計	177,555

損益計算書

(単位：百万円)

科目	金額	
売上高	300,831	
売上原価	275,501	
売上総利益	25,329	
販売費及び一般管理費	19,848	
営業利益	5,481	
営業外収益		
受取利息	185	
受取配当金	103	
持分法による投資利益	146	
その他	360	796
営業外費用		
支払利息	2,786	
為替差損	390	
その他	53	3,230
経常利益	3,047	
特別利益		
固定資産売却益	64	
その他	1	65
特別損失		
固定資産除却損	83	
減損損失	7,707	
特別退職金	1,127	8,918
税金等調整前当期純損失	△5,805	
法人税、住民税及び事業税	2,945	
法人税等調整額	798	
当期純損失	△9,549	
非支配株主に帰属する当期純損失	△2,624	
親会社株主に帰属する当期純損失	△6,925	

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

サステナビリティ関連のKPI進捗状況

ESGデータ集

各データの推移

> 連結貸借対照表 および連結損益計算書

エフテックグループ
グローバルネットワーク



エフテックグループ グローバルネットワーク (2025年4月1日現在)

生産拠点を展開するだけでなく、各地域に研究・技術開発、営業拠点を設置して顧客ニーズへの即応体制を整備。品質・開発・調達・環境などあらゆる面で情報共有を進め、グループ全体のレベルアップを図っています。

海外拠点

海外子会社

- F&P Mfg., Inc.
[カナダ オンタリオ州] (F&P)
- DYNA-MIG, A Division of F&P Mfg., Inc.
[カナダ オンタリオ州] (DM)
- F&P America Mfg., Inc.
[アメリカ オハイオ州] (FPA)
- F&P Georgia, A division of F&P America Mfg., Inc.
[アメリカ ジョージア州] (FPG)
- F-TECH R&D NORTH AMERICA INC.
[アメリカ オハイオ州] (RDNA)
- Michigan/ R&D NA Office
[アメリカ ミシガン州]
- F-TECH NORTH AMERICA INC.
[アメリカ ミシガン州] (FTNA)
- F.E.G. DE QUERETARO S.A. DE C.V.
[メキシコ ケレタロ州] (FEGQ)
- F&P MFG DE MEXICO S.A. DE CV.
[メキシコ グアナファト州] (FPMX)
- F-TECH PHILIPPINES, MFG., INC.
[フィリピン ラグナ州] (FPMI)
- F.tech R & D Philippines Inc.
[フィリピン ラグナ州] (FRDP)
- F-TECH MFG. (THAILAND) LTD.
[タイ アユタヤ県] (FMTL)
- PT. F-TECH INDONESIA
[インドネシア カラワン県] (FTI)
- F-Tech Automotive Components Private Limited.
[インド ハリヤナ州] (FTAC)
- India Steel Summit Private Limited
[インド ウッタールプラデーシュ州] (ISS)
- 偉福科技工業(中山)有限公司
[中国 広東省] (FTZ)
- 偉福科技工業(武漢)有限公司
[中国 湖北省] (FTW)
- 煙台福研模具有限公司
[中国 山東省] (FEGY)
- 偉福(広州)汽車技術開発有限公司
[中国 広東省] (FRDCH)

〈持分法適用会社〉

- Johnan America, Inc.
- Johnan De Mexico, S.A.de C.V.
- Johnan F.tech (Thailand) LTD.
- VEE GEE Auto Components Private Limited.

国内拠点

エフテック(単体)

- 本社・久喜事業所
[埼玉県久喜市]
- 亀山事業所
[三重県亀山市]
- 設備センター
[埼玉県加須市]
- 芳賀テクニカルセンター
[栃木県芳賀郡芳賀町]

国内子会社

- フクダエンジニアリング株式会社
[埼玉県加須市] (FEG)
- 株式会社九州エフテック
[熊本県山鹿市] (QFT)
- 株式会社リテラ
[埼玉県秩父郡小鹿野町]

国内関連会社

- 株式会社城南製作所
[長野県上田市]
- 株式会社城南九州製作所
[福岡県直方市]

会社概要 (2025年3月末現在)

商号	株式会社エフテック(F-TECH INC.)
本社所在地	埼玉県久喜市葛蒲町昭和沼19番地
創立	1947年(昭和22年)7月1日
資本金	67.9億円
代表者の役職氏名	代表取締役社長 福田 祐一
従業員数	連結 9,554名 単体 980名
事業内容	自動車部品およびそれに伴う金型、機械器具等の開発・製造・販売
主要取引先	本田技研工業株式会社、ゼネラルモーターズカンパニー、日産自動車株式会社、スズキ株式会社、トヨタ自動車株式会社、etc.
上場証券取引所	東京証券取引所スタンダード市場

発行：株式会社エフテック
〒346-0194
埼玉県久喜市葛蒲町昭和沼19番地

問合せ：株式会社エフテック
経営企画室 サステナビリティ推進部
TEL. 0480-85-5211
E-mail : webmaster@ftech.co.jp

2025年 9月発行

● 生産拠点 ▶ 日本(2拠点) 北米(6拠点) 中国(2拠点) ア大(4拠点) ● 研究・技術開発、営業拠点 ▶ 日本(2拠点) 北米(3拠点) 中国(2拠点) ア大(2拠点)

INDEX

イントロダクション

価値創造ストーリー

価値創造戦略

ガバナンス

企業情報・データ

サステナビリティ関連のKPI進捗状況

ESGデータ集

各データの推移

連結貸借対照表
および連結損益計算書

> エフテックグループ グローバルネットワーク

